

若菜上(保・阿)

10 25 01 わたらせわたり阿  
 10 25 02 うちに中にも阿  
 10 25 02 おほしめされておもほして阿  
 10 25 03 きさいの宮きさいの宮の保阿 后の宮の  
 阿  
 10 25 03 おはしましつる おはしつる保阿  
 10 25 03 よろつはかりきこえさせ給ていましてよ  
 るつ保萬の事阿  
 10 25 04 おほしつるをいままは保阿すくしつるを  
 おもひつるを  
 阿  
 10 25 04 もよをすにやもよほすや阿  
 10 25 05 ひさしかるましき久しう有ましき阿  
 10 25 05 なんのみ保  
 10 25 05 のたまはせておほしのためはせて保おもほ  
 しの給て阿  
 10 25 05 御心まつけともせさせ給ふ御心まつけ給  
 阿  
 10 25 06 御こたちみこたち保  
 10 25 06 女宮たち女宮たちのみ保女宮阿  
 10 25 06 四ところおはしましける四人おはしける  
 阿  
 10 25 07 ふちつほきりつほの女御阿  
 10 25 07 先帝せむたい保せんでい阿  
 10 25 07 おはしましけるおはしける保阿  
 10 25 07 きこえさせしきこえし保阿  
 10 25 08 時時より阿  
 10 25 08 たかきくらぬにもさたまり給へかりしいみし

う時めき給て高き位にも成ぬへかりし阿

10 25 09 御うしろみもおはせすはかたもうしろみ  
 物し給はす御母かた阿  
 10 25 09 すちとすちとも保阿  
 10 25 09 物はかなきはかなき保  
 10 25 09 かういはらにてかういはらに保阿  
 10 25 10 ものし給ければおはしければ阿  
 10 25 10 御ましらひの程御ましらひ阿  
 10 25 10 おほきさいのおほきさきも保故大后の  
 阿  
 10 25 10 内侍督ないしのかみ保  
 10 25 11 たてまつりナシ阿  
 10 25 11 ならふ人なく人立ならふへくも阿  
 10 25 11 きこえたとせし程にきこえ給たとせしほと  
 に保給はさりしに阿  
 10 25 12 みかとも御心の中にとおしき物には思きこ  
 えさせ給なからおりさせおもほしなからお  
 りぬ阿  
 10 25 12 御心おほむ心保  
 10 25 12 中にうちに保  
 10 25 12 給にしかはたまひしかは保給ふまんに  
 阿  
 10 25 13 かひなくかひなつ阿  
 10 25 13 くちおしくて口おしけに阿  
 10 25 13 やうにてうせ給にしやうにてなんはかなく  
 成給にき阿  
 10 25 14 女三宮を女三宮保女三の宮を阿  
 10 25 14 御中に御なかに保御中にも阿  
 10 25 14 かなしき物にナシ阿

10 25 14 思かしつき思きかしつき保

10 25 14 御としナシ阿  
 10 26 01 十三四はかりおはす十三四にそおはする  
 阿  
 10 26 01 そむきすてそむきはて阿  
 10 26 02 たのむつるみと頼む阿  
 10 26 02 すらむとナシ阿  
 10 26 02 この御事をうしろめたく此宮の御事を  
 阿  
 10 26 03 おほしなけくにおほしなけく保阿  
 10 26 03 にし山なるにし山に保  
 10 26 03 御寺寺阿  
 10 26 03 つくりはてつくらせ給て保阿  
 10 26 03 うつろはせ給はん程のうつろひ給へき  
 阿  
 10 26 03 御いそきをせさせ給に御いそきに阿  
 10 26 04 又ナシ阿  
 10 26 04 御もきの事をおほし御もきの御事を阿  
 10 26 04 院のうちに院うちに阿  
 10 26 05 おほすおもほす阿  
 10 26 05 御たから物御たから保  
 10 26 05 御てうともをばは御てうとなとは阿  
 10 26 06 までまで阿  
 10 26 06 御方にとりわたし御かたにとわたし保  
 阿  
 10 26 06 たてまつらせ給てそのつきをなむことみ  
 こたちには給てこと御こたちは此つき  
 になん阿

10 26 07 御そふふんともありける 御そつふなとし給  
 けるこそ阿  
 10 26 07 春宮はかゝる 宮もかく阿  
 10 26 08 世よのなか保  
 10 26 08 そむかせ給へき せんかせ給へき 保そむき給  
 ぬへき阿  
 10 26 08 御心つかひになと 御心つかひになむと 保御  
 心つかひを阿  
 10 26 08 きかせ給てわたらせ きこしめしてわたり  
 阿  
 10 26 09 そひきこえさせ給て そひきこえさせ給へて  
 「しり削ッテてヲ書ク」保そひて阿  
 10 26 09 すくれたる御おほえにしもあらざりしかとお  
 ほえも物し給はざりしかとお阿  
 10 26 10 御すくせの 御すくせ阿  
 10 26 10 かきりなく かきりなく 保こよなく阿  
 10 26 10 御物かたりこまやかに 御物語なと哀に  
 阿  
 10 26 11 きこえさせ きこえかはさせ 保聞えかはし  
 阿  
 10 26 11 給けり 給ける阿  
 10 26 11 世世中阿  
 10 26 11 給はん御心つかひ 給へき心つかひ阿  
 10 26 12 いらせしむせだてまじらせ保  
 10 26 12 御うしろみとも 御としのほとよりほいと  
 よくおとなひさせ給て 御うしろみとも 保御  
 年のほとよりほいとよくおとなひ給て 御うし  
 ろみなと阿  
 10 26 12 こなたかなた ナシ阿

10 26 12 なからひ 御なからひ 保阿  
 10 26 13 させ ナシ阿  
 10 26 13 世に世に又阿  
 10 26 14 女宮たち 此女宮たち阿  
 10 26 14 ととまる とまる 保阿  
 10 26 14 おもひやる 思ふに阿  
 10 27 01 ほたし ほたしと阿  
 10 27 01 さきさき さきさきノノ阿  
 10 27 01 みきしにも 見聞しも阿  
 10 27 02 あはしく あはしく 阿  
 10 27 02 すくせある 時阿  
 10 27 03 思やうならん 御世には心とめて 思ふやう  
 なる世に物し給はんにはかならず阿  
 10 27 03 御心とめて 御心にとめて 保ナシ  
 阿  
 10 27 04 その中に そのなかに 保そのうちにも  
 阿  
 10 27 04 うしろみ さるへき うしろみ 保阿  
 10 27 04 あるはさるかたにも 思ゆつり 侍るはそれに  
 物ゆつり阿  
 10 27 04 さるかたにも さるかたにも 上カラモヲ  
 書ク保  
 10 27 04 侍り はへり 保ナシ阿  
 10 27 04 三宮三阿  
 10 27 04 よはひにて よはひにて 保ほとより阿  
 10 27 05 ひとりを たのもしき ひとつ方を たのみ  
 阿  
 10 27 05 物と物に 保ナシ阿  
 10 27 05 うちすてむ 後の世に ナシ阿

10 27 06 こと 事なん阿  
 10 27 06 いとノいと 保ナシ阿  
 10 27 06 うしろめ たくなく 侍と 御目おしのこと  
 へきこえしらせさせ 給かなしきと阿  
 10 27 07 心うつくしきさまに きこえつけさせ 聞え  
 阿  
 10 27 07 女御の は女御の 保母女御阿  
 10 27 07 人よりは 人に阿  
 10 27 08 みないと みかはし 給し みないと みかはし 給  
 して 上カラ後出しヲ書ク保 一つれまい  
 とみかはして阿  
 10 27 08 ほとと 保ナシ阿  
 10 27 08 とも ナシ阿  
 10 27 08 えつるはしから ざりしかは づるはしくもあ  
 らざりし阿  
 10 27 09 そのなごりにて けにいまは わさどにくしなと  
 はなくとも まことに 心とめて 思つしる みむ  
 とまては おほさすまやと おしは かるるか  
 しなごりとりたて にくしとは なければと  
 まごにうしろ みんなとは 心とめすや物し 給  
 はんすらんなど阿  
 10 27 11 おほし おもほし阿  
 10 27 11 なく なけきたり阿  
 10 27 12 なり ませらせ ならせ阿  
 10 27 12 とに もいて させ ほかにも 出阿  
 10 27 12 御もの けにて 御物の けに阿  
 10 27 12 なやませ なやみ阿  
 10 27 13 こと ことは 保阿  
 10 27 13 ありつれと あれと阿

10 27 13 いとナシ阿  
 10 27 13 うちへうちへて阿  
 10 27 14 猶かきりなり かきりなめり阿  
 10 27 14 おほしめしたり おもほひたり阿  
 10 27 14 さらせさり阿  
 10 27 14 給つれと 給へれと保阿  
 10 28 01 人々は 人々阿  
 10 28 01 なつかしくめてたき なつかしき保  
 10 28 01 御ありさまを 御ありさまおにノ上カラおま  
 書ケカレ保  
 10 28 02 心やり所に 心やり所には阿  
 10 28 02 つかうまつり つかまつり保  
 10 28 02 つくして つくし阿  
 10 28 02 六条院 六条の院保  
 10 28 03 御とふらひしはくありしはく御とふら  
 ひ聞え給阿  
 10 28 03 身つから 御みつから阿  
 10 28 04 院はいといたく 院には阿  
 10 28 04 きこえさせ 聞え阿  
 10 28 04 中納言の君 中納言君阿  
 10 28 05 こまやかなり こまやかに聞え給阿  
 10 28 05 きさみ 御きさみ保  
 10 28 05 御ゆひこん ゆいこん阿  
 10 28 06 御こと 御こと保 御事と阿  
 10 28 06 いまの ナシ阿  
 10 28 06 うちの御事 内の御こと 保 内の上の御事  
 阿  
 10 28 07 おほやけ おほやけ事阿  
 10 28 07 かきり かき阿

10 28 07 御心よせ 心よせ保阿  
 10 28 07 かはらす かならず阿  
 10 28 08 あやまりにあやまりゆへに阿  
 10 28 09 そのうちみのこしさらに其つれへとめ阿  
 10 28 10 ことごとくに阿  
 10 28 10 心うき 猶心うき保阿  
 10 28 10 むくひ する人むくひ保  
 10 28 10 みえゆかめる みえゆかめる保 見え夢に見  
 る阿  
 10 28 11 事 ことん保  
 10 28 11 いにしへ いにしへの世に阿  
 10 28 11 たに たにも保  
 10 28 11 御心はへ 心はへ保 心はへを阿  
 10 28 12 ほころぶへからむ ほころぶへからぬノ上  
 カラるヲ書ケレ保 ほころぶへき阿  
 10 28 12 うたかひける うたかひける事阿  
 10 28 12 すくし ナシ阿  
 10 28 13 心をよせきこえ給 かく心をよせ給て阿  
 10 28 13 いまはた いまは保 ナシ阿  
 10 28 13 むつひ むつひお保阿  
 10 28 14 給へるも たまへるなん保阿  
 10 28 14 そへて うちそへて阿  
 10 29 01 きこえはなち きこえはなち保 見はなち阿  
 10 29 01 さまやう阿  
 10 29 02 たかへす たかへす阿  
 10 29 02 つかうまつりをきてしかは つかうまつりて  
 しかは阿

10 29 03 すゑの世の すゑのよぬにノ上カラ後出のヲ  
 書ケレ保  
 10 29 03 御おもて おもて阿  
 10 29 04 行幸 行かう保  
 10 29 04 ゆかしくゆかしく保 いふかしく阿  
 10 29 05 なん ナシ阿  
 10 29 05 たいめん にたいめに保  
 10 29 05 きこゆへき 聞えをへき阿  
 10 29 05 事も ことんもくかすノ保 事も阿  
 10 29 05 はへり 侍る阿  
 10 29 05 みつからとふらひものし給へきよしもよし  
 申給へもよほし聞え給へ阿  
 10 29 06 うちしほたれつゝのたまはず つちしほれつ  
 へ聞え給阿  
 10 29 07 中納言の君 すき侍にけん 中納言すき侍けん  
 阿  
 10 29 07 かたはかたのことは 保程の事は阿  
 10 29 07 とまくも とんかくも保  
 10 29 07 おもふたまへわかたく をも給へわかた  
 く保 思給をきかたく阿  
 10 29 08 まかりいり まかりより阿  
 10 29 08 侍て ナシ保阿  
 10 29 08 おほやけにも おほやけに阿  
 10 29 08 世中のことをみたまへまかりありく程にはナ  
 シ保阿  
 10 29 09 つけても つけて阿  
 10 29 09 物かたりなどの ナシ阿  
 10 29 09 ついてにも ついてなにも阿  
 10 29 10 いにしへの いにしへ保 いたしたの阿

10 29 10 ことありてなんなとうちかすめ申さるゝ事  
 や待けんきしかたのさる事なとをかすめ給  
 阿

10 29 10 おりはおり保阿  
 10 29 11 かくナシ阿

10 29 11 御うしろみを御うしろみをも阿  
 10 29 11 さしてナシ阿

10 29 12 こもりぬし後はなに事をもまかりこもりし  
 後世の有さまをも阿

10 29 12 故院のむかし故院の阿  
 10 29 13 ことも事をも阿

10 29 13 世ナシ阿  
 10 29 14 心ざしを心ざし阿

10 30 01 かくかう阿  
 10 30 02 うちをもうちを阿

10 30 02 上げたまはらまほしきを上げたまはらまほ  
 しきに保うけ給はらましきを阿

10 30 02 なにとなく所せき所せく何ともなき阿  
 10 30 03 すくすすこし侍阿

10 30 03 おりノなげき申折ぶしにはなげき阿  
 10 30 04 二十にもまた廿には年いまた阿

10 30 04 すくしてかたちもすこしかたちなと  
 阿

10 30 05 にほひていみしくきよらなるを物し給を  
 阿

10 30 05 いみしくいみじう保  
 10 30 05 御めに御め保阿

10 30 05 うちまもせ給うしこのもてわつじはせ給ひ  
 め宮の御らんしつかのもてわつらひ給姫

君の阿

10 30 05 給つゝたまつゝ保  
 10 30 06 なと人しれすと阿

10 30 06 おほしよりけりおもほしよりけり阿  
 10 30 07 わたりにわたりにや阿

10 30 07 すみつかれにたりとな住はてられにたるや  
 阿

10 30 07 さまにきゝしかいとおしかりしをやうに聞  
 事ありしを阿

10 30 08 さすかにナシ阿  
 10 30 08 のたまはする御けしきをの給入はうちかし

こまりて阿  
 10 30 09 のたまはするにとのたまはすることにかと  
 保の給はするにかと阿

10 30 09 あやしくナシ阿  
 10 30 10 かくかう阿

10 30 10 おほしあつかひてナシ阿  
 10 30 10 世をもよを保世中を阿

10 30 10 思はなれはやとなんおほしのたまはするとを  
 のつからもりきゝ給たよりありければはな  
 れんとおもほしの給はするさま物のたよりに  
 つたへきけるを阿

10 30 12 すちにやとはすちにやと阿  
 10 30 12 思ぬれとおもひよれと保阿

10 30 12 心えかほにもこゝろえかほにも保  
 10 30 12 なにかは何か阿

10 30 12 たゝナシ阿  
 10 30 12 はかしくもはかしくしも阿

10 30 13 さぶらひかく侍かたう阿  
 10 30 13 さぶらひかく侍かたう阿

10 30 13 のみナシ阿

10 30 13 なんととと保阿  
 10 30 13 はかりナシ阿

10 30 13 そうしてやみぬ聞えてやみぬ阿  
 10 30 14 女房などはねうはうなどは保女房などの  
 阿

10 30 14 のそきてみきこえてのそきつゝ見て阿

10 30 14 みえ給かたちよついかなあなめてたなとあつ  
 まりてきこゆるをおいしらへるはみゆるか  
 たちかなといふおいしらへるなとは阿

10 31 01 いてさりともしいてさりとん保されと  
 阿

10 31 01 院のおとゝの阿

10 31 02 かはかりにかはかり保かはりにて阿  
 10 31 02 おはせしおはしゝ阿

10 31 02 御ありさまには御ありさまに保かたちには  
 阿

10 31 02 えなすらひきこえ給はさめりいとめもあやに  
 こそきよらにものし給しかなといひしるぶえ  
 ならひ給はしいみじうそきよらにおはせしか  
 なといふ阿

10 31 03 まことにさらに阿  
 10 31 03 かれはあれは保

10 31 03 いとナシ阿  
 10 31 04 人そかしをや阿

10 31 04 ひかるとはけにひかるとは保阿  
 10 31 05 いふへきいふ阿

10 31 05 にほひなんかたちなと阿

10 31 05 いとゞいとゞしく保ナシ阿  
 10 31 05 くはゞりにたるそひにたる阿  
 10 31 06 いくしくいとつかしく阿  
 10 31 06 又ナシ阿  
 10 31 07 たはふれこと物阿  
 10 31 07 いひうちいひ保  
 10 31 07 みたれあそへはそのかたにつけてはにる物な  
 くけはひなつかしきさまはたいふかきりな  
 く阿  
 10 31 08 なつかしくなつかしき保ナシ阿  
 10 31 08 うつくしきナシ保  
 10 31 08 ことのならひなきこそ世に所こそいと  
 阿  
 10 31 08 なに事にもまきの世おしはかられてめつらか  
 なるなに事もまきの世のちきり床しと思や  
 られたる阿  
 10 31 09 なりなりや保  
 10 31 09 うちに中に阿  
 10 31 09 おひいてゝいわうのかきりなくなしき物  
 にしたまひさはかりなてかしつきみにかへて  
 おほしたりしかとおひいてさる帝王の命に  
 かけておほしたりし阿  
 10 31 10 したまひし給保  
 10 31 11 ひけして廿か内には納言にもならずなりに  
 きひけしつゝさえなともかしこくて廿かう  
 ちに納言と成給へりき阿  
 10 31 12 かしナシ保  
 10 31 12 ひとつふたつ阿  
 10 31 12 にてナシ阿

10 31 12 大将右大将保近衛中将阿  
 10 31 12 それにこれはいとよなくすゝみにためる  
 はそれをこれは世をはくたりならずゝみ  
 ためるを阿  
 10 31 13 つき／＼のつき／＼保つき／＼に阿  
 10 31 13 このよのこの保ナシ阿  
 10 31 13 なめりかしまことになめりかしまことなし  
 こま卜書イテカフ、シヲノバシテコヲ消ス  
 保  
 10 31 14 かしこき心のかしこき阿  
 10 31 14 かとナシ阿  
 10 31 14 これもおさ／＼おとるましくあやまりてもナ  
 シ阿  
 10 31 14 おとるましくをとるまじう保  
 10 31 14 あやまりてもあやまりて保  
 10 32 01 まさりたるまさりにたる阿  
 10 32 01 いとことなめりことなめり阿  
 10 32 01 させナシ阿  
 10 32 01 ひめ宮のいとつくしけにてわかく姫君の  
 いとつくしけに阿  
 10 32 02 なに心なきなに心もなき保阿  
 10 32 02 なるナシ阿  
 10 32 02 給にもみはやしたてまつり給て阿  
 10 32 03 かたをひかたほ阿  
 10 32 03 事はは事は阿  
 10 32 03 をしへおほし阿  
 10 32 03 きこえつへからむきこゆへからむ保阿  
 10 32 04 うしろやすからむにあつけきこえはまた  
 かたおいの御有さまをもならはし聞えもちい

10 32 04 きこえ給おもひきこえ給保  
 10 32 04 おとなしき御めのとゝもはか／＼しき御め  
 のと女房たち阿  
 10 32 05 式部卿のみこ式部卿宮阿  
 10 32 06 おほしたてけんおほしたてたまひけむ保  
 阿  
 10 32 06 この宮をあつかりて此君を阿  
 10 32 07 たゝ人のたゝ人の阿  
 10 32 07 ありかたしいと有かたし阿  
 10 32 07 女御たちとても女御阿  
 10 32 08 物せらるゝにあり阿  
 10 32 08 さやうのましらひいとナシ阿  
 10 32 09 権中納言の朝臣の中納言の阿  
 10 32 09 ありつる物しつる阿  
 10 32 10 こそナシ阿  
 10 32 10 へかりけれへこそありけれ阿  
 10 32 10 きやうさくにきやうさくね ヲ削ッテきや  
 ヲ書ク保  
 10 32 10 たのもしけなる物しき阿  
 10 32 10 人にこそあめるを人なり阿  
 10 32 11 の給はずの給阿  
 10 32 11 もとよりナシ阿  
 10 32 11 とし比もまたきに阿  
 10 32 11 わたりにわたり保  
 10 32 12 心をかけて心をふかめて保心をつけて  
 阿  
 10 32 12 思つづるふへくも侍らざりけるにづつるふ  
 心も侍らざりけるを阿

10 32 13 いとゝナシ阿

10 32 13 かの院こそ中ノ猶いかなるにつけても人を

ゆかしくおほしたる心はたえず物せさせ給ふ

なれその中にもやむことなき御ねかひぶかく

て院は猶やんことなき事のねかひたえぬに

や阿

10 33 01 前齋院 せん齋院保

10 33 01 いまにわすれかたくこそ忘かたく阿

10 33 01 なれと申すなりと聞ゆ阿

10 33 02 こそはこそ保阿

10 33 02 いとナシ阿

10 33 02 うしろめたけれとはうしろめてたなけれと

は保うしろめたけれ阿

10 33 02 の給すれとけにナシ阿

10 33 02 中になかに保中にて阿

10 33 02 かゝつらひてめさましかるへきおもひはあり

とも猶めさましかるましくは阿

10 33 03 さためたるにてさもやゆつりをききこえまし

なともおほしめすへしまことにすこしもよつ

きてあらせむと思はんをためてやゆつりを

きてましめるは心ことに思はれ阿

10 33 05 女こもたらはおなくは女みこもたらはお

なくは保女子をなとか阿

10 33 05 あたりこそはふれははせまほしけれ御あ

たりにこそはせまほしくはあれ阿

10 33 06 あひたはあひたに阿

10 33 06 さばかりさる阿

10 33 06 ありさまにてこそ有さまをして阿

10 33 07 すぐさまほしあらまほし阿

10 33 07 女ならばおなしはらから女ならましかはお

やはらから阿

10 33 07 むつひよりなましむつひよりなましをなと

なん阿

10 33 08 わかゝりしわかゝりしかりし保昔はつねに

阿

10 33 08 時などさなん時なむ保ナシ阿

10 33 08 ましてまいて阿

10 33 08 いとナシ阿

10 33 09 の給はせての給て阿

10 33 09 御心の中に御心のうちに保ナシ阿

10 33 09 かむの君の御事もおほしいてらる此君の事

をおもほしよる阿

10 33 09 この御うしろみとものその阿

10 33 10 御めのとのせつと御めのとのこのせつとの

阿

10 33 10 左中弁なるかの左中弁なるか阿

10 33 11 つかうまつるありけりつかうまつりて

阿

10 33 11 ことにてさふらへはつかうまつる有けり

阿

10 33 12 物かたりする物かたりの阿

10 33 12 きこえ給しをきこえ給を保聞えにしを

阿

10 33 13 かのナシ阿

10 33 13 おりおりよき時阿

10 33 13 きこえさせ給へきこえ給て御けしき給はり

給へけに阿

10 33 13 みこたち御子たち阿

10 33 13 ひとり一所阿

10 33 14 こそはナシ阿

10 33 14 たてまつり奉り給阿

10 33 14 なに事につけてもなにことに保事も

阿

10 34 01 たてまつりて奉りては阿

10 34 02 給へき人も給人阿

10 34 02 おのらはをのれらは阿

10 34 02 つかうまつるともつかうまつるとて保か

つかうまつるとも阿

10 34 02 宮つかへにかみやつかへかは保宮つかへに

ても阿

10 34 03 あらむあらぬ阿

10 34 03 我心ひとつにしもあらてをのつからおもひの

ほかの事ものか身ひとつにもあらて思は

ぬさまの事阿

10 34 04 かるノしきかるノしき阿

10 34 04 時には時保時は阿

10 34 04 いかさまにかはいかさまにか阿

10 34 05 ともかくもとんかくも保

10 34 05 この御ことさたまりたらはさたまりては

阿

10 34 05 つかうまつりつかまつり保

10 34 05 よくなんあるへきよくそあらんかし阿

10 34 06 きこゆれと思へ阿

10 34 07 よるつに万阿

10 34 07 なけかしくなけかしう阿

10 34 07 かくナシ阿

10 34 07 とりわきわきて阿  
 10 34 07 給につけても給につけても上カラにヲ  
 書ク保  
 10 34 08 そねみあへかめるを御そねみおふへかめる  
 阿  
 10 34 08 かたらふにかたらふ阿  
 10 34 09 御事にか御ことには保事にか阿  
 10 34 09 なかくなく阿  
 10 34 09 みそめ給へる人は御心とまりたる見給は御  
 思とまれる阿  
 10 34 10 又ナシ保阿  
 10 34 10 ふかゝらさりけるをもかたゝにつけてたつ  
 ねとり給つゝふかゝらぬをもさまゝにた  
 つねとりてなん阿  
 10 34 11 きこえ給へれと給へりめれとも阿  
 10 34 11 おほしたるはおもほすは阿  
 10 34 12 なめれはなければ阿  
 10 34 12 すまひ御すまぬ阿  
 10 34 12 かたゝ御かたゝ保  
 10 34 12 こそはナシ阿  
 10 34 13 御すくせすくせ保  
 10 34 13 さやうにさやうにも阿  
 10 34 13 やつもあらはやつあらんには阿  
 10 34 14 きこゆともきこゆとん保いふとも阿  
 10 34 14 たちならひておした給事は立ならひいと  
 おしくこそは阿  
 10 34 14 えあらしあらし保阿  
 10 34 14 こそはおしはからぬれとこそはせしは  
 かるれと保と思ながら阿

10 35 01 いかゝとはゝからるゝはゝかる阿  
 10 35 01 ありてなんおほゆるなんありぬへき保  
 阿  
 10 35 01 さるはナシ阿  
 10 35 02 身に見るに阿  
 10 35 02 なきをなき保  
 10 35 02 もときをももときを阿  
 10 35 03 事もことゝも保事阿  
 10 35 03 つねにナシ阿  
 10 35 03 すさひことにも御すさみことにも保御すさ  
 ひことに阿  
 10 35 03 おほしおもほし阿  
 10 35 03 の給はすなるのたまはする保  
 10 35 04 のれらかみたてまつるにもナシ阿  
 10 35 04 おはしますおはしますへかめり阿  
 10 35 04 御影にさては御かけに阿  
 10 35 05 給へる人たまへる人ゝ保阿  
 10 35 05 みなナシ阿  
 10 35 06 たゝ人ともたゝ人とん保たくひと  
 阿  
 10 35 06 院おとゝ阿  
 10 35 06 御ありさまに御有様に阿  
 10 35 06 くしたるやはくしたまへるやは保くし給へ  
 るも阿  
 10 35 06 おはすめるなしかし阿  
 10 35 07 それにナシ阿  
 10 35 07 けにナシ阿  
 10 35 07 おはしまさはいかにおはしまさんに阿  
 10 35 07 たくひたるたらひたる保

10 35 07 御あはひ御有さまあはひ阿  
 10 35 08 かたらふをかたらふ阿  
 10 35 08 又このついでにナシ阿  
 10 35 09 申させませ保ナシ阿  
 10 35 09 給てむ給てんと阿  
 10 35 09 御ほい御ほいふかき事阿  
 10 35 10 おほしぬへきおもほしぬへき阿  
 10 35 10 こなたの御ゆるしこなたさまの御けしき  
 阿  
 10 35 10 ありぬへきおもほしきたむへきは阿  
 10 35 10 きこえんきこえせん保  
 10 35 11 なんナシ阿  
 10 35 11 申侍しを申はしを保いひ侍しを阿  
 10 35 11 ことには御ことには保事にか阿  
 10 35 11 人の人のほと阿  
 10 35 12 わきまへつゝわき阿  
 10 35 12 御心さまに御心さまには保御心には  
 阿  
 10 35 12 又ナシ阿  
 10 35 13 ことは有様は阿  
 10 35 13 しはへめるをし侍を阿  
 10 35 13 めさましき事もや侍らむ御つしろみのそみ給  
 人々はあまたものし給めりよくナシ阿  
 10 35 14 あまたあまた後出たニミセケチカ保  
 10 35 14 おほしおもほし阿  
 10 35 14 さためてさためさせ給て阿  
 10 36 01 こそこそは保なん阿  
 10 36 01 侍らめ侍へき阿  
 10 36 01 ほからかにほこりに保阿

10 36 02 あるへかしくて有へかしう阿  
 10 36 02 すくしすくひ阿  
 10 36 02 給つへきもたまひつへき保 給人々なん  
 阿

10 36 02 おはしますおはず阿

10 36 02 へかめるをへかむるを保

10 36 03 あさましくあさましう阿

10 36 03 おほつがなくナシ阿

10 36 03 心もとなく心もとなき御有さまに阿

10 36 03 さふらふ人々はさふらひ給ふ人々も阿

10 36 04 つかうまつるつかうまつりいたる保 つかう  
 まつりついたる阿

阿

10 36 04 したかひきこえてしたかひて保阿

10 36 05 しも人もしもの人々も阿

10 36 05 なひきナシ保

10 36 05 たよりあるはたとり所ある阿

10 36 05 侍らめはへくらめ保

10 36 06 猶けに保阿

10 36 06 心ほそき心ほそかるへき保 心つかるへき

阿

10 36 06 わさにわさにに阿

10 36 06 侍へきとはへるへきなと保 侍りけるなと

阿

10 36 06 きこゆそつす阿

10 36 07 みこたち御子たち阿

10 36 07 よつきたるよついたる阿

10 36 07 あり又たかききは有かたき人阿

10 36 08 いへともいへと保阿

10 36 08 おとこ人阿

10 36 08 みゆるにつけてみゆるすちにつけて保 みゆ  
 るすちにて阿

10 36 08 こそこそは保 ナシ阿

10 36 08 事も事阿

10 36 09 めさましきおもひもめさましけなる思

阿

10 36 09 なめれとなめれは阿

10 36 09 心くるしく心くるしう保阿

10 36 10 又ナシ阿

10 36 10 たちをくれたたのむかけとも立をくれたの  
 むへきかけ阿

阿

10 36 10 後女の阿

10 36 11 世中に世を阿

10 36 11 事も事なん阿

10 36 11 むかしはむかしや保むかし阿

10 36 11 たひらかにてたいらかに阿

10 36 11 ゆるざるましき程の事はゆるされぬ事は

阿

10 36 12 ものうと阿

10 36 12 いまの世にはよにはとてもかくてもありふ  
 るたくひおほかりけるを今の世には阿

阿

10 36 13 こともるいに事ともるいに保 人々の心ふる

まひに阿

10 36 13 きこゆめりほと／＼おほく見え聞ゆめり阿

10 36 13 かしナシ阿

10 36 13 までまでは阿

10 36 13 あかめられかしつかれし人のむすめの有に  
 しむすめを阿

10 36 14 けふはけふ保

10 36 14 すき物ともになをたちめさむかれてなきおや  
 のすきものいてきて有ましき名をもたてけ  
 んしななきおやの阿

阿

10 37 01 おもてをふせナシ阿

10 37 01 はつかしむるはちしむる阿

10 37 01 おほくきこゆるなとも聞ゆるを阿

10 37 02 いひもてゆけはいひもていけは保

10 37 02 みなおなしことなりナシ阿

10 37 02 つけてすくせなといふなることはつけおな  
 しことすくせといふ物阿

10 37 03 せなはなめれは阿

10 37 03 うしろめたくうしろめたなく保 うしろめた  
 う阿

10 37 03 なんナシ阿

10 37 03 あしくもあしうも阿

10 37 03 よくもナシ阿

10 37 04 ゆるしをきたるまゝにてゆるしをきてたる  
 さまにて阿

10 37 04 すくすはすくす保

10 37 04 すくせ／＼にて後の世におとろへあるすく  
 せ／＼に後の世おほえ有阿

10 37 05 あやまちにはあやまちは保 あやまちとは

阿

10 37 05 ならすあらず保

10 37 06 さいはひありめやすきことなるおりはかく  
 てあしからさりけりとみゆれとさいはひ  
 は有けれと阿

10 37 07 たちまちにふとうちきうつけたる程はナシ



阿

10 37 07 うちきゝつけたるうちきゝつけたる けヲ

削ツテきゝヲ書クカ保

10 37 07 さるへき人もゆるさぬにナシ阿

10 37 08 心つからの心つから阿

10 37 08 しいてたるしたる阿

10 37 08 女の身にはますことなききすとます事なき

女のきすと阿

10 37 08 おほゆるおもほゆる阿

10 37 09 わさなるナシ阿

10 37 09 なからひにてすちにて阿

10 37 09 事心阿

10 37 10 身つからのほかなき事にたにみつからの

阿

10 37 10 はなれてあるへきにもあらぬはつれて有へ

きならぬ阿

10 37 10 思ふ心よりトヲもふより保阿

10 37 10 人にも人に阿

10 37 10 みえみえす保

10 37 11 ほとほとを阿

10 37 11 さためられんなむさためられなん保さため

んなん阿

10 37 11 かる／＼しくかる／＼しく保かなしく

阿

10 37 11 ありさま／＼ありさま保阿

10 37 12 おしはかるゝをしはかる保

10 37 12 あやしくあやしう阿

10 37 12 物はかなき物はかなひ阿

10 37 12 心さまにやとさまなとも阿

10 37 12 みゆる御さまなるをとりそへて哀におも

ほゆるを阿

10 37 13 もてなしきこゆるさやうなることの世にも

りいてんこといつき事なりなとみすてたて

まつり給はん後の世をうしろめたけに思きこ

えさせ給へればかる／＼しきことの聞えし

いたすなとみ奉りすてん後の世いつしるめ

たけにおもひたるに阿

10 37 13 きこゆるなるきこゆる保

10 37 13 もりいてんこともりいてむ保

10 37 14 給はんナシ保

10 38 01 いますこしナシ阿

10 38 01 物をも物を阿

10 38 02 給ほとまてみすくさん給へらんまてはみ奉

らん阿

10 38 02 ほしいもほいを阿

10 38 03 六条のおと／＼はけに六条院には阿

10 38 03 もの／＼ナシ阿

10 38 04 うしろやすきかたはこよなかりなんをかたノ

＼にうしろみ心やすきかたにはもてなし給

てん阿

10 38 04 ものせらるへきものせられん保物すらん

阿

10 38 05 人々をしるへきにもあらずかし人々をはし

るへき事ならず阿

10 38 05 心から也こころはへからなり保

10 38 05 のとかにいとのとかに阿

10 38 06 ためしともために保阿

10 38 06 かたはならひなくものせらるゝ心たくひな

き阿

10 38 07 さらてよろしかるへき人たればかりかはあら

むナシ阿

10 38 07 たればかりかはまた／＼ればかりかは保

10 38 07 兵部卿官兵部卿の官は保

10 38 07 人からはめやすしかしめやすき人からなり

阿

10 38 08 おなしきをなし保阿

10 38 08 こひと／＼ことたこと人と／＼保

10 38 08 わきまへおとしむへきわき給へき阿

10 38 08 あまりいと阿

10 38 08 いたくいたう阿

10 38 09 なよひナシ阿

10 38 09 よしめく程にをもきかたをくれすこしかる

ひたるおほえやすみにたらむ猶さる人はい

とよしめいたる御おほえにすみぬる人に

は中／＼阿

10 38 10 又ナシ阿

10 38 10 大納言の朝臣大納言朝臣阿

10 38 11 さるかたにものまめやかなるへき事にはあな

れとさすかにいかにそやさやうにまめやか

なるへき事なれいと阿

10 38 11 あなれとあむなれと保

10 38 11 さすかにさすかに保

10 38 12 きは／＼きは／＼た保

10 38 12 猶めさましくなんあるへきむかしもかつやつ

なるえらひにはなに事も人にことなるおほえ

あるにことよりてこそめさましくなん猶さ

き／＼も人をえらふかたによせてこそさやつ

なる事は阿

10 38 12 かうやうなる かやうなる保

10 38 13 たゝナシ阿

10 38 14 又なくもちゐんかたはかりをかしくきことに

思さためんはいとあかすくちおしかるへきわ

さになん右衛門督の 又なくもちいらるへ

き事をのみ思さためんはあかぬ事になん衛門

督朝臣阿

10 39 01 右衛門督 右衛もんのかみ保

10 39 01 よし 事阿

10 39 02 人ひとり阿

10 39 02 くらゐなと けに位なとの阿

10 39 02 いますこし物めかしき程になりなはなとか

はとも いますこしきほとになりなはなとか

はなとん保 今すこし物めきなはさまやと阿

10 39 03 としいとわかくてむけにあさくわかく

阿

10 39 03 わかくてわかうて保

10 39 03 ふかくて有て阿

10 39 04 やもめにてやもめにまノ上カラもヲ書ク

カ保

10 39 04 いたくしつまり いたくしりまり阿

10 39 04 けしき人にはぬけてさえなとも けしきにて

なとも阿

10 39 05 つゐには世のかためとなるへき人なれば行す

ゑもたのもしけれと猶又このためにと思はて

むには 行ききのかためと成ぬへき人なめる

をなを思ふ人となりきためんには阿

10 39 06 ためさため保

10 39 06 あるやとありやなと阿

10 39 06 おほし おもほし阿

10 39 07 かうやうにも かやうにも保阿

10 39 07 おほしよらぬ おもほしたゝぬ阿

10 39 07 きこえなやまし給 いひわつらひ奉る阿

10 39 08 のたまはする かくの給はする阿

10 39 08 御さゝめき事ともの 御さゝめきことゝも

保さゝめきことの阿

10 39 08 をのつから ナシ阿

10 39 09 人々 人も阿

10 39 09 衛門督 ゑもんのかみ保阿

10 39 10 のみ ナシ阿

10 39 10 みこたち 御子たち阿

10 39 10 おもへるを 思へること阿

10 39 10 かゝる この保

10 39 10 御さためと 御さため阿

10 39 10 いてきたなるをり あるほと阿

10 39 11 たてまつりて 奉り阿

10 39 11 めしよせられ めしよせ保阿

10 39 11 時 に阿

10 39 11 いかはかり我ためにも いかにかにわかためは

阿

10 39 12 めんほく めいほく保阿

10 39 12 ありてうれしからむ あらん保阿

10 39 12 おほし おもほし阿

10 39 12 内侍のかんの君 内侍督君阿

10 39 12 かの ナシ阿

10 39 13 よろつ よろつに保阿

10 39 13 かきりなきことの葉 ふかき事阿

10 39 13 そつせさせ そつせさせ保阿

10 39 14 御けしきたまはらせ給 ナシ保 けしきをたま

はり給阿

10 39 14 兵部卿宮は 兵部卿の宮は保 兵部卿御子も

阿

10 39 14 左大将の北の方を 大将殿の北方を阿

10 40 01 給らん たまはん保阿

10 40 01 御心 御心の保阿

10 40 01 うこかさらむ たゝさらむ保 たゝならん

阿

10 40 02 おほしいられ おもほしいれ阿

10 40 02 藤大納言 頭大納言阿

10 40 02 院の別当 院のへたう保阿

10 40 02 したしくしたしう保阿

阿

10 40 03 さふらひなれにたる さふらひなれたる

阿

10 40 04 へきに へき事を阿

10 40 04 御つしるみに事よせて 御事によせて阿

10 40 04 給はりたまふなるへし 権中納言も 給はらせ

給なりけり中納言も阿

10 40 05 給ふに 給て阿

10 40 05 あらすさはかり あらてさやうにも阿

10 40 06 みたてまつりてしかは 見奉りしかと阿

10 40 06 をのつからたよりにつけてもらしきこしめさ

る事もあらはよもてはなれてはあらしか  
しと心ときめきもしつへけれとまた身も下  
らうにてすき／＼しきやうにはうぢいてしと  
おもふ中に阿

10 40 07 きこしめさるゝきこえしめさる保

10 40 08 しつへけれとしつへけれとしノ上カラケヲ

書ク保

10 40 08 いまはといと阿

10 40 08 たのみなに心なくたのみみ八行末後補力

保

10 40 09 程たにほとにたに保には中ノ阿

10 40 09 心事阿

10 40 09 すくしてしをすくしきにしを保すくしきて

阿

10 40 09 あやにくにいまさらにたちかへリナシ

阿

10 40 10 物をや思はせきこえんなのめならず物を思

はせ奉らん事阿

10 40 10 やむことなきやむことなき保

10 40 11 かつらひなはなに事も思まゝならてか

つらひて阿

10 40 11 やすからすは我身もくるしくこそはあらめな

とせとよりすき／＼しからぬ心なれは思つ

めつやすからす心くるしかるへき事と思

ひ忍ひつ阿

10 40 12 くるしくくるしく保

10 40 12 こそはこそ保

10 40 13 うちいてねとうちもいてねと保ナシ

阿

10 40 13 ほかさまにさたまりはて給はんもいかにそや  
おほえてナシ阿

10 40 14 みよはとまりけりみよとまりけり阿

10 40 14 事ともことゝもお保事阿

10 40 14 たゞいまのことよりもはかりも阿

10 41 01 ためしともためしと阿

10 41 01 なるへき成ぬへき阿

10 41 01 事なりことをよくおほしめくらすへきこと  
なり保事をいよ／＼おもほしめくらすへき

事なり阿

10 41 01 よろしよし阿

10 41 02 しかおほしたつことさためておもほしたつ

へき阿

10 41 02 六条院六条の院保おと阿

10 41 03 ゆつりきこえさせ給はめとなんわさとの御

せうそことはゆつりてまかせ聞え給はめと

おもほしうなんわさとかの御せうそこには

阿

10 41 03 させ給はめさせ給はめノ上カラ給フ書フ

保

10 41 04 まちきかせ給てもけにさるごとせいとよくお

ほしのたまはせたり此院にもいとよくの給

す事なり阿

10 41 05 御心心阿

10 41 05 たゞせとけ保阿

10 41 05 まつかの此阿

10 41 05 かつノナシ阿

10 41 05 きこえさせナシ阿

10 41 06 かくなを阿

10 41 06 さまはさき／＼もみなさまにはかねて  
阿

10 41 06 きよをきよをい阿

10 41 07 こと御こと保阿

10 41 07 あなるある保阿

10 41 07 さはありともナシ阿

10 41 07 御世の御よ阿

10 41 07 すくなしすくなく阿

10 41 08 へしとてかへきにてか阿

10 41 09 したいをあやまたぬにてナシ保阿

10 41 09 いましはしの程ものこりとまるかきりあ

らはしはしものこりとまらんかきりは

阿

10 41 10 いつれのナシ阿

10 41 10 御子たちみこたちの御こと保阿

10 41 10 きよはなちたてまつるへきにもあらねと又か

くとりわきてきよをきたてまつりてんをはこ

とにこそはつしるみきこえめとおもふをそれ

たにいとふちやうなる世のさためなきなりや

との給てましてきよすくし奉るへき身にも

あらず阿

10 41 13 ひとにひとに保さりぬへき人にはけに

阿

10 41 13 むつひなれきこえんことはいと中ノにな

れ聞えて阿

10 41 14 世をさらむきさみ心くるしくみつかのため

にもあさからぬほたしになんあるへき世中

をさらんきはなんいと心くるしきほたしなる

へき阿

10 41 14 心くるしく心くるしう保  
 10 41 14 あさからぬあさからぬすノ上カラぬヲ書ク  
 保  
 10 42 01 わかくわかきか阿  
 10 42 01 かるノしきかるノしき保  
 10 42 01 やうなれとほとなれとも阿  
 10 42 02 とをくてとをく阿  
 10 42 02 つめに猶つめに阿  
 10 42 03 なんめれはなめれは保阿  
 10 42 03 されといといたくいとそもいたく阿  
 10 42 04 思ふ人さたまりにてそあめれはそれにはくか  
 らせたまふにや思ふ人さくしにたれはと  
 さまかつさまに心くるしき事や阿  
 10 42 04 たまふにや給へ(京)にや保  
 10 42 04 の給てナシ阿  
 10 42 05 身つからはみつからは保  
 10 42 05 おほしはなれたるさまなるを弁はおほるけの  
 御さためにもあらぬをかくの給へはいとおし  
 くくちおしくも思てうちノにおほしたちに  
 たるさまなどくはしくきこゆれはさすかにう  
 ちえみつゝおほしはなれたり弁おほるけな  
 らざる御さためならんをかくの給もいととし  
 くちおしと思おほしわつらふなるさまもくは  
 しう聞えさするにうちえみ給て阿  
 10 42 06 いとおしくいとおしくも保  
 10 42 07 かなしくかなしう阿  
 10 42 07 みこ御子阿  
 10 42 08 なめれはなめれは保なうり阿  
 10 42 08 かく思人のためこそはかう阿

10 42 08 たりもたとりにも保たよりも阿  
 10 42 08 ぶかきぶかひわさ阿  
 10 42 08 なめりかしななめりな保なりけれ阿  
 10 42 08 たナシ阿  
 10 42 09 まつの人々おはすといふことはよしなき事な  
 りそれにさはるへき事にもあらすかならずさ  
 りとてすゑの人をろかなるやうもなしわさ  
 との人はことにもあらぬ事也ざりとてすゑの  
 人のかならずをろかなるへきやうやは有へき  
 阿  
 10 42 09 いふことはいふいふ(眞事)は保  
 10 42 10 さはるへき事さはるへき保  
 10 42 11 御時に御時保  
 10 42 11 はうのはしめの女御坊の御はく阿  
 10 42 11 いきまきいかめしくいきまき阿  
 10 42 11 給しかとたまひしかとん保阿とんとも阿  
 10 42 12 むけのすゑにまいり給へりしナシ阿  
 10 42 12 むけのむけのむけの保  
 10 42 12 入道の宮に入道の宮にまつノ上カラ宮にヲ  
 書クカ保入道宮には阿  
 10 42 12 しはしはまつしはしは保しはし阿  
 10 42 12 かしナシ保かう阿  
 10 42 12 みこ宮阿  
 10 42 13 こそはこそ阿  
 10 42 13 かたちもさしつきにはいとよしかたちなと  
 さしつきてよし阿  
 10 42 14 よしとよしとくノ上カラしヲ書ク保  
 10 42 14 人なりしかは人なれはりしかは保人なれは

阿  
 10 42 14 ひめ宮御子は阿  
 10 43 01 きは人阿  
 10 43 01 よもおはせしをなといふかしくはおはせし  
 と床しう阿  
 10 43 01 給へし給へり阿  
 10 43 01 くれぬくれ保  
 10 43 02 朱雀院す尺院保阿  
 10 43 02 御こち猶なを御心保心ちなを阿  
 10 43 02 あはたしく心あはたしく保心あはたし  
 つ阿  
 10 43 03 おほしたちておもほしめされて阿  
 10 43 03 おほしいそくさまいそきたち給阿  
 10 43 04 いくしくつくし「前者 八いヲ削ルカ、  
 後者 八くヲ削ッテしヲノバス保いかめし  
 つ阿  
 10 43 04 御しつらひ御しつらひ補入力保しつら  
 ひ阿  
 10 43 04 かへ殿のかへとのえしんでんのイ保  
 10 43 04 にしおもてにしたい阿  
 10 43 04 御きちやうみ丁みき丁保御丁阿  
 10 43 04 はしめてはしめ保  
 10 43 05 あやにしきをあやにしきは保あやにしきを  
 は阿  
 10 43 05 させナシ阿  
 10 43 05 かさをかさり保  
 10 43 05 おほしやりておもほしやりて阿  
 10 43 06 うるはしくうるはしう阿

10 43 06 とのへさせ給へり 万のかさりをとのへ  
 させ給て阿  
 10 43 07 かねてよりきこえさせ給へりければねん比  
 にかねても御せうそありければ阿  
 10 43 08 そむきそんき保  
 10 43 09 のこりよ「こりの保阿  
 10 43 09 上達部などは上達部は阿  
 10 43 09 さはりいとま入事も阿  
 10 43 10 たすけつゝ たすけつゝ 保つゝ阿  
 10 43 10 みこたち八人ナシ阿  
 10 43 10 八人やとこる保  
 10 43 10 殿上人ナシ保  
 10 43 10 さらにいはずナシ阿  
 10 43 10 内春宮のうち春宮のうへ人保 内のも東宮の  
 も阿  
 10 43 11 つとひてナシ阿  
 10 43 11 ひゝききしき阿  
 10 43 12 みかとうち保 内より阿  
 10 43 12 春宮をナシ阿  
 10 43 12 心くるしく心くるしう保  
 10 43 12 きこしめしつゝきこしめして阿  
 10 43 13 蔵人所くらひとこる保  
 10 43 13 おさめとのゝから物ともおほくたてまつらせ  
 給へりおなめ殿なごにもおほあるたから物とも  
 かやうのたくひともなとおほく奉り給阿  
 10 43 13 から物とも から物とん保  
 10 43 13 六条院よりも 六条院よりも御とぶらひいと  
 こちたしをくり物保 六条院よりも御とぶら  
 ひいといかめしくをくり物阿

10 43 14 そん者の大臣そんさの大臣保 そのほかの大  
 臣阿  
 10 43 14 御ひきて物なごかの院よりそたてまつらせ  
 給ける御ひきて物ともなごの院より奉り給  
 阿  
 10 43 14 中宮よりも 中宮よりもの上カラよ「書ク」  
 保  
 10 44 01 御さうそくくしのは「御くしの箱御さうそ  
 く阿  
 10 44 01 てうせさせせさせ阿  
 10 44 01 みくしあけ御くしあけ保阿  
 10 44 02 さまにあらためさまあらためてノ上カラあ  
 「書ク」保さまにしあらため阿  
 10 44 02 さすかにもとの心はえもつしなはずそれとみ  
 せてもとの心はへさすかにあらせて阿  
 10 44 02 心はえも心はへ「志補入力」保  
 10 44 03 夕つかたくれつかた阿  
 10 44 03 たてまつれさせ「タ」てまつらせ保 奉り阿  
 10 44 04 御方にまいらすへくのたまはせつれと御方  
 にとあれと阿  
 10 44 04 ありけるある阿  
 10 44 06 たまのをくしそ「つけのをくしそ」阿  
 10 44 06 院 院の阿  
 10 44 07 おほし「てはるゝ事もありけりおほし出ら  
 る阿  
 10 44 07 けしうも けしうは保阿  
 10 44 08 ほとほとの阿  
 10 44 08 かむさし御かんさし阿

10 44 08 御返も 御返保 御返し阿  
 10 44 10 みる物にもか 見る物にもか ノ上カラも  
 書ク「保」見る物にもる阿  
 10 44 10 つけのをくしの「つけのをくしも保阿  
 10 44 11 御心ち御心ちも阿  
 10 44 11 ねんしつゝねんして阿  
 10 44 11 この「このほと」保  
 10 44 12 はてぬればすきぬれば保  
 10 44 12 給給ぬ保  
 10 44 12 よろしきよろ「き」保  
 10 44 12 程のナシ阿  
 10 44 13 いまはとて今はと世をそむき阿  
 10 44 13 かなしけなるかなしき阿  
 10 44 13 まして「まいて」阿  
 10 44 13 いとあはれけにいとあはれに保ナシ  
 阿  
 10 44 13 御かたノも 御かたノ阿  
 10 44 14 いみしくナシ阿  
 10 45 01 子を思ふ道は「こおゝもふ」ことは保  
 10 45 01 思しつみ 思しみ保 思入阿  
 10 45 02 御心 御心も阿  
 10 45 02 御けうそく「けうそく」阿  
 10 45 03 はしめてはしめ奉りて阿  
 10 45 03 さぶらひて「さぶらふて」阿  
 10 45 04 わかれ給御さほう「はなれ給ふをほう」阿  
 10 45 04 いみしく「いみしう」阿  
 10 45 04 けふは世を思すましたる けふはよく物思す  
 ましたる保 今はと思すまし「う」阿

10 45 05 僧たちなどたにそつたちなどたに保 僧な  
ともさらに阿

10 45 05 涙もなみたを保なみた阿

10 45 05 えとゝめねはとゝめかたし阿

10 45 05 ましてまいて阿

10 45 05 女宮たちナシ阿

10 45 05 ころらそこら保阿

10 45 05 男女人々阿

10 45 06 なぎとよむにいと心あはたしつかうらてな  
きとよむにいと心あはたしつかうらて阿

10 45 06 心あはたしつかうらてな  
心あはたしつかうらて阿

10 45 06 しつやかなるしつかなる保阿

10 45 06 所にやかてこもるへく所にてと阿

10 45 07 おほしまうけたるおほしまうけたる保  
阿

10 45 07 たかひておほしめさるゝたかふやうなる  
阿

10 45 08 宮御子阿

10 45 08 ひかされてとひかされて保ひかれてと  
阿

10 45 08 おほしのためはすおもほしのためはす保お  
ほしみたる阿

10 45 08 内よりはしめたてまつりて内よりも阿

10 45 09 しけさいとしけき事阿

10 45 09 六条院も六条院にも阿

10 45 09 御心ちよろしくときゝたてまつらせ給て御  
なやみよろしくときゝしめてよき御事にも侍  
るかなとの給にたゝ今そかくなんと聞給てお  
とろき阿

10 45 09 よろしくよろしう保

10 45 10 御ふみふ保阿

10 45 10 みなおなしことナシ阿

10 45 11 儀式にはうけはり給はずききにかはり給  
事なし阿

10 45 12 などはなと保

10 45 12 心ことなれといことなれと阿

10 45 12 そき給てよことぞき給て保

10 45 12 ことノしからぬことノしからぬさまの  
保

10 45 13 などはなと保

10 45 14 いみしくいみしう阿

10 45 14 きこえさせ聞え阿

10 45 14 御心ち御心保

10 46 01 御たいめん御たいめ阿

10 46 01 さま御よそひ阿

10 46 01 おましょそひくはへておはしよそひて  
阿

10 46 02 たてまつり給へるたてまつり給かはり給へ  
る保奉り給かはりたる阿

10 46 02 給ふに給て阿

10 46 02 かなしくかなしう阿

10 46 03 とめかたくとゝめかた保阿とゝめかたう  
阿

10 46 03 故院院阿

10 46 04 つねなくいとつねなく阿

10 46 04 おもふ給へられしかは思給へられしかは  
阿

10 46 05 侍にし侍し阿

10 46 05 おもふたまへたゆたふおほえ思ふたまへた  
よふ保思給へ阿

10 46 05 ことのみ侍つゝつゝ阿

10 46 06 みたてまつりなし侍までみたてまつりなし  
はへるまじりノ上カうるヲ書クカ保み奉  
るまで阿

10 46 06 をくれたてまつりをくれ保阿

10 46 06 心のぬるさをはつかしく思たまへらるゝナ  
シ阿

10 46 06 心の心さしの保

10 46 06 ぬるさをぬるるさを保

10 46 06 はつかしくはつかしう保

10 46 06 思たまへらるゝ思ふたまへらるゝ保

10 46 07 あるましくあるまじう保あらず阿

10 46 07 おもふ給へたち侍思たまへたちはへる保思  
給へる阿

10 46 07 おりノおりノの阿

10 46 08 のひかたき忍ひかたい阿

10 46 09 おほしたりおもほしたり保

10 46 09 物心ほそく心ほそく阿

10 46 09 え心つよからすうちしほたれ心えよくも  
てなし給はすうちしくれ阿

10 46 09 給ひつゝたまふつゝ保

10 46 10 きこえさせ給て聞え給にも阿

10 46 11 侍つゝつゝ阿

10 46 11 へぬるへは入りぬる保

10 46 11 うちたゆみてうちたゆみつゝ阿

10 46 11 はししはし阿

10 46 12 思おこして思おこし侍りて保阿

10 46 13 かなふましけれとかなふましくは入れと保

阿

10 46 14 身にても身にてかうまでも阿

10 46 14 ことも阿

10 46 14 ひきとゝめひきとめ保

10 47 01 おもふ給へしられぬにしもおもふたまへし

らぬにも保 思給へられぬにしも阿

10 47 01 つとめなき つとめなきを阿

10 47 01 をこたりをたにやすからすをこたりにやと

やすらかならす阿

10 47 02 おほしをきておもほしをきて阿

10 47 02 くはしくくはしく阿

10 47 02 女みこ女宮阿

10 47 03 うちすて見すて阿

10 47 03 なきをはなきは阿

10 47 03 とりわきとりわきて保阿

10 47 04 うしろめたくうしろめたく保うしろめた

う阿

10 47 04 みわつらひ侍わつらひ侍事阿

10 47 04 御けしき御けしきを保阿

10 47 04 心くるしく心くるしく保阿

10 47 05 御心のうち御心の中阿

10 47 06 よりもよりは阿

10 47 06 すちにはすちは保御さまは阿

10 47 07 侍けるはむへりける保

10 47 07 春宮かくておほしませはみこの宮のかく

阿

10 47 08 たのみ所にたのみところことに保み所に

阿

10 47 08 きこえさするゝキこゆる保阿

10 47 08 ましてまいて阿

10 47 08 きこえをかせきこえさせおかせ保つけ聞え

阿

10 47 09 してしても保

10 47 09 おろそかにをろかに保阿

10 47 09 かるめ申給へきに見給へきに阿

10 47 09 侍らねははへらねと保

10 47 10 へきにもへきには阿

10 47 10 けにナシ阿

10 47 10 おほやけとなりおほやけことはり阿

10 47 11 よの世ぬてノ上カラ世ヲ書ク保

10 47 11 かなふへしかなふへき事阿

10 47 11 御ために御ため阿

10 47 11 にはかりのなにはかり保

10 47 12 御ためにはさまノ御ために阿

10 47 13 かはしかはして阿

10 47 14 御まもりめ侍なん御まほりすへきなん

阿

10 47 14 はつるをはへるを保侍める阿

10 47 14 猶ナシ保阿

10 48 01 しひてナシ阿

10 48 01 後の世後の女阿

10 48 01 御うたかひ御うたかひの阿

10 48 01 のこるへくは残るへうは阿

10 48 01 おほしナシ阿

10 48 01 しのひてナシ阿

10 48 02 御あつかり御あつかひ(り)保

10 48 02 はへなるはへる保阿

10 48 03 ありける侍けんかし阿

10 48 03 きゝひき阿

10 48 04 みこにたにみこにたに保帝王たにも阿

10 48 04 し給へるたかへる阿

10 48 04 おほかりけり有けり阿

10 48 05 ましてまいて阿

10 48 05 かくいまはとこの世をはなるゝ今は此世の

さかひをはなるへき阿

10 48 05 ことノしくことノしく阿

10 48 05 思へき思給へき阿

10 48 07 やまひはやまひ阿

10 48 07 をもりゆくおもりゆき保をもり行阿

10 48 07 とりかへすへきにもあらぬとりかへすへく

もなき阿

10 48 07 あはたしくあはたしくて阿

10 48 08 ひとりナシ阿

10 48 08 とりわきてわきて保とりわき阿

10 48 09 おほしておもほして阿

10 48 09 御心におほしさをためて御心とさためて

阿

10 48 10 権中納言中納言保

10 48 10 などのなと阿

10 48 10 程ほとに保阿

10 48 10 こそありけれ有へけれ阿

10 48 11 おほいまうち君おほきまうち君阿

10 48 11 おほえ思阿

10 48 11 中納言の朝臣の中納言のあそむ保阿中納言

朝臣阿

10 48 12 かたはすちとて阿

10 48 12 つかうまつりぬへく侍をつかうまつるへき  
を阿  
10 48 12 あさくていとあさう阿  
10 48 12 たよりたとり保阿  
10 48 13 すくなくすくなく阿  
10 48 13 こそこそは阿  
10 48 13 心にてこころにては保  
10 48 13 させナシ阿  
10 48 14 おはしますおはします阿  
10 48 14 たゝたゝ阿  
10 48 14 行き行きさきの阿  
10 49 01 かた事阿  
10 49 01 心くるしく心くるしく保  
10 49 01 はへるへき侍阿  
10 49 02 夜によは保  
10 49 02 いりぬれはあるしの院かたもまつつの上達  
部たちもみな御前にて入ぬ上達部も阿  
10 49 02 上達部たちかむたちめ保  
10 49 03 御前にてをまへにて保  
10 49 03 あるし御あるし保阿  
10 49 03 さうし物さうしのもの阿  
10 49 03 うるはじからすうるわじはあらず保うる  
はじうあつて阿  
10 49 03 なまめかしくなまめかしく保なまめかしく  
て阿  
10 49 04 御前におまへに保  
10 49 04 などなんと保  
10 49 04 むかしにむかしに「んノ上カラむヲ書ク」  
保

10 49 04 まいるまいれる保まいりたる阿  
10 49 05 おしのこひ給をしのこひ給つノ上カラ給ヲ  
書クカ「保  
10 49 05 あはれなるすちの事ともあはれなる事おほ  
くておかしき事も阿  
10 49 05 あれとあれとも阿  
10 49 05 夜ふけてよふけて保  
10 49 06 給ふ給に阿  
10 49 06 別当大納言へたうの大納言保八つノ上カラ  
たヲ書クカ「保阿  
10 49 07 雪みゆき阿  
10 49 07 なやましくなやましく保ナシ阿  
10 49 07 おほざるれとおほざるれと阿  
10 49 08 御こと御事を阿  
10 49 08 さためつるをさためたまひつるを保さため  
つるのみ阿  
10 49 08 おほしおほされ阿  
10 49 08 六条院は六条の院は保六条院には阿  
10 49 08 さまノゝかたノゝ阿  
10 49 09 おほしむらさきのうへもかゝる御さた  
めなとかねてもほのきゝ給けれとさしもあら  
し前齋院をもねんころにきこえ給なりしかと  
わざとしもおほしとけすなりにしをなとナ  
シ阿  
10 49 09 御さためなとかねても御さためとなかね  
て保  
10 49 10 前齋院せん齋院保  
10 49 11 あるともあるとん保  
10 49 11 きこえナシ阿

10 49 12 おはするにおはするを阿  
10 49 12 いとおしくいとおしう阿  
10 49 12 この事をいかにおほさん我心は露もかはるま  
しくナシ阿  
10 49 13 こと事の阿  
10 49 13 つけてはつけても阿  
10 49 13 いとふかさこそいとふかさこそこそ  
保ふかき心こそ阿  
10 49 14 思つたかひ給はん思つたため給はさらんかひ  
給はむさノ上カラ「書ク」保「たかひ給  
はん阿  
10 50 01 ましてまいて阿  
10 50 02 へたてへた保  
10 50 02 のこしたる事のこり給はん事の阿  
10 50 02 夜はよは保  
10 50 02 うちやすみてうちやすみ給て阿  
10 50 03 うちふりうちふりて阿  
10 50 03 物あはれに物あはれにすきに保すきに  
阿  
10 50 03 すきにしかたきしかた保阿  
10 50 04 まいりてまつてゝ保  
10 50 05 事ともありつるかな女三宮の御事を事と  
も有しかな三の御子の御事阿  
10 50 05 おほしておもほして阿  
10 50 06 のたまはせつけしかはのたまひつけしかは  
保阿  
10 50 06 えきこえいなひすえいなひ聞えす阿  
10 50 06 ことノしくそことノしくしう保  
10 50 07 人は人阿



10 50 07 いひいなひ保  
 10 50 08 けしきはませ給しにはほのめかさせ給しほ  
 とは阿  
 10 50 08 きこえしを聞えしに阿  
 10 50 08 たいめんたいめ阿  
 10 50 09 事とも事阿  
 10 50 09 の給つゝけしにはのたまひつゝけしに保の  
 給ひつけしに阿  
 10 50 09 えすく／＼しくもかへさひ申さてすく／＼  
 しつもえかへさす聞えて阿  
 10 50 10 なんナシ保  
 10 50 10 御山すみ御すみか阿  
 10 50 10 わたしこゝにわたし保阿わたしわたし阿  
 10 50 11 御ため御ために阿  
 10 50 12 事は事阿  
 10 50 12 なをき給そよなをい給そ阿  
 10 50 12 それもかたはならずもてなしてむたれも／＼  
 のとかにてそれはかたはなるまじつもてな  
 し聞えてんのとかにてたれも／＼阿  
 10 50 13 たれも／＼たれ／＼も保  
 10 50 13 すくし給は／＼なとすくし給は／＼なんと  
 阿  
 10 50 14 御すさひことを御すさひ事にて阿  
 10 50 14 物こと保  
 10 50 14 おほしてナシ阿  
 10 50 14 御心さま御有さま阿  
 10 51 01 いか／＼おほさんいかならん阿  
 10 51 01 おほすにおもほすに保阿

10 51 01 あなれあむなれ保  
 10 51 02 心を御心をか阿  
 10 51 02 をきたてまつるをい奉る阿  
 10 51 02 めさましくめさましう保阿  
 10 51 02 かくてかくては保かくてや阿  
 10 51 02 など／＼阿  
 10 51 02 とかめらるましくは心やすくてもとかめな  
 くは心やすくてかくても阿  
 10 51 03 はへなんをはへりなんを保侍なん阿  
 10 51 03 は女御故母女御阿  
 10 51 04 かすまへてむかすまへ給てん阿  
 10 51 04 給を給て阿  
 10 51 04 かうかく保阿  
 10 51 04 うちとけ給御ゆるしもいかなればうちとけ  
 たる御けしきもいかなるにか阿  
 10 51 05 あれナシ保  
 10 51 05 まことはまことには阿  
 10 51 05 おほしゆるいておほしゆるして保  
 10 51 06 すくし給は／＼すくし給は／＼阿  
 10 51 06 ひかこと人こと／＼阿  
 10 51 06 きこえなとせん／＼とせん保聞えん阿  
 10 51 07 世の人世人阿  
 10 51 07 なんナシ阿  
 10 51 07 たかいひいつるたかいひいつる保  
 10 51 07 事ともなくこと／＼なくて保こと／＼もなく  
 て阿  
 10 51 08 なからひならひ保  
 10 51 08 など／＼に阿  
 10 51 08 うちほをゆかみうちほ／＼ゆかみ保阿

10 51 08 なるをなめるを保なめる阿  
 10 51 09 さはきてさはきいて保さはきにさはきて  
 阿  
 10 51 10 ものうらみうらみ阿  
 10 51 10 いとよくいよ／＼阿  
 10 51 10 心のうちにも心中にも阿  
 10 51 10 そらよりそらより保  
 10 51 10 いてきにたるいてきたる保阿  
 10 51 11 は／＼かり給ひいさむることナシ阿  
 10 51 12 したかひ給へきしたかひ給へ保したかへ  
 き阿  
 10 51 12 心御心阿  
 10 51 12 おこれるおこる保  
 10 51 12 けさう御けさう阿  
 10 51 13 かたなきかたもなき保  
 10 51 13 さまと阿  
 10 51 13 世人に人にも保  
 10 51 14 もりきこえしもれ聞えさせし阿  
 10 51 14 式部卿宮しきぶ卿の宮保  
 10 51 14 おほきたの方大北のかたの阿  
 10 51 14 事とも事阿  
 10 52 02 き／＼て聞えて阿  
 10 52 02 いちしるくいちしるくと阿  
 10 52 02 など／＼阿  
 10 52 03 いかてかはかはかりのくまはかはかりのく  
 まはいかてか阿  
 10 52 03 さりともしさとん保  
 10 52 03 のみナシ阿

10 52 03 思ひあかりうらなくて思あかりてうらまな  
 くて阿  
 10 52 04 事をと阿  
 10 52 05 もてなし給へりもてない給へり阿  
 10 52 05 朱雀院す尺院保阿  
 10 52 05 ひめ宮ひめ宮の保阿  
 10 52 05 六条院に六条院へ保  
 10 52 06 きこえ給へるきこえ給保ナシ阿  
 10 52 06 ちおしく口おしと阿  
 10 52 06 おほしなげくおもほしなげく阿  
 10 52 07 御さため御ため阿  
 10 52 07 おほしとまりおもほしとまり阿  
 10 52 08 ことしそことしこそ阿  
 10 52 08 御賀の事 おんかの事保  
 10 52 08 おはやけにもおはやけそ阿  
 10 52 09 かねてよりひくをことのわつらひおほくか  
 ねてとりひらく人のわつらひなり阿  
 10 52 10 事はことを保  
 10 52 10 申給申給けり阿  
 10 52 11 なるになりけるを阿  
 10 52 11 左大将殿の北方さ大将殿きたのかたそ  
 保 右大将の北方そ阿  
 10 52 11 けしきかゝるけしき阿  
 10 52 11 給はて給はず阿  
 10 52 11 いたくいたう保阿  
 10 52 12 おほしおもほし阿  
 10 52 12 えいさめいさめ保  
 10 52 12 きこえナシ阿  
 10 52 12 しのひたれとナシ阿

10 52 13 御いきをひいきほひ阿  
 10 52 13 御きしききしき保阿  
 10 52 14 にしのはなちいてにしのはなちて保  
 10 52 14 おましおましは阿  
 10 52 14 屏風御屏風阿  
 10 52 14 はしめはしめて保阿  
 10 53 01 あたらしくはらひめてたくあたらしくえら  
 ひ阿  
 10 53 01 御ちしきつちしき保つちしき阿  
 10 53 01 四十まい四枚保阿  
 10 53 02 御く御さのく阿  
 10 53 03 ふたよろひにふたよろひにみ力保ふ  
 たよろひ阿  
 10 53 03 御ころもはこ御衣はこ保阿  
 10 53 03 かうこかゝはこ保かうこに阿  
 10 53 04 御すゝりゆするつきかゝけのはこ御ゆすゝ  
 りゆするつきかゝけの御はこりノ上カうる  
 ヲ書ク保ゆするつき硯のはこ阿  
 10 53 04 物物ノ保  
 10 53 04 うちノうちノの保ナシ阿  
 10 53 05 あやめをつくしあやうす物いたきほとに  
 阿  
 10 53 06 かねをも木をもかねをも阿  
 10 53 06 色いろひ保色を阿  
 10 53 06 あり有さま阿  
 10 53 06 いまめかしくいまめかしう保今めかし  
 阿  
 10 53 06 ものゝいと物の阿  
 10 53 07 ふかくふかう阿

10 53 07 かとめきかとめい阿  
 10 53 07 しなし給へるしなしたまへり保しいたさせ  
 給へり阿  
 10 53 08 まいりなとし給てまいり給なとして阿  
 10 53 09 御たいめんあり御心のうちにはいにしへ御  
 たいめつめていにしへの事御心のうちには  
 阿  
 10 53 09 いにしへいにしへを保  
 10 53 09 事とも事とも阿  
 10 53 09 さまノなりけんさまノ有けん阿  
 10 53 10 わかくわかう保  
 10 53 10 かくナシ阿  
 10 53 10 いふことはひかそへにやいふ事もそらこ  
 とにや阿  
 10 53 11 さま御さま阿  
 10 53 11 なまめかしくなまめかしう阿  
 10 53 11 めつらしくてとし月めつらしう年月を  
 阿  
 10 53 12 へたてゝへたゝり保  
 10 53 12 給は給阿  
 10 53 12 へたてもなくて御へたてもなくなつかしき  
 ほとに阿  
 10 53 13 をさなきをさなき御ノ上カラをヲ書クカ  
 保  
 10 53 13 うつくしくてうつくしけにて阿  
 10 53 14 うちつゝきても打つゝきしも阿  
 10 53 14 事ナシ保阿  
 10 53 14 の給けるをのたまつけるを保  
 10 53 14 大将の大将保

10 53 14 ついてにたにおりに阿  
 10 54 01 やうにやうにて阿  
 10 54 01 なに心なきなにこゝろもなき保阿  
 10 54 02 おはすおはするを阿  
 10 54 02 思とかめられず思もとかめられず保  
 10 54 02 むかしなからの昔なからに阿  
 10 54 03 ありさまにてさまも阿  
 10 54 03 ことも事阿  
 10 54 04 なまはしたなきまで思しらるゝなをはした  
 なきまで思給へらるゝ阿  
 10 54 04 いつしかといつか保  
 10 54 05 まつけたなるをまつけたむなるを保まつけ  
 たるを阿  
 10 54 05 ことしくことしくしう阿  
 10 54 05 またナシ阿  
 10 54 06 うれたけれうたてけれ阿  
 10 54 06 しはしはしはし保阿  
 10 54 06 わすれても忘て阿  
 10 54 07 かの君もかの君阿  
 10 54 07 ねひまさりねひまさりて阿  
 10 54 08 し給りし給へり保阿  
 10 54 09 いのるけふかないそふのるけふかな保  
 10 54 10 きこえ給聞給阿  
 10 54 10 よつ一阿  
 10 54 10 さまナシ阿  
 10 54 13 給て給阿  
 10 54 13 つき給つきわたり給へし阿  
 10 54 13 式部卿宮しきふ卿の宮保  
 10 54 13 おほしけれとし給けれと阿

10 54 14 御せうそこ御せうそく保阿  
 10 54 14 かくかう阿  
 10 55 01 給へる給ける阿  
 10 55 01 したりかほにてしたりかほに阿  
 10 55 01 御なからひ御中阿  
 10 55 02 なるなめる阿  
 10 55 02 君たちは君たちはた阿  
 10 55 03 つかたにつけてもおりたちてさつやくい  
 つかたにても入たちてさつやくなと阿  
 10 55 04 たてまつりてたてまつり保阿  
 10 55 04 さるへきかきりとつゞき給へりさるへき  
 かきり保さるへきかきりとつゞき阿  
 10 55 05 御あつ物御あつ物保阿(御)保  
 10 55 05 まいるまいり阿  
 10 55 05 おまへ御前阿  
 10 55 05 かけはんたい阿  
 10 55 05 おほむつきとも御つきとも保阿  
 10 55 05 なつかしくなつかしう保阿  
 10 55 06 いまめきたるいまめいたり保今めいたる  
 阿  
 10 55 06 程にせられたりナシ保ほとにせられけり  
 阿  
 10 55 06 朱雀院す尺院保阿  
 10 55 07 御ふえなと御ふえなとは阿  
 10 55 07 給てて阿  
 10 55 08 又ナシ保阿  
 10 55 08 めつらしくめつらしく阿  
 10 55 08 きよらきよらを阿  
 10 55 09 ねのかきりほとのかきり阿

10 55 10 たてまつるかきたて給へる阿  
 10 55 10 中になかに保  
 10 55 10 かのとおの第一にひし此おとゝの御のを  
 第一にし阿  
 10 55 11 心をとめて心とめて保阿  
 10 55 11 給へるね給へるねは保  
 10 55 12 したまへはし給へと阿  
 10 55 12 衛門督衛門のかみ保阿  
 10 55 12 かくかたう阿  
 10 55 12 給へは給て阿  
 10 55 12 おもしろくおもしろう阿  
 10 55 13 をとるましくをとるましう阿  
 10 55 13 ひくひき給阿  
 10 55 13 なに事もなににも保なに事につけても  
 阿  
 10 55 13 かくいとかう阿  
 10 55 14 心にくゝいと心にくゝ保心ふかく阿  
 10 55 14 あとかと保阿  
 10 56 01 つたへともはつたへとはんは保  
 10 56 01 かたにも阿  
 10 56 01 あらはなるをあらはなるへきを保  
 10 56 02 心にまかせてたゝかきあはせたるたゝ心に  
 まかせて吹あはせたる阿  
 10 56 02 物のね物ゝねの保阿  
 10 56 02 とゝのへられたるはとゝのへとられたるは  
 保  
 10 56 03 たへにナシ阿  
 10 56 03 ちゝおとゝは…10 57 01 わたくしことナ  
 シ阿

10 56 03 ことのをも ことのを保  
 10 56 04 いたういたく保  
 10 56 04 給たまふに保  
 10 56 04 いとわらゝかにまたいとわらかに保  
 10 56 05 かうしもかくしも保  
 10 56 06 琴は きんは保  
 10 56 06 兵部卿宮 兵部卿の宮保  
 10 56 06 官陽殿 そうい きやう殿保  
 10 56 07 すゑつかた 御すゑつかた保  
 10 56 07 一品宮 一品の宮保  
 10 56 09 御つたへ つかたへ 保  
 10 56 09 事も ことゝも保  
 10 56 10 えとゝめとゝめ保  
 10 56 10 琴は きんは保  
 10 56 12 ひき給に ひき給保  
 10 56 12 ことノしからねと ことノしからねとぬ  
 ノ上カラねヲ書ク保  
 10 56 12 夜のよの保  
 10 56 13 かへり声かへるゝゑ保  
 10 56 13 夜のよ保  
 10 56 14 なつかしくなつかしう保  
 10 57 01 いみしくいみしう保  
 10 57 01 わたくしことわたくしのこと保  
 10 57 02 ろくろくとも阿  
 10 57 02 きやうさくかうさく阿  
 10 57 02 あか月にあかつき阿  
 10 57 02 かの君 かの君は阿  
 10 57 03 などとも阿

10 57 03 ゆくゑも 行ゑをも阿  
 10 57 04 かうかく保 ナシ阿  
 10 57 04 かそへしらせ かそへさせ阿  
 10 57 04 つけては つけても阿  
 10 57 05 おひやまさと おひまさと保 おひまさ  
 るやとも阿  
 10 57 05 みたまひくらへよかしかく御らんしくらへ  
 よ阿  
 10 57 05 所せさに 所せきに阿  
 10 57 05 おもふにしたかひて 思しにたかひて保 人に  
 したかひて阿  
 10 57 06 たいめん たいめん保 たいめ阿  
 10 57 06 なん ナシ阿  
 10 57 06 給て 給阿  
 10 57 07 ことなきに ことなきに保  
 10 57 07 あらねは あらねはとノ上カラはヲ書クカ  
 保  
 10 57 07 ほのかにて ほのかに阿  
 10 57 07 かくかう阿  
 10 57 08 ちおしくそ 口おしく阿  
 10 57 08 おほされける おもほされける阿  
 10 57 08 かむの君も かの君なを阿  
 10 57 09 給て 給けり阿  
 10 57 09 こまかなりし こまやかなりし保阿  
 10 57 10 かく世にすみはて 世にすみつき阿  
 10 57 10 をろかならず思ひきこえさまノにをろか  
 ならず思ひらるゝ事聞え阿  
 10 57 10 きささきの きささきぬささささきささき  
 二直ス保二月の阿

10 57 11 十よ日に 十日よひに阿  
 10 57 11 朱雀院 院保 朱雀院阿  
 10 57 11 六条院 六条の院保  
 10 57 12 一のたいたい阿  
 10 57 13 かけて かけつゝ保  
 10 57 13 女房 ねうはう阿  
 10 57 13 つほねノ つほね阿  
 10 57 13 しつらひ ナシ阿  
 10 57 14 まねひて まねひ給て阿  
 10 57 14 御てうと 御てうとゝも保  
 10 58 01 御をくりをくり阿  
 10 58 02 よせたる よする阿  
 10 58 03 事とも 事と阿  
 10 58 04 事がきりありて ことがきりありるゝもノ上  
 カラかきヲ書ク保  
 10 58 05 御なかの あはひと 御なからひ阿  
 10 58 05 三日かほと 三日のほと阿  
 10 58 05 よりも より阿  
 10 58 05 あるしの院かたよりも あるしのあんよりも  
 保 あるしの院のかたに阿  
 10 58 06 いかめしく いかめしう保 ナシ阿  
 10 58 06 めつらじき めつらじきまで見ゆる阿  
 10 58 06 たいのうへもことなふれてたつたにもおほされ  
 めたいの上のことなふれたつたにもおほされ  
 阿  
 10 58 07 なり ナシ阿  
 10 58 07 つけて つけても阿  
 10 58 07 をとり ナシ阿  
 10 58 08 事も ことしも保 事阿

10 58 08 あるましけれと有ましき事なれとも阿  
 10 58 09 けはひにてうつろひけしきにてわたり  
 阿  
 10 58 09 なまはしたなくはしたなく保  
 10 58 09 おほざるれとおもほざるれと保  
 10 58 10 もてなしてもてなし給阿  
 10 58 10 程もほと阿  
 10 58 10 もろ心にもろとも阿  
 10 58 10 給て給つと阿  
 10 58 11 いとと阿  
 10 58 11 けにまたナシ阿  
 10 58 12 といはけなきけしきしてひたみちにナシ  
 阿  
 10 58 12 いはけなきいはけなきくノ上カラキヲ書ク  
 保  
 10 58 13 かのむらさきのゆかりたつねとり給へりしお  
 りむらさきを尋ねとりしを阿  
 10 58 14 されてされておかしうのみ見え給へは阿  
 10 58 14 これはナシ阿  
 10 58 14 よかめりいとよかめり阿  
 10 59 01 なんとナシ保阿  
 10 59 01 いとナシ阿  
 10 59 02 三日か程三日のほと阿  
 10 59 02 ところ年比は阿  
 10 59 03 猶ナシ阿  
 10 59 03 あはれなりあはれなゆにノ上カラなヲ書ク  
 力保  
 10 59 03 いやと阿

10 59 03 たきしめさせ給たきしめさせなし給保た  
 きしめ給ふ阿  
 10 59 04 いみしくいみしう保阿  
 10 59 05 よろつの事方にと阿  
 10 59 05 ならへてならへては保阿  
 10 59 05 あたノしくあたノしう阿  
 10 59 05 心よくなりをきにける我をこたりにかゝる  
 事もいてくるそかしわかけれと心かろしわ  
 かけれとも阿  
 10 59 06 中納言をは中納言を保  
 10 59 07 つかくつかう阿  
 10 59 07 おほしつゝくるおほしつゝけらるゝ保  
 阿  
 10 59 09 身なからもみなからなを保  
 10 59 09 心つきなかるへけれ心つきなかるへけれ  
 保  
 10 59 09 またナシ保  
 10 59 09 さりとてさりとて阿  
 10 59 09 きこしめさなとてきこしめさなと世に  
 阿  
 10 59 10 給へる給阿  
 10 59 10 すこしナシ阿  
 10 59 11 給ましかなる給ましかりける阿  
 10 59 11 ましてまいて阿  
 10 59 11 ことはりもなにもことはりもなきも保  
 10 59 11 いつこにいつくに保いつくにか阿  
 10 59 11 とまるへきにかとまるへきぞ阿  
 10 59 12 いふかひなけにいふかひなきに保

10 59 12 はつかしうはつかしく保  
 10 59 12 おほえ給ておもほして阿  
 10 59 12 つき給てつきて保阿  
 10 59 13 給へれば給へり阿  
 10 59 13 すゝり御すゝり保阿  
 10 59 14 たのみけるかなたのみけるかなと阿  
 10 60 01 かきませ給をとりてみ給てはかなきことなれ  
 とかきませ給へるをとり給てはかなけれと  
 阿  
 10 60 01 けにとけに保けにとおもほす阿  
 10 60 02 命こそ命とも阿  
 10 60 02 たゆともたえめたゆとんたえめ保  
 10 60 02 えわたり給はぬをわたり給はず阿  
 10 60 03 きこえナシ阿  
 10 60 03 なよゝかになよゝかに阿  
 10 60 04 にほひて忍ひて阿  
 10 60 04 給も給へは保  
 10 60 04 たゝにはたゝにしも阿  
 10 60 05 思しうたかはしく思わたりし阿  
 10 60 05 いまはどのみ今は阿  
 10 60 06 かくこそはとかつにこそはと保かはかりに  
 こそいと阿  
 10 60 06 かくかつ保ナシ阿  
 10 60 06 きゝみも聞えも阿  
 10 60 07 いてきぬるよ出きぬるに阿  
 10 60 07 あらさりければあらさりけり阿  
 10 60 08 うしろめたくうしろめたう阿  
 10 60 08 おほしおもほし阿  
 10 60 08 まきはしもてまきはし阿



10 62 05 うちナシ阿

10 62 05 夜よ保

10 62 05 けはひひやくかにてふともねいられ給はぬ

をけはひもひやくか也阿

10 62 06 あやしとやきかむとうちもみしろき給はぬも

猶いとくるしけなりあやしともや聞とかむ

ると打みしろき給はぬに猶むね打さはきねさ

めかち也阿

10 62 07 よふかき夜ふかき阿

10 62 07 こゑのこゑ保阿

10 62 07 きこえたるもきこゆなるも保聞えたるは

阿

10 62 08 ものあはれなりあやしういともものあはれな

り保哀なる阿

10 62 08 つらしとにはあらねとつらしとはなけれど

阿

10 62 08 思みたれ給ふけにやかの思みたれ給けるに

や阿

10 62 09 給てて阿

10 62 09 いかにと心さはかし給にいかにと心ざわき

したまふにかしノ上カラきしヲ書ク保ナ

シ阿

10 62 09 とりのね鳥のねを阿

10 62 10 夜よ保

なめりかじめのたちも阿

10 62 11 ちかくトチかう保

10 62 11 けり給阿

10 62 12 ひかりひかりは保

10 62 12 みえてわつかにみえていと阿

10 62 12 とまれる御にほひとまりたる御にほひも

阿

10 62 13 ひとりこたる雪はところノきえのこりたる

かひとりこたれける雪所ノ消のこりて

阿

10 62 14 庭のふとけちめみえわかぬ庭にけちめふ

と見え分ぬ阿

10 62 14 なをのこれる雪と残れる雪に阿

10 62 14 くちすさみ給つゝくちすさひたまひつゝ

保くちすさひにの給つゝ阿

10 63 01 みかうしうちたゝき給も御かうしをたゝき

給阿

10 63 01 ひさしくひさしう阿

10 63 01 こと事も阿

10 63 02 人々も人々阿

10 63 02 しつゝして阿

10 63 03 ひえにけるはひえにけり保

10 63 05 なつかしきいとなつかしき阿

10 63 05 うちとけてはたうちとけては保

10 63 06 おかしおかしき阿

10 63 06 きこゆれとみゆれと阿

10 63 06 かたかめるかたかめる保

10 63 06 おほしおもほし阿

10 63 07 よろつよろつに保阿

10 63 07 ことを事も阿

10 63 07 おほいてつゝおほいてつゝ阿

10 63 07 うちみきこえ給てその日はその日はつらみて阿

10 63 08 給へればたまひつれば保

10 63 08 たまはて給はす阿

10 63 09 雪に雪阿

10 63 09 心ちみたり心ち阿

10 63 09 なやましくなやましう保

10 63 10 侍とはへると保

10 63 10 きこえさせ侍ぬ聞えさせつ阿

10 63 10 ことはにことはにて保阿

10 63 11 御返御かへり保御事阿

10 63 11 おほすおほして阿

10 63 12 おほせとおもほせと阿

10 63 12 えさもさもえ阿

10 63 12 さはさ保

10 63 13 女君も女君阿

10 63 13 御心かな御有さまなり阿

10 63 13 くるしかり見くるしかり阿

10 63 13 れいのやうにれいのこと阿

10 63 13 おほとのもり御殿こもり保阿

10 63 14 おきさせをき保

10 63 14 御かたに御かたには阿

10 63 14 たてまつれ奉り阿

10 63 14 御さま御有さま阿

10 64 01 御ふて筆阿

10 64 01 ひきつくるひてつくるひて阿

10 64 02 へたつるほとはへたつる事は阿

10 64 02 つけ給へり人めしてさしてことノしつ阿

10 64 03 みいたしてナシ保

10 64 04 き給てきて阿

10 64 04 雪の雪阿  
 10 64 05 うち ナシ阿  
 10 64 05 給へり 給へる阿  
 10 64 05 わかやかにいとわかやかに阿  
 10 64 06 すゑ 梢阿  
 10 64 06 うち ナシ阿  
 10 64 06 花を はなを 保花も阿  
 10 64 06 みす みすを阿  
 10 64 07 おやにてをまぎくらるとみえ給はす おやに  
 てをやかてたかき位とも見えす阿  
 10 64 08 わかう わかく保  
 10 64 08 なまめかしき御さまなり なまめかし阿  
 10 64 08 御かへり 御返阿  
 10 64 09 かく かく保  
 10 64 09 にほはまほしけれなにほはまほしけれ  
 阿  
 10 64 10 ちりはかりも心わくるかたなく ちりはかり  
 わくる心阿  
 10 64 10 あまた あまたに保  
 10 64 11 ほと かぎり阿  
 10 64 11 めとまる めにとまる阿  
 10 64 11 はな 此花阿  
 10 64 11 などと阿  
 10 64 11 の給にのたまふほとに保阿  
 10 64 12 御返 御かへり保  
 10 64 12 うすやうにうすやうにて阿  
 10 64 13 いと ナシ阿  
 10 64 13 あらはや あらはやと保

10 64 13 へたつとはへたつと保へたつるとは  
 阿  
 10 64 13 なけれとなけれとも保  
 10 64 14 ほと 御ほと保阿  
 10 64 14 給はんもたまはむも保  
 10 64 14 心をき給へければ心をきておほすへければ  
 保 心をい給へければ阿  
 10 65 01 給へるを 給へるしも阿  
 10 65 02 はかなくて はかなくも阿  
 10 65 02 御てけにいとわかくをさなけなり 御てはい  
 とけなけにわりなくおさなし阿  
 10 65 03 かくは かくは保  
 10 65 03 物 ナシ保  
 10 65 04 めとまれと めとまり給を阿  
 10 65 04 やうにやうにて保阿  
 10 65 04 やみぬ阿  
 10 65 04 うへならはさこそあれなどはしのひてうは  
 さこそあれかくあれなど阿  
 10 65 05 きこえ きこえさせ保 聞えあはせ阿  
 10 65 05 心やすくを思なし 心やすく思聞え阿  
 10 65 05 のみ ナシ保  
 10 65 06 きこえ給 きこえたまひきノ上カラきヲ書ク  
 保  
 10 65 06 けふは けふそ保阿  
 10 65 06 わたり わたらせ保  
 10 65 06 御ありさま 御ありさまを保 御さまを  
 阿  
 10 65 07 今みたてまつる女房などはまして ナシ  
 阿

10 65 07 みるかひ 見奉るかひ阿  
 10 65 07 おほんめのと 御めのと保阿  
 10 65 08 など ナシ阿  
 10 65 08 人々そ 人々こそ阿  
 10 65 08 この ナシ阿  
 10 65 08 ひと所ひとつ阿  
 10 65 09 かしとなど阿  
 10 65 09 うちませて うちませ阿  
 10 65 09 ありける ありけん(り)保 有けり阿  
 10 65 09 女宮は 女宮保 女君阿  
 10 65 09 らうたけに らうたけにて阿  
 10 65 10 さまにて さまにておほす保 さまにておほし  
 ます阿  
 10 65 10 よたけく よたけう阿  
 10 65 11 なに心もなく なに心なく阿  
 10 65 11 御程 ほど阿  
 10 65 11 御そかちに 御そかちにて阿  
 10 65 11 なくなう阿  
 10 65 12 たゝ ナシ阿  
 10 65 12 おもきらひせぬ おもきらひせざらん阿  
 10 65 12 心やすく 心やすく保  
 10 65 13 をしく おしく阿  
 10 65 14 心もとなくおはしますと 世人すこし心もと  
 なくよ人も阿  
 10 65 14 思ためれ 思たむめれ保 思聞えためれ  
 阿  
 10 65 14 すちに すち保阿  
 10 65 14 なまめきゆへゆへしきかたは なまめかしう  
 ゆへしきは阿





10 68 01 たりナシ阿  
 10 68 01 おほしたれとおほしたちにたれと阿  
 10 68 02 きほひにはきほひに保阿  
 10 68 02 したふやうにし給はくと阿  
 10 68 02 いさめ給て人々いさめ申給て阿  
 10 68 02 仏の御ことなご経仏のことなと保御きやう  
 なにやかやと阿  
 10 68 03 六条のおとゝ六条の院保  
 10 68 03 のみナシ阿  
 10 68 03 御あたり御中保  
 10 68 04 わすれかたく忘れかたう阿  
 10 68 04 たいめたいめむ保  
 10 68 04 あひみてそのあひみそぬむノ上カラソラ書  
 クカ「保あひてその阿  
 10 68 05 こともことん保事を阿  
 10 68 05 きこえまほしくのみ聞えあきらめまほしう  
 阿  
 10 68 05 おほしおもほし保  
 10 68 05 きゝみゝもきゝみゝを阿  
 10 68 06 身のほとに御身のほとごまに保御身のほと  
 ゝまにて阿  
 10 68 06 おほしいてらるればおほし出らるゝ阿  
 10 68 07 すくしすくし阿  
 10 68 07 かつかく阿  
 10 68 07 のとやかになり給てのとかになり成て  
 阿  
 10 68 08 給らむ給入る阿  
 10 68 09 ことつけてつけて阿  
 10 68 09 さまにつねにさまをつねには阿

10 68 10 わかノしかるへき御あはひわかしかるへ  
 き御有さま阿  
 10 68 10 御かへり御返保阿  
 10 68 11 うちくしすくし保うちすくし阿  
 10 68 11 はてにたるまさりたる阿  
 10 68 12 給にも給も阿  
 10 68 12 もとももに保阿  
 10 68 12 事とも事は阿  
 10 68 13 めしよせてめしよせつゝ保阿  
 10 68 13 わかノしくいにしへにかへりていにしへ  
 にかへりわかノしく阿  
 10 68 14 人つてならてもこのしに人につたふましく  
 みつから阿  
 10 68 14 ことなんある事侍を阿  
 10 69 01 きこえなひかしてはからひ給へとて阿  
 10 69 01 いみしくいみしう保  
 10 69 01 まいらむまいりこむ保ナシ阿  
 10 69 02 ありき御ありき阿  
 10 69 02 身の程ナシ阿  
 10 69 02 しのふれはしのぶへきことなれば保忍ぶへ  
 き事ともなれば阿  
 10 69 02 人には人に阿  
 10 69 03 おもふに思へは阿  
 10 69 03 こゝろやすくななんとつしやすくなんと  
 保つしやすくてそなと阿  
 10 69 03 の給聞え給阿  
 10 69 03 よのなか世中の事阿  
 10 69 04 つけてもつけては阿  
 10 69 04 御心事阿

10 69 04 こゝらこゝら保  
 10 69 04 思つめつる思あつめたる阿  
 10 69 06 人はもりきかぬやう世にはもり聞えぬやう  
 は阿  
 10 69 06 こそ事こそ「ミセケチアルカ」保  
 10 69 06 うちなけき給つゝうちなき給て保うちなき  
 給へは阿  
 10 69 07 さらにナシ阿  
 10 69 07 あるましきえあるましき保阿  
 10 69 07 きこゆ聞え給へは阿  
 10 69 08 心は阿  
 10 69 08 事にもやうにも阿  
 10 69 08 そむき給ぬる御ためそんき給ぬる御ため  
 保そむきは給ぬる阿  
 10 69 08 うしろめたきうしろめたなき保  
 10 69 09 あらさりし事にもあらねはナシ保  
 10 69 09 けさやかにきよまはりてけさやきよまい  
 り阿  
 10 69 10 いまさら今さら阿  
 10 69 10 へきにやへきにやは阿  
 10 69 10 おほしおもほし阿  
 10 69 10 このたゝかの保  
 10 69 11 ひたちの君のひたちの言のきみの保ひたち  
 の言阿  
 10 69 12 ひころナシ阿  
 10 69 12 なりにける物する阿  
 10 69 12 まきれにとぶらほは月比のまきれにとぶ  
 らぶ事もおきゝなければ阿  
 10 69 13 いとおしくていとあつく阿

10 69 13 ひるなとけさやかにけさやかにて阿  
 10 69 13 ひんなきをひなきを保ひんなければ  
 阿  
 10 69 13 よの夜の阿  
 10 69 14 思侍る思ふ阿  
 10 69 14 人にも人にて阿  
 10 69 14 かくともしらせしときこえ給ていとかくも  
 きかせしとの給て阿  
 10 69 14 いたくいたつ保  
 10 69 14 心けさつけさつ保  
 10 69 14 給を給ことに阿  
 10 70 01 あたりナシ阿  
 10 70 01 み給てナシ阿  
 10 70 01 給事もあれと給へと阿  
 10 70 02 なにこともいとすきぬるかたのやつにはあら  
 す何事も阿  
 10 70 02 へたつるへたてたる阿  
 10 70 03 みしらぬしらぬ阿  
 10 70 03 しん殿へもしんてんにも阿  
 10 70 04 かきかはし給かきかはし阿  
 10 70 04 たき物御たき物保阿  
 10 70 04 なとナシ阿  
 10 70 04 くらし日をくらし阿  
 10 70 04 すくしてすこして阿  
 10 70 04 むつましき人のかきり四五人はかりいとむ  
 つましき人四五人して阿  
 10 70 05 あしろくるまあむしろくるま保あしろの車  
 阿  
 10 70 05 やつれたるにてふるめけるに奉りて阿

10 70 05 いつみのかみ和泉守阿  
 10 70 06 さくめきこゆれはおとろき給てさくめく  
 におとろきてさなんと聞ゆれは阿  
 10 70 08 たてまつらむに聞え給はんも阿  
 10 70 08 いとナシ阿  
 10 70 08 ひんなうひんなく保阿  
 10 70 09 給て給とて阿  
 10 70 09 こもとに此阿  
 10 70 10 あるましきあるまし保  
 10 70 10 たまへは給ければ阿  
 10 70 11 いたくいたつ保  
 10 70 11 けちかさけちかかさま阿  
 10 70 11 かつかつは保阿  
 10 70 13 なりけりなりける阿  
 10 70 13 かのナシ阿  
 10 70 13 しりはかためたればしりをはたかためため  
 れは阿  
 10 70 14 つもりをもつもりも阿  
 10 70 14 まきれなくまきれなう阿  
 10 70 14 かそへらるゝかそへしらるゝを阿  
 10 70 01 かくかう保  
 10 70 01 おほめかしきはおほめかしきも阿  
 10 70 01 いみしういみしく保  
 10 70 01 こそとと阿  
 10 70 02 給夜給にも阿  
 10 70 02 いたくいたつ阿  
 10 70 02 ふけ行ふけゆくまゝに保ふけ行に阿  
 10 70 02 こゑ／＼こゑ保阿  
 10 70 03 人めすくなき人すくなる阿

10 71 03 宮のうち宮の中阿  
 10 71 03 ありさまも有さまに阿  
 10 71 03 さもナシ保  
 10 71 03 うつり行世哉とつりかはる世なと阿  
 10 71 03 おほしおほし阿  
 10 71 04 平中かまねいくはく阿  
 10 71 04 涙もろになん何事にも阿  
 10 71 04 おとなおとなしくはかなしき事たかひに  
 阿  
 10 71 05 きこえきこえかはし保阿  
 10 71 05 かくてやとかくてや(と保かくてのみや  
 へと阿  
 10 71 05 ひきうこかしひきおこかし保  
 10 71 08 おほしいつもおもほし出るにも阿  
 10 71 08 よりおほうはさるよりたる阿  
 10 71 08 おほうはおほくは保  
 10 71 09 さはきそはさはきそ阿  
 10 71 09 給に給にも阿  
 10 71 09 たいめむたいめ阿  
 10 71 09 ありもすへかりけり有へきなりけり阿  
 10 71 10 おほしおもほし阿  
 10 71 10 よはるもよはる保  
 10 71 10 つしやかなるしつかなる阿  
 10 71 10 所はところ保  
 10 71 11 としころはとし比阿  
 10 71 11 世中を世中お保  
 10 71 11 思しり思しりつゝ阿  
 10 71 11 しゃしくしゃしう阿

10 71 11 おほやけわたくしのおほやけわたくし  
 阿  
 10 71 12 おほしおもほし阿  
 10 71 12 給にたれと給にたれと阿  
 10 71 13 御たいめに御たいめに保御たいめの  
 阿  
 10 71 13 事もことん保事阿  
 10 71 13 え心つよくもつよつも阿  
 10 71 14 わかうわかく保阿  
 10 71 14 なつかしくてなつかしき御けはひにて  
 阿  
 10 71 14 つまじさをまあはれをも思みたれてつ  
 まじさを哀に思みたれ給て阿  
 10 72 01 なけかちにてなな(けきかちに虫損部  
 へノ傍記「保」なけかちに阿  
 10 72 01 けしきけはひ阿  
 10 72 02 めつらしくあはれにて哀にめつらしくて  
 阿  
 10 72 02 あけ行も明ゆく空も阿  
 10 72 02 ちおしくてくちをしく保くるしうて  
 阿  
 10 72 03 空ナシ阿  
 10 72 03 うらゝかなりつらゝかなる阿  
 10 72 03 花は花も保  
 10 72 04 こたち心ち阿  
 10 72 04 ふちのえむし給し藤の花のえんし給ける  
 阿  
 10 72 05 なりけんかしとなりけりかし保  
 10 72 05 ほともほと阿

10 72 06 かきつゝけナシ阿  
 10 72 06 おほさるおもほしいてらる阿  
 10 72 06 中納言の君中納言君阿  
 10 72 06 みたてまつりてつまとナシ阿  
 10 72 07 おしあけたるにをしあけたるを阿  
 10 72 08 このナシ阿  
 10 72 08 へきとへきそとけにいと阿  
 10 72 09 おほしやすらひおもほし阿  
 10 72 09 日ひかり保阿  
 10 72 10 心ちするやうなる阿  
 10 72 10 こよなくこよなくまた保又なく阿  
 10 72 10 ねひくはよりねひまさり阿  
 10 72 10 御けはひけはひ保阿  
 10 72 10 なとをなと阿  
 10 72 11 へてもへて保へたてゝ阿  
 10 72 11 ましてまいて阿  
 10 72 11 よのつねよのつね虫損部へノ傍記保  
 10 72 12 すくすくすく阿  
 10 72 12 給はさらむ給はさりつらん保阿  
 10 72 12 御宮つかへにも御宮つかへも阿  
 10 72 13 心を御心をのみ阿  
 10 72 13 つくしたまひつくし給保阿  
 10 72 14 かるノしきかるノしき阿  
 10 72 14 思いてらる思つゝけらるゝ阿  
 10 73 01 とちめはけにのりあらせまほしきわさな  
 めるけちめはけに又あらまほしけなる阿  
 10 73 01 なめるをなんめるを保  
 10 73 02 御身を心に我御みをも保阿

10 73 02 えまかせ給ましくこゝらのえまかせす此  
 阿  
 10 73 02 人めも人めをも阿  
 10 73 02 いとナシ阿  
 10 73 03 とにとくちに阿  
 10 73 04 人ナシ阿  
 10 73 04 さきかゝりたるさきかゝれる阿  
 10 73 04 ひとえた一ふさ阿  
 10 73 06 しつみもしほみしも阿  
 10 73 07 より給へるの給へる阿  
 10 73 07 心くるしう心くるしく保  
 10 73 07 みたてまつる見たてまつる給りする二直ス  
 給ニセケチカ「保」  
 10 73 07 女君も女女きみも虫損部へノ傍記保  
 10 73 07 いまさらに今さら阿  
 10 73 08 つましくつゝまじう阿  
 10 73 08 さまノにさまノ阿  
 10 73 08 かけか保かたはら阿  
 10 73 08 なつかしくてなつかしうて阿  
 10 73 09 かけしやさらにかけしやいと阿  
 10 73 10 心なからも心からも阿  
 10 73 11 よくよつ阿  
 10 73 11 人よりナシ阿  
 10 73 11 こよなくこよなう阿  
 10 73 12 思ふ給へりしあひ思給へりし阿  
 10 73 12 御心さしなから御心はへに人より阿  
 10 73 12 御なからひには御なからに保御中らひ  
 阿  
 10 73 12 いかてかはいかてか阿

10 73 13 いみしくいみじう阿  
 10 73 13 おほんねくたれのさま御ねくたれのさま  
 保ねくたれの御さま阿  
 10 73 14 女君さはかりならむと女君はかはかりなら  
 んその事と阿  
 10 73 14 心え給へれと心はえ給へれと保心え給へれ  
 は阿  
 10 73 14 おほめかしくおほめかしう阿  
 10 73 14 もてなしておはすもてなし給へり阿  
 10 74 01 し給へらむし給はん阿  
 10 74 01 心くるしく心くるしう阿  
 10 74 01 なとかくしもみはなちかつしもなとて思は  
 なち阿  
 10 74 02 給つらむたまふらん保給にか阿  
 10 74 02 おほさるればおほさるれはとノ上カラはヲ  
 書ク保  
 10 74 02 よりよりも保  
 10 74 02 けにナシ阿  
 10 74 02 世を世阿  
 10 74 03 御事御ことをま(虫損部へノ傍記保  
 10 74 03 又もらすへきならねといにしへのこともナ  
 シ阿  
 10 74 03 もらすへきならねともらすへきにはあらね  
 と保  
 10 74 04 あらねとあらて保阿  
 10 74 04 はつかほのか阿  
 10 74 04 たいめたいめむ保阿  
 10 74 04 のこりなこり保  
 10 74 05 人めとかめあるましくもてかくしていまひと

たひもとかたらひきこえ給うちわらひて人  
 のとかむまじうて物なと聞ゆるわさもかなと  
 の給へは阿  
 10 74 05 あるましくあるまじう保  
 10 74 06 いまめかしくも今めかしうも阿  
 10 74 06 御ありさま御さま阿  
 10 74 06 いまに今にと阿  
 10 74 07 ほとほとに阿  
 10 74 07 ためナシ阿  
 10 74 07 くるしくくるしう保阿  
 10 74 08 みゆる見え給阿  
 10 74 08 おひらかにおりから阿  
 10 74 09 給へ給へかし阿  
 10 74 09 あるへくも有へうも阿  
 10 74 09 きこえぬをきこえぬを保  
 10 74 09 おもはすにこそなりにける御心なれ思はず  
 なりける御心さまなり阿  
 10 74 10 程にほと阿  
 10 74 10 なに事もけになに事も保阿  
 10 74 11 御方にも御かたに阿  
 10 74 11 とみにえわたりえとみにわたり保とみにも  
 わたり阿  
 10 74 11 きこえつゝきこえ給つゝ保聞えて阿  
 10 74 12 ひめ宮はなにともおほしたらぬを姫君やは  
 何事もおもほししらぬを阿  
 10 74 12 やすからすやすからぬ事に阿  
 10 74 12 わつらはしうわつらはしく保阿  
 10 74 13 などナシ阿  
 10 74 13 けしき御けしき阿

10 74 13 ましてまいて阿  
 10 74 13 おいらかにおいらかにて阿  
 10 74 14 うちはえうちへて阿  
 10 75 01 御いとまいとま保  
 10 75 01 御心御心ち保阿  
 10 75 02 くるしくくるしう保阿  
 10 75 02 のみナシ阿  
 10 75 02 夏ころなやましくし給をとみにもゆるしき  
 こえたまはねはいとわりなしとおほすナシ  
 阿  
 10 75 03 さま御さま保  
 10 75 03 またナシ阿  
 10 75 04 あえかなるおほむほといとゆゝしくそあ  
 えかにおはしますほといとゆゝしく阿  
 10 75 04 おほむほと御ほと保  
 10 75 04 おほすらむかしおほす阿  
 10 75 05 おとゝのナシ阿  
 10 75 05 御方は御かた保阿  
 10 75 06 いまは御身にそひていていり身にそひて今  
 は出入阿  
 10 75 06 御すくせ人の御すくせ阿  
 10 75 07 わたりてわたり給て阿  
 10 75 07 たいめたいめむ保  
 10 75 07 し給し給はんとする阿  
 10 75 07 ひめ宮にも姫宮になん阿  
 10 75 07 なかの中戸阿  
 10 75 08 よりもより阿  
 10 75 08 思しかどついてなきには思しをつめてなき  
 は阿

10 75 09 心やすくなんあるへきとこゝろやすくなと  
 阿  
 10 75 09 給へは給阿  
 10 75 10 へきナシ阿  
 10 75 10 こそはこそ保  
 10 75 10 あなれあむなれ保  
 10 75 10 給めるを給める阿  
 10 75 11 をしへなし給へかしとをしへきこえ給へか  
 阿  
 10 75 12 ましらむましらむ保阿  
 10 75 12 おほせはおもほせは阿  
 10 75 12 すましすこし阿  
 10 75 12 あらしとみえ給へりおとゝはあらしはやと  
 見え給おとゝの君は阿  
 10 75 13 ゆふかたゆふつかた保阿  
 10 75 13 かのたいあなた阿  
 10 75 14 たいめんたいめ保阿  
 10 75 14 いてたついてたつを保出たち待めるを  
 阿  
 10 75 14 きこえさせまほしけにきこえまほしけに  
 保聞まほしけに阿  
 10 76 01 物すめるをゆるしてかたらひ思ためるをゆ  
 るしてけりうちかたらひ阿  
 10 76 02 つきながらすなんつきながらまじう阿  
 10 76 02 給給へは阿  
 10 76 02 はつかしうはつかしく保  
 10 76 02 あらめあれ阿  
 10 76 03 なにことをかなにことをかは保阿  
 10 76 03 の給聞え給阿

10 76 04 おほしいてめおもほしいてめ阿  
 10 76 04 をきてありて阿  
 10 76 04 もてなし給そとなもてなし給そと保なもて  
 なし給そと阿  
 10 76 04 こまかにこまやかに阿  
 10 76 04 うるはしくてうるはしく阿  
 10 76 05 なに心もなき心なき阿  
 10 76 05 みあらはされん見あらはさん阿  
 10 76 06 はつかしくはつかしう阿  
 10 76 06 のたまはんのたまふ保  
 10 76 06 心へたてんなをさしへたてん阿  
 10 76 07 かくかう保かつかう阿  
 10 76 07 給する阿  
 10 76 07 かみのかみなるへき阿  
 10 76 08 身のほとなる身のほとなう阿  
 10 76 08 をきたてまつりたるおひたて奉りたるへた  
 て阿  
 10 76 08 こそこそは保  
 10 76 09 思つゝけられてうちななめ思つゝけられ給  
 て打なめられ阿  
 10 76 09 するしる阿  
 10 76 09 をのつからぶることをものつからぶるきこと  
 にも保をのつからぶることにて阿  
 10 76 10 すちにすち保阿  
 10 76 10 かくるゝかくる保かきなとする阿  
 10 76 10 さらは我身には思ふことありけりさは我身  
 は思事こそ有けれ阿  
 10 76 10 身ながらみつから保阿  
 10 76 11 女御の君女御保

10 76 11 おほんさまとをも御さまとんを保御あり  
 さまを阿  
 10 76 11 うつくしうもうつくしくも保  
 10 76 12 さまノさまノに保阿  
 10 76 12 給へるたま給へるふノ上カラ給ヲ書クカ  
 保  
 10 76 13 おほろけならむかいかくおとろかるへき  
 にもおほろけならむはおとろくはかりは  
 阿  
 10 76 13 ならむかなるらんか保  
 10 76 13 かくかう保  
 10 76 14 み給みたまふのノ上カラみヲ書ク保見え  
 給も阿  
 10 76 14 あるへきあへい阿  
 10 76 14 けたかうけたかく阿  
 10 77 01 とゝのひたるとゝのひたまへる保ねひとゝ  
 のひ給へる阿  
 10 77 01 そひてそへて阿  
 10 77 01 はなやかにいまめかしくにほひいまめかし  
 つ花やかにほひとゝのひ阿  
 10 77 01 いまめかしくいまめかしう保  
 10 77 01 なまめきたるなまめき給へる保阿「なまめ  
 きなまめい阿」  
 10 77 01 さまノのナシ阿  
 10 77 02 かほりもかほりとも保  
 10 77 02 とりあつめそひて阿  
 10 77 02 さかりさま阿  
 10 77 03 いかていかてか阿  
 10 77 03 かくかう阿

10 77-04 おほす おもほす阿  
 10 77-04 御てならひをすりの 御てならひの阿  
 10 77-04 給へれと 給へれは阿  
 10 77-05 みつけ見つれ阿  
 10 77-05 ひきかへし ひきかくし阿  
 10 77-05 てなどの 御手など阿  
 10 77-05 いと ナシ阿  
 10 77-05 わざとも わざとの保 わざと阿  
 10 77-05 らつノノしくつノノしくつ阿  
 10 77-06 うつくしけに つつくしう阿  
 10 77-06 かき給へり かひ給へり阿  
 10 77-07 ある所にめとめ給て あるに御めとまり給  
 阿  
 10 77-09 萩のしたこそ はきのしたはそ保 はきのした  
 阿  
 10 77-09 けしきことなれ けしきことなる保  
 10 77-09 かきそへつゝ かきそへ給つゝ保 かき阿  
 10 77-10 すさひ給すさみ給保  
 10 77-10 ふれて心くるしき ふれつゝ心くるしけなる  
 阿  
 10 77-10 したには するきは阿八は力保阿  
 10 77-11 けち なたらかにけち保阿  
 10 77-11 給へるも 給へるを阿  
 10 77-11 おほさる おもほさる阿  
 10 77-11 つかたにも いかたき阿  
 10 77-12 ありぬへければ 有へければ阿  
 10 77-12 いとわりなくて わりなくて保阿  
 10 77-12 いみしく いみしう保 かきりなく阿

10 77-13 おほしかへすにも おほしかへせずにも  
 上カラすヲ書クカ保  
 10 77-13 しちの あまたのまことの保 しんしちの  
 阿  
 10 77-14 御かたをはむつまじき物に 御かたをやんこ  
 となくむつましく阿  
 10 77-14 うつくしけに つつくしう阿  
 10 78-01 御ものかたりなといとなつかしくきこえか  
 はし給てなかのとあけて宮にもたいめし給へ  
 り宮には中のさつしをあけて御たいめあり  
 御物かたりなといとなつかしう聞えかはし給  
 へり阿  
 10 78-02 なかのと 中のと保  
 10 78-02 たいめ たいめむ保  
 10 78-03 のみ ナシ阿  
 10 78-03 心やすくて ナシ阿  
 10 78-03 おとなノしくおとなノしく阿  
 10 78-04 御すちをも すちを阿  
 10 78-05 たつね たのみ保  
 10 78-05 きこゆればかたしけなれと 聞え給かたし  
 けなれば阿  
 10 78-05 きこえさすれと 思きこええさすれとゆノ  
 上カラえヲ書キ、サラ二傍記保  
 10 78-06 侍つる たつゝみ侍阿  
 10 78-06 うとからす ナシ阿  
 10 78-06 ものし わたり阿  
 10 78-06 給て たまふて保  
 10 78-07 ことは 事あらんおりはうとからす阿  
 10 78-07 なともものしなとん物し保 などし阿

10 78-07 うれしかるへきなどのたまへはかねてより  
 思侍しほいかなふへきなど聞え給阿  
 10 78-08 とも ナシ阿  
 10 78-08 さまノにさまノノ阿  
 10 78-08 をくれきこえをくれきこえさせ保  
 10 78-08 おはしますめるおはします保 おはします  
 阿  
 10 78-08 御ゆるしの 御ゆるし阿  
 10 78-09 はへめれば はへれば保侍に阿  
 10 78-09 おもふ給へられる 思給へられ侍阿  
 10 78-09 そむき そんき保  
 10 78-10 御心むけも 御心むけ保  
 10 78-10 かくなん ナシ阿  
 10 78-10 きこえ給はすまた聞えす阿  
 10 78-10 御ありさまをも 御有さまを阿  
 10 78-11 へくそへく阿  
 10 78-11 はへめりし 侍めりし阿  
 10 78-11 たのみ つねはたのみ阿  
 10 78-12 いかてとのみ思侍れといかてうけ給とめ  
 ける心はへもきこしめされにしかなどのみ思  
 侍を阿  
 10 78-13 つけても つけてかはと阿  
 10 78-13 身なむ みのなん保身の阿  
 10 78-13 くちおしかりけるとくちおしくやなど  
 阿  
 10 78-14 けはひにて宮にも けはひにの給て宮に  
 阿  
 10 78-14 御心に 御心保阿  
 10 78-14 つき給へく つい給ぬへく阿

1078 14 すぐかたきさま 忘かたき事など阿

1079 01 給へは 給を阿

1079 01 をさなき御心ち おさな心ち保 おさなき心ち

阿

1079 02 給へりたまへりるヨリニ直入保

1079 02 御ふみかよひなとして 御文のかよはしなど

にて阿

1079 03 あいなう あいなく保

1079 04 あたりの事は あたりをは阿

1079 05 おほすらむ御おほえいとこのとしころのやつ

にはおほせしすこしはをとりななど おほ  
すらんのおほえはすこしはけをされ給なんと

阿

1079 05 おはせし えおはせし保

1079 06 ふかき御心さし ナシ保

1079 06 まさるさまなるをそれにつけても又やすから  
すいふ人々あるにいとまさりけるををの

ノ、阿

1079 07 又 ナシ保

1079 07 かく かつ阿

1079 07 きこえかはし 給へは 聞えより給へるを

阿

1079 08 ありける ナシ阿

1079 08 御賀にさかのゝみたつにて 御れつにさかの

たつにて阿

1079 09 薬師ほとけやくし仏阿

1079 10 いさめ申 いさめ 申保 いさめ返し阿

1079 10 しのひやかにとしのひて阿

1079 10 ほとけたつのかきりほとけ保 たつのかきり

阿

1079 10 ちすちくからのイすら八う力、からの

イ「八すへノ傍記力」保

1079 11 まことのまことに阿

1079 11 こくらく上と保

1079 11 思やらる 思やらるゝはかりし給へり阿

1079 11 さいそわつ経 最勝王経保 さいせつわつぎや

う阿

1079 11 寿命経 しゆみやつきやう阿

1079 11 ゆたけき よたけき阿

1079 12 給へり たまひ保 給阿

1079 12 御たう みたう保

1079 12 おもしろくい はむかたなくもみちのかけい  
とおもしろついふかたなきに紅葉のかけに

阿

1079 13 わけ行 わけゆき阿

1079 13 見物なるに たつのなかに阿

1079 14 給なるへし 給へし阿

1079 14 しもかれわたれる しもかれわたれるのノ上  
カラわヲ書ク「保 霜かれわたる阿

1079 14 野はらのきはら 保軒は阿

1079 14 まゝにまへに阿

1079 14 行ちかふをと 行かふ跡も阿

1080 01 しけくしけう阿

1080 01 たりたる阿

1080 01 御すきやう みす経保

1080 01 われもノと御かたノ御かたノよりわ  
れもノ、阿

1080 01 いかめしく いかめしう保 ナシ阿

1080 02 廿三日を 廿六日を保 廿六日は阿

1080 02 御としみの日 御としの日保

1080 02 院は 院にそ阿

1080 03 御まうけ 御まうけは保

1080 03 せさせし阿

1080 03 御さうそくを はしめ 御さうそく阿

1080 04 御事ともノことノも 保事は阿

1080 04 のみ ナシ保阿

1080 04 し給し 給を保阿

1080 04 御かたノも 御かたノ、阿

1080 04 さるへき事とも ナシ保 さるへき事は

阿

1080 05 わけつゝのそみ わけつゝみ阿

1080 05 たいともは人のたいとも人々の阿

1080 05 つほねノにしたるを つほねにしたるを  
保つほねなどしたるに阿

1080 05 はらひてみなはからひて阿

1080 06 諸大夫そ大夫保 したいふとも阿

1080 06 院司 むんとも阿

1080 06 しも人ノシもへ保阿

1080 06 いかめしく いかめしう阿

1080 07 れいのれいのやうに阿

1080 07 しつらひにてしつらひて保しつらひ

阿

1080 07 御そのつくゑ 御そつくゑ阿

1080 08 れいのことくむささき れいのことくむら

さき保

1080 09 うるはしくみえわたりてつちの心はつるは  
しくてつちの御心には阿



10 80 09 うるはしくうるわしう保  
 10 80 09 御前 おまへ保  
 10 80 10 からの地からのら保からのき阿  
 10 80 10 すそこすきこ阿  
 10 80 10 かさし御かさし阿  
 10 80 10 たいはたい保阿  
 10 80 10 くゑそく花そく保けつそく阿  
 10 80 12 心ナシ阿  
 10 80 12 四帖は四つ阿  
 10 80 12 式部卿宮なむしきぶ経の宮にそ保  
 10 80 13 いみしくいみしう阿  
 10 80 13 なれとなど保阿  
 10 80 13 せんすいたんせんすいのたん保山水のさま  
 阿  
 10 80 14 をき物たかきもの阿  
 10 80 14 たてゝたてゝくノ上カラてヲ書ク保  
 10 81 01 かむたちめみこたちかんたちめ保阿  
 10 81 01 左右の大臣ひたりのおとゝ保左右におとゝ  
 阿  
 10 81 01 式部卿宮しきぶ経の宮保  
 10 81 02 ましてまいて阿  
 10 81 02 給はぬ人給はぬは阿  
 10 81 02 左右にひたりみきの保  
 10 81 03 うちてして阿  
 10 81 03 四つら四十つゝ保六十阿  
 10 81 04 つゝけてつゝけ阿  
 10 81 04 たてたり奉り阿  
 10 81 04 はかりに阿

10 81 04 万歳樂まむさいらく保さいしやうらく阿  
 10 81 04 皇ニわつなう保わつしやう阿  
 10 81 05 ほとに阿  
 10 81 05 らんしやうさうそく阿  
 10 81 05 らくそんらくそんの保阿  
 10 81 05 まいゝてたるほとかゝやきいてたるほと  
 保かゝやき出たるも阿  
 10 81 05 猶なをあやしう阿  
 10 81 05 つねのつねに保阿  
 10 81 06 舞のナシ阿  
 10 81 06 まひはつる程に権中納言衛門督おりてみし  
 かきほとに舞はつるに中納言衛門督おもしろ  
 阿  
 10 81 06 衛門督ゑもんのかみ保  
 10 81 06 まひてまふて阿  
 10 81 07 かけに入ぬるなかにいりぬるも阿  
 10 81 07 なこりなこりを保  
 10 81 07 けうありおもしろし阿  
 10 81 07 おほしたりおもほしたり阿  
 10 81 07 朱雀院す尺院保  
 10 81 08 ゆふへ思いておもほして阿  
 10 81 08 権中納言中納言阿  
 10 81 08 衛門督衛門のかみの保  
 10 81 09 たちつゝきたちつき保阿  
 10 81 09 給にけるよゝの世の阿  
 10 81 09 有さまかたちよついなとも有さまとも  
 阿  
 10 81 09 なともなどん保

10 81 10 つかさくらめはちゝすすみてさへこそなとよ  
 はひの程をもつかさかうふりはたやゝおな  
 し事と見えたるよはひなと阿  
 10 81 10 なをナシ阿  
 10 81 11 かくたちつゝきたるたちつきつる阿  
 10 81 11 なりけり也阿  
 10 81 11 めてたくおもぶめめてたくおもぶノ  
 上カラめヲ書キ、サラニ傍記保おもほゆる  
 阿  
 10 81 12 涙くましくなみたくまじう阿  
 10 81 12 おほしいてらるゝおもほしいつる阿  
 10 81 12 夜によに保  
 10 81 13 ともナシ阿  
 10 81 13 まかりいつまかつ保阿  
 10 81 13 別当ともへたうとん保阿とんとも阿  
 10 81 13 人々人々の阿  
 10 81 13 ひきいてひきめて物保阿ひきめて物保  
 10 81 14 よりて一つとりてつききたまふつきノ  
 にとりつゝ阿  
 10 81 14 物とも物とん保  
 10 81 14 しなゝしなゝに阿  
 10 82 01 つゝみつら保  
 10 82 01 ほと保  
 10 82 02 思まかへらる思まかへらるゝ阿  
 10 82 02 はしまりてはしまり阿  
 10 82 03 給ける給へりける保  
 10 82 03 朱雀院すさく院保す尺院阿  
 10 82 03 たまはり給へるわたり奉る阿

10 82 04 めつらしくめつらしく阿  
 10 82 05 すきにしきし保をとるまじき阿  
 10 82 05 おほしいてらるおもほし出らるゝに阿  
 10 82 06 故入道の宮此入道宮の阿  
 10 82 06 御賀なとわれこそ御賀の事われこそは  
 阿  
 10 82 07 つけてかはつけてか保阿  
 10 82 07 心さしも心さしをも保阿  
 10 82 07 あかすくちおしくのみ思いてきこえあかす  
 のみくちおしく思聞え阿  
 10 82 08 二宮の二宮阿  
 10 82 08 ことをなにごとをもを阿  
 10 82 09 さつ／＼しくナシ阿  
 10 82 09 たにナシ阿  
 10 82 09 れいのおとあるれいとある阿  
 10 82 09 さまのまゝに保ナシ阿  
 10 82 10 たてまつらぬをたてまつり給はぬごとく  
 保奉給はぬは阿  
 10 82 10 給も給を保阿  
 10 82 11 みゆき行かう保御みゆき阿  
 10 82 11 なともナシ阿  
 10 82 11 おほしをきておもほしをきて阿  
 10 82 11 わつらひわらひ保  
 10 82 12 申申させ阿  
 10 82 12 くちおしく口おしうと阿  
 10 82 13 おほしおもほし阿  
 10 82 13 させナシ保阿  
 10 82 13 給てたまふ保

10 82 14 ならの京のみときやう御すほうならの京  
 阿  
 10 82 14 御す行のみす行の保ナシ阿  
 10 83 01 御はくゝみをおほしりながら御はくゝみ  
 におもほし給ながら阿  
 10 83 02 つけてかはつけてか保阿  
 10 83 02 御心さし心さし保心阿  
 10 83 02 あらはし御覽せさせ給はん御らんせられ奉  
 らん阿  
 10 83 03 おはせましおはしましかはと阿  
 10 83 03 心さし御心さし阿  
 10 83 03 かくかう保  
 10 83 04 おほやけにもおほやけに阿  
 10 83 04 きこえかへさせきこへかへし保阿  
 10 83 04 おほくとゝめさせおほしとゝめ阿  
 10 83 04 給つ給阿  
 10 83 05 ことはさき／＼を物さき／＼も阿  
 10 83 05 侍にもは入るに保阿  
 10 83 05 よはひよはひも阿  
 10 83 06 まことナシ阿  
 10 83 06 のちにのちの保すゑに阿  
 10 83 07 事ほと保阿  
 10 83 07 ありけれとあれと保阿  
 10 83 07 おほやけさまにておほやけさまに保  
 10 83 07 猶ナシ保又阿  
 10 83 07 いかめしくいかめしう保阿  
 10 83 08 まちのナシ阿  
 10 83 08 なたとしてさき／＼になとさま／＼に阿

10 83 08 ことかはらすことにかはらす保ことならず  
 阿  
 10 83 09 なすらへてなぞらへて阿  
 10 83 09 御子たちみこたち保阿  
 10 83 09 さつそく正そく保  
 10 83 10 非参議の四位ひざんき四位阿  
 10 83 10 まつちぎんたちなどたの殿上人まつち君  
 たちなどのを此院なと阿  
 10 83 11 なたナシ阿  
 10 83 11 さつそく御さつそく保御さつそくなと  
 阿  
 10 83 12 おひ御おひ阿  
 10 83 12 御方さま物阿  
 10 83 12 まいりたるまいれる阿  
 10 83 13 名あるかきりはなある物かきりは／＼ヨヨ  
 △力保なあるかきりの物は阿  
 10 83 13 まいる参ぬる阿  
 10 83 13 あめるありける保  
 10 83 14 えさせたるをえさせたるをこそは阿  
 10 83 14 ことにはかそへつゝけ事にかそへつゝけ  
 阿  
 10 83 14 ためれとためれと保ためれは阿  
 10 84 01 づるさくてづるさくてこそ阿  
 10 84 01 御ながらひ御なか阿  
 10 84 01 ことゝもは物とも阿  
 10 84 01 えそナシ保阿  
 10 84 01 かそへあえかそへたて阿  
 10 84 01 はへらぬやはへらぬを保侍らね阿  
 10 84 02 ことゝもをとをもを阿

10 84 02 中納言にぞ 中納言に阿  
 10 84 02 給てける 給ける保阿  
 10 84 03 そのころの そのころ保阿  
 10 84 03 しし 給ける ししける阿  
 10 84 03 御費の程 此御方に阿  
 10 84 03 くはへん くはへさせん阿  
 10 84 04 おほしめして おほしめしめてノ上カラめヲ  
 書ク保 おもほしめして阿  
 10 84 04 給つ院も 給へり院にも阿  
 10 84 04 給ふ 給ける阿  
 10 84 05 あまる あめる阿  
 10 84 05 いちは やき心ちし侍いと いちは やき事  
 阿  
 10 84 06 かくる へたるやうに かくる へるさまに  
 阿  
 10 84 06 給へれと けふはなを 給へれは又けふは  
 阿  
 10 84 07 はたことに かたことに保 ナシ阿  
 10 84 07 きやうなごも 行兼きやうなごも  
 二モミセケチカ保  
 10 84 08 つかうまつらせ給へり つかうまつる阿  
 10 84 08 など も阿  
 10 84 08 頭中将とつの中將保  
 10 84 08 うけ給て うけたまはりて保  
 10 84 08 みこたち五人 ナシ保 きやうしくは へたり  
 阿  
 10 84 09 左右おとゝ 左右のおとゝ保阿  
 10 84 09 大納言ふたり 大納言二所阿

10 84 09 宰相五人 宰相五人まいり給へりみこ五所  
 阿  
 10 84 09 東宮 春宮のも阿  
 10 84 10 院 ナシ保阿  
 10 84 10 のこるすくなしのこるはなし阿  
 10 84 10 おまし おましのく保 おましの阿  
 10 84 10 などは などは ノ上カラなヲ書ク保など  
 阿  
 10 84 10 うけ給はりて つけ給て阿  
 10 84 11 つかうまつらせ給へり つかうまつらせ給けれ  
 は保 つかうまつらせ給へり阿  
 10 84 11 けふはおせ事ありてわたりまいり給へり ナ  
 シ阿  
 10 84 11 けふは ナシ保  
 10 84 11 ありてにて保  
 10 84 12 申給て 申たまつて保 給て阿  
 10 84 12 御座につき 御さにつき保 おましにつき  
 阿  
 10 84 12 給ぬもやの 給ひぬも阿  
 10 84 12 御座にむかへて 御さにむかへて保 御さにむ  
 かひて阿  
 10 84 12 おとゝの 御座おとゝの 御さは保 御さは  
 阿  
 10 84 13 ものゝしく 物ゝしく阿  
 10 84 13 おとゝそ おとゝこそ阿  
 10 84 13 しうとくと は しうとくと保阿  
 10 84 14 給へる 給けれ阿  
 10 84 14 源氏の君 源氏君阿  
 10 84 14 御ひやう風 御屏風保 四尺の御屏風阿

10 84 14 四帖にうちの御て 四帖の内の御てつから  
 阿  
 10 85 01 からの ナシ阿  
 10 85 01 あやの あやを保  
 10 85 01 うすたんに うすくたんにして保 うすたみ  
 阿  
 10 85 02 など ナシ保阿  
 10 85 02 御屏風のすみつきのかゝやくさまはめもをよ  
 はす思なしさへめてたくなむありける 屏風  
 かゝやきすみつきなとめもあやにをよはす思  
 なしにめてゝふなん有けるを阿  
 10 85 02 御屏風 御屏風保  
 10 85 03 みつしひきものふきもの つしふき物ひきも  
 の阿  
 10 85 04 御いきをひも 御いきほひ阿  
 10 85 04 いかめしく いかめしく保阿  
 10 85 04 なりたまひにたれはうちそへて なりにたれ  
 はうちそひて阿  
 10 85 05 むまつかさひまつかさより阿  
 10 85 06 官人 ナシ阿  
 10 85 06 より ナシ保阿  
 10 85 06 つきゝに つきゝ阿  
 10 85 06 くれはてぬ くれはてぬれは阿  
 10 85 07 万さい 楽まむさいらく保阿  
 10 85 07 賀王恩 かわうおん保阿  
 10 85 07 なといふまひといふ物なと阿  
 10 85 07 めつらしく めつらしく阿  
 10 85 08 みな人 みなるイ人々阿  
 10 85 08 心を 御心保

10 85 08 兵部卿宮 兵部卿の宮保 兵部宮阿  
 10 85 09 世にかたき かたき阿  
 10 85 09 おまへ 御まへ阿  
 10 85 09 きんの御こと きんの御ことま入阿  
 10 85 10 わこん わつこん保  
 10 85 10 としころ とし比に阿  
 10 85 11 おほさるれば おもほさるれば阿  
 10 85 11 御て ナシ阿  
 10 85 11 ねとも ねこん保  
 10 85 12 など ナシ保  
 10 85 12 いま 今阿  
 10 85 12 御なからひにいつかたにつけてもきこえか  
 よひ給へき御むつひなと心よく御ながらひ  
 にも聞えかたらひ給へき御むつひなと心よく  
 阿  
 10 85 13 御みき おほみき阿  
 10 85 13 あまたたひまいりて物のおもしろさも あま  
 たひになり物のおもしろさも哀さも阿  
 10 85 14 御象いなぎとも 御象ひなぎとも 阿  
 10 86 01 わこん わつこん保  
 10 86 02 からの本とも くのさつの本なといれててほ  
 んともまなのもさつのもいれてなん阿  
 10 86 02 本とも 本とん保  
 10 86 02 たてまつれ 奉り阿  
 10 86 03 右つかさとも 右のつかさとも 保みまやの  
 つかさとも阿  
 10 86 03 こまのかく こまのかくとも 保さまノのか  
 くとも阿  
 10 86 03 ろくゑふの官人のろくとも ゑふの官人しも

10 86 04 そきそむき阿  
 10 86 04 ことゝもは ことゝもを保  
 10 86 04 給へれと 給へれば阿  
 10 86 05 一院 院保阿  
 10 86 05 きさいの宮 后宮阿  
 10 86 05 いひしらす いひしらせねと保阿  
 10 86 05 みえにたる みえにたぬれうる 二直入保み  
 つきにたる阿  
 10 86 06 ことなれば ことなれと保阿  
 10 86 06 めてたく めてたう阿  
 10 86 07 おはするを おはするは阿  
 10 86 07 すくれ すくれて阿  
 10 86 08 ものし給にまかのは 北の方の 物し給此は  
 北方阿  
 10 86 09 うらみ 御うらみ保阿  
 10 86 09 いとみかはしいとみおはし阿  
 10 86 09 行す 行さき阿  
 10 86 10 さまノ さまノ 保さま阿  
 10 86 10 御さつそく さつそく阿  
 10 86 11 ろくとも ろくとん保  
 10 86 11 おほかたのおほかたの保  
 10 86 11 事をそ 事は阿  
 10 86 12 うちノ うちノ 保そこらの阿  
 10 86 12 きよら けふら保  
 10 86 12 のみ ナシ阿  
 10 86 12 きゝ わたり給を きゝ給阿  
 10 86 13 かゝる かく阿  
 10 86 13 おほえたる おもほいたる阿

10 86 14 大将の君の 大将の阿  
 10 86 14 きりつほし けいさ阿  
 10 87 01 正月朔日 正月ついたち保阿  
 10 87 01 御すほう みすほう保  
 10 87 01 ふたんにせさせ給殿にてふたんにせさせら  
 る阿  
 10 87 02 やしろノの御いのりはた やしろノ御い  
 のりは保  
 10 87 02 かすもしらす 数もなし阿  
 10 87 02 ことを 事をも阿  
 10 87 03 み給へてしかは みたまひてしかは保阿  
 10 87 03 ほと かつ阿  
 10 87 03 おほししみたるをたいのつへなのおもほ  
 ししみにたるをたいの上の阿  
 10 87 04 ちおしく ナシ阿  
 10 87 04 おほさるゝに おほさるゝを阿  
 10 87 05 おはせんとかねてし 給はんとかねてより  
 阿  
 10 87 05 おほしきはく おもほしきはく阿  
 10 87 05 二月はかりより 二月よりおほしまつけけり  
 阿  
 10 87 06 あやしく あやしう阿  
 10 87 06 給に 給阿  
 10 87 06 さはくへし さわく保 さはくを阿  
 10 87 06 おんやうしと もゝをんみやうしと もゝ  
 保  
 10 87 07 給ふへく 給へくのみ阿  
 10 87 07 ほかの ほかノの阿  
 10 87 07 おほつかなしうし ろめたかるへし阿

10 87 08 かのあかしの御まち あかしのまち阿  
 10 87 08 なかのたいに 中のたいに保阿  
 10 87 08 こなたは こなたのは阿  
 10 87 09 ありけるに ありける保阿  
 10 87 09 御すほう みすほう保  
 10 87 09 たんひまなくぬりて たんともひまなし  
 阿  
 10 87 10 つとひて つとひ阿  
 10 87 10 御すくせも すくせをも阿  
 10 87 11 わさなめれは わさなれは阿  
 10 87 11 いみしき いみしき保 いみしう阿  
 10 87 11 給たまふ保  
 10 87 11 おほあま君も あま君阿  
 10 87 12 ほけ人にてそ ほけ人にて阿  
 10 87 12 ありけむかし 有けり阿  
 10 87 12 御ありさま 有さま阿  
 10 87 13 いつかと いつか阿  
 10 87 13 は君 此は君阿  
 10 87 13 かう かくて阿  
 10 87 14 ことなと ことむなと保 事をとは阿  
 10 87 14 まほにしも まをにしも保 まほにも阿  
 10 87 14 きこえしらせ えしらせ保 え聞え阿  
 10 88 01 よろこひに よろこひなきに阿  
 10 88 01 涙かちになみたおちに阿  
 10 88 01 事ともをわななき 事をわななくかし阿  
 10 88 02 あやしく あやしう阿  
 10 88 02 うちまほりうちまもり保  
 10 88 02 給しかと 給ひしを阿

10 88 03 ひとありとはかりはほのきをき給へればな  
 つかしくもてなし給へり 事ありとほのきを給  
 へれはいとつかしうもてなし給へる阿  
 10 88 03 なつかしく なつかしう保  
 10 88 04 給し程の事 たまへりほとこの事なと阿  
 10 88 04 おはしましたりし おはしましたりける  
 阿  
 10 88 04 ありさま ナシ保  
 10 88 05 京へのほり給しに 京にのほりたまひしとき  
 保阿  
 10 88 05 たれも たれもノ保阿  
 10 88 05 心を 心保阿  
 10 88 05 かばかり かくはかり保 ナシ阿  
 10 88 05 こそは ありけれと こそはと阿  
 10 88 06 なけしを 思給へなけしを阿  
 10 88 06 わか君の あかきみの保  
 10 88 06 いみしく いみしう保阿  
 10 88 07 かくかう保 かくも阿  
 10 88 07 かせさらまし かせさらましは保  
 阿  
 10 88 08 おほつかなくても おほつかなくて阿  
 10 88 08 おほして おもほして保阿  
 10 88 08 うちなき給 うちなひ給阿  
 10 88 08 心のうちには 心のうちに保阿  
 10 88 09 うけはりて いとつけはりて保  
 10 88 09 いみしかるへき いくしかるへき保 いくし  
 かるへき阿  
 10 88 09 きは身阿  
 10 88 09 あらざりけるを あらざりけり保阿

10 88 10 なりけり なりけりと保  
 10 88 11 人を はみをは保 身を阿  
 10 88 11 思けち 思てこそ宮つかへのほとにかたへの  
 人ノを 思けち保 思てこそ宮つかへのほ  
 とも万の人をも思けち阿  
 10 88 11 心おこりをは 心おこりは保阿  
 10 88 11 世の人 よ人保阿  
 10 88 11 したに けに阿  
 10 88 11 いひいつる やうも いひいつる 事も阿  
 10 88 12 ありつらむ ありけん保 あらん阿  
 10 88 12 おほしり おもほししられ阿  
 10 88 13 しりながら おもほししりながら阿  
 10 88 13 むまれ つまれ保  
 10 88 13 なとをは なんと阿  
 10 88 13 世はなれたる み姿よはなれたる保  
 10 88 14 なとも などは阿  
 10 88 14 あまりおほとき あまりにおほとけ阿  
 10 88 14 こそは こそ阿  
 10 89 01 なりやかな阿  
 10 89 01 かの 此阿  
 10 89 01 仙人 いとしきせん人保 いとやま  
 阿  
 10 89 01 やうにて やうに阿  
 10 89 02 むたなるを ナシ阿  
 10 89 02 き給も き給も阿  
 10 89 02 心くるしく 心くるしう保阿  
 10 89 02 なとかたノにかたノ阿  
 10 89 03 おはするに おはするほどに阿  
 10 89 03 給て 給ふ阿

10 89 03 御かちにこかちに保  
 10 89 03 よりナシ阿  
 10 89 04 つとひつとひて阿  
 10 89 04 御まへにこと人もおまへにことにひとと  
 保人々もおまへにことに阿  
 10 89 05 ちかくちかう阿  
 10 89 05 御木丁みき丁保阿  
 10 89 06 ほころひのひまもあらむにくすしなとやうの  
 さましてことさかりすぎ給へりやほころひ  
 たりや阿  
 10 89 06 ほころひもの保  
 10 89 07 などなといと阿  
 10 89 07 なまかたはらいたくなまかたはらいたう  
 阿  
 10 89 07 思給へりおもふたまへり保  
 10 89 08 ふるまふはふることは保阿  
 10 89 08 おほゆめれともおほゆめれと保阿  
 10 89 08 もう／＼にもう／＼と阿  
 10 89 08 おほ／＼しかりければほの／＼しかりけれ  
 阿  
 10 89 09 かたふきてかたむぶき阿  
 10 89 09 さまはさるは保阿  
 10 89 09 さいふはかりにもさはかりにさいふほとも  
 阿  
 10 89 10 なりなりける阿  
 10 89 10 かはらかにおいらかにて阿  
 10 89 10 めつや／＼かになきはれたるけしきのあやしく  
 むかし思いてたるめつらかになきはれたる  
 かむかし思いてらるゝ阿

10 89 11 うちつふれていたうつふれて阿  
 10 89 12 侍つらむ侍らん阿  
 10 89 12 このよのほかなるこのよのほかの保阿  
 10 89 12 ともにとも保ナシ阿  
 10 89 13 事とも／＼とも保阿  
 10 89 13 いてまうてきつらんいてまうてつらん  
 阿  
 10 89 14 うちほ／＼えみてうちほをえみて保ほ／＼えみ  
 て阿  
 10 89 14 なまめかしくなまめかしく阿  
 10 89 14 きよらけつら保  
 10 90 01 しつまりしりまり阿  
 10 90 01 物おほしたるさまにものおもほしたるさま  
 保物おもはしけに阿  
 10 90 01 みえ給我ことも見え給へはなにとも阿  
 10 90 01 おほえみえ保おもほえ阿  
 10 90 02 事ともを事とも阿  
 10 90 02 おほしみたる／＼おもほしみたる／＼阿  
 10 90 02 いまは今阿  
 10 90 02 かはかりとかはかりにと阿  
 10 90 02 御くらゐを御位も阿  
 10 90 03 給はんたまひてん保阿  
 10 90 03 よにきこえもしらせんとこそおもへ御よに  
 こそ聞えんと思ふを阿  
 10 90 03 ちおしく／＼ちおしく阿  
 10 90 03 おほしすつ／＼おほす／＼保おもほしすつ  
 へき阿  
 10 90 04 いと／＼おしく／＼おしくも阿

10 90 04 し給らんとし給らんなど阿  
 10 90 04 おほゆ／＼おもほゆ阿  
 10 90 05 まかなひなしまかなひなして阿  
 10 90 05 心くるしけに思てきこえ心くるしう思聞え  
 阿  
 10 90 06 あま君はあま君の保  
 10 90 06 いと／＼阿  
 10 90 06 めてたうめてたく保阿  
 10 90 06 うつくしうつくしく保うつくしと  
 阿  
 10 90 06 みたてまつるま／＼にもみたてまつりたまふ  
 にも保見奉り給ま／＼に阿  
 10 90 06 涙はえと／＼めす涙もと／＼め給はす阿  
 10 90 07 ちつきなどはみくるしく／＼ちつきはいと  
 みくるしう阿  
 10 90 07 うちしくれてうちしくれつ／＼阿  
 10 90 08 かたはらいたとかたはらいたやなと阿  
 10 90 08 めくはすれとめくはするれと保  
 10 90 08 き／＼もいれすみ／＼にもいれす阿  
 10 90 12 はまのとまやをうらのとま屋を阿  
 10 90 13 うちなき給ぬうちなきぬ阿  
 10 90 14 すむ人もすん人も保  
 10 90 14 心のやみは心のやみを阿  
 10 91 01 給給ぬ阿  
 10 91 01 ことも事なと阿  
 10 91 01 夢の中にゆめのなかに保夢のうちにも  
 阿  
 10 91 01 おほし／＼おもほし阿  
 10 91 02 おほす／＼おもほす保阿

10 91 02 やよひの十日の程にやよひの十日のほど  
 に保三月十日よひのほど阿  
 10 91 02 かねてはかねて阿  
 10 91 03 おほしきはきしかといたくおもほしを  
 阿  
 10 91 03 なやみ給なやむ保  
 10 91 03 事なくてこともなくて保事は露もなくて  
 阿  
 10 91 03 おとこみこおとこみこにて保おとこ宮に  
 阿  
 10 91 04 おほすおもほす阿  
 10 91 04 かくれのかたかくかくれのかた保  
 10 91 05 たゝナシ阿  
 10 91 05 いかめしきいかめしう阿  
 10 91 05 御うふやしなひ御うふやしなぬ保  
 10 91 05 などナシ阿  
 10 91 06 よそをしき有さまけにかひあるうらとよそ  
 ほしければけにかひ有けり阿  
 10 91 07 わたりわたらせ保  
 10 91 08 わか宮をつといたきてみ給へる此わか君を  
 つといたき給へる阿  
 10 91 08 いたきていたききて保  
 10 91 08 身つからみつからも阿  
 10 91 09 給はず給はねは阿  
 10 91 09 給はねはいとめつらかに給はすいとめつら  
 しく阿  
 10 91 10 思きこえ給へり見奉り給阿  
 10 91 10 たえずたに阿  
 10 91 11 をは君君阿

10 91 11 御ゆ殿のあつかひなとをたゝ御ゆとのゝあ  
 へしらひなと阿  
 10 91 11 つかうまつりつかまつり保  
 10 91 12 内侍のすけ日侍のすけ阿  
 10 91 12 つかうまつるつかまつる保  
 10 91 12 御むかへゆ御むかへのゆ阿  
 10 91 13 事もことん保事阿  
 10 91 13 ほのしりたるにほのしりたるを保ほのしり  
 たるは阿  
 10 91 14 あさましくあさましう阿  
 10 91 14 けたかくけたかう阿  
 10 91 14 ことにことも阿  
 10 91 14 人ナシ阿  
 10 91 14 みきこゆ見る阿  
 10 91 14 このその保  
 10 92 01 まねひたてんにねひたてんは阿  
 10 92 02 七日の夜七日夜阿  
 10 92 02 内よりもうちより保阿  
 10 92 02 御うふやしなひの事あり御うふやしなひあ  
 り阿  
 10 92 02 朱雀院のす尺院の保朱雀院より阿  
 10 92 02 かくかう阿  
 10 92 02 すすてすて阿  
 10 92 03 御かはりかはり保  
 10 92 03 藏人所よりくらひとゝころより保こまかに  
 藏人所より阿  
 10 92 03 頭弁とうの弁保  
 10 92 03 宣旨ナシ阿  
 10 92 03 つけ給はりてつけ給て阿

10 92 03 つかうまつれりつかうまつりなしたり  
 阿  
 10 92 04 きぬきぬわた阿  
 10 92 04 よりもより阿  
 10 92 04 おほやけことにはおほやけ事にも阿  
 10 92 05 いかめしくいかめしう阿  
 10 92 05 御子たちみこたち保君たち阿  
 10 92 05 いゑ／＼御いゑ／＼阿  
 10 92 05 そのころのそのころ保  
 10 92 06 きよらけふら保  
 10 92 06 つかうまつり給おとゝ君もこのほどの事と  
 もはいとなみつかうまつり給をおとゝの君  
 は比比は阿  
 10 92 07 やうにもやうに保  
 10 92 07 世になくひゞき世になきひゞきのみ阿  
 10 92 08 なまめかしくなまめかしう保阿  
 10 92 08 こまかなる宮ひのこまやかなるみやひ  
 阿  
 10 92 08 めもとまらすめとゝまらす阿  
 10 92 09 まつけたなるをまつけたるを阿  
 10 92 10 人をそえたてまつりたると人をこそえ奉り  
 たれと阿  
 10 92 11 きこえ給ふはことほりなりや奉り給阿  
 10 92 11 ひきのふるひき出る阿  
 10 92 11 およすけ給御めのとたと心しらぬはとみにを  
 よすけ給へるを御めのとたと心しらぬ人は  
 とみにも阿  
 10 92 12 中になかに保  
 10 92 12 しな心しな心はせ阿

10 92 12 かきりナシ保阿  
10 92 13 えりてえりつゝ阿  
10 92 13 つかうまつらせつかまつらせ保さある限そ  
さぶらはせ阿

10 92 13 御心をきての御心をきて阿

10 92 13 らう／＼しく／＼う／＼しう阿

10 92 14 にくらかにもにくからず阿

10 92 14 なとをなとも阿

10 93 01 まほならねと猶まほならねとも阿

10 93 01 みえかはし見えおはし阿

10 93 01 ゆるしなくゆるしなう阿

10 93 01 おほしおもほし阿

10 93 02 御とく御ゆかりかりひるしノ上カラかりヲ  
書キ、サラ二傍記保

10 93 02 むつましくむつまじう阿

10 93 02 おほしなりにたり思なりにたり阿

10 93 03 ちこうつくししみ給ちこうつくししみ給保  
阿

阿

10 93 03 などなとも阿

10 93 03 おはすもおはするも保阿

10 93 04 わか／＼しわか／＼しう阿

10 93 04 御かしつきかしつき阿

10 93 04 かのこたいの此したいの阿

10 93 04 わか宮をわか宮をヤノ上カラ宮、のノ上カ  
ヲをヲ書ク保わか宮阿

10 93 05 え心のとかに心のとかに保え心のことく  
阿

阿

10 93 05 みたてまつらぬなんあかすおほえけるみ奉  
らぬをそあかす思ける阿

阿

阿

阿

10 93 06 そめてそめては阿  
10 93 06 いのちもえたふましかめるいのちはたつま  
しかめる保

10 93 07 ひしり心ちにもひしり心にも保ひしり心も  
阿

10 93 07 いとナシ保

10 93 07 おほえければおもほえければ阿

10 93 08 さかいをさかひ阿

10 93 08 ゆきはなるへきと行はなるへきとて阿

10 93 08 この寺の阿

10 93 08 いへをはいゑを保

10 93 08 たら堂阿

10 93 09 田などのやうの物はたなとやうの物は保た  
なとは阿

阿

10 93 09 その此阿

10 93 09 おくのナシ阿

10 93 10 やま山の阿

10 93 10 としころもとしころ保阿

10 93 10 あしこにあしこにも保かしこう阿

10 93 11 のち後は阿

10 93 11 人にはみえしらる人にみしらる保人にみえ  
しらる阿

10 93 11 思てたゝすこしの思つゝ今すこしの阿

10 93 12 事ことの保阿

10 93 12 さりとともナシ保

10 93 13 申てなむうつろひける奉りてなんうつろひ  
にける阿

阿

阿

阿

阿

10 93 14 ひとくたり人(ひと)くたり保  
10 94 01 あま君あまきみに保阿

10 94 01 事もことん保

10 94 01 かよひけるかよひけるを阿

10 94 02 たてまつれ奉り阿

10 94 02 給へり給保

10 94 02 このナシ保阿

10 94 02 世中のうちに世中に阿

10 94 03 侍りつれと侍れと阿

10 94 03 かくなからかくなからに阿

10 94 03 思給へなしつゝおもふたまへなしつゝ保思  
給てなん阿

10 94 04 かなふみかなふみ保

10 94 04 みたまふるは侍らは阿

10 94 04 いらりて入侍て阿

10 94 05 なうてなくて保阿

10 94 05 御せうそく御せうそく保阿

10 94 07 かくナシ保阿

10 94 08 さかえさかひ保

10 94 09 つゆのつひの保阿

10 94 09 ねかひをはねかひを阿

10 94 10 おもとおもてノ上カラとヲ書ク保

10 94 10 二月きさらき阿

10 94 10 その夜のそのよ保

10 94 11 右のナシ保

10 94 11 さゝけたりさゝけたるに阿

10 94 11 左右よりひたりみきより保阿

10 94 12 山のしものかけに山のしたかけに保阿

10 94 14 こき行こきてゆく阿



- 10 95 01 まちいてむ 侍いてん阿  
 10 95 02 思ひはへしを おもひはへりしを保 思侍しを  
 阿  
 10 95 02 はらまれ給にしはらまれ給てむまれたまひ  
 にし保 はらまれ給てむまれ給ひし阿  
 10 95 02 こなたそくのかたの こなたそそのかたの  
 保  
 10 95 02 ふみを ふみをも保  
 10 95 03 内教の ないてんの阿  
 10 95 03 中にも にも保阿  
 10 95 04 ふところ ふところ保  
 10 95 05 おもふ給へかねてなむ なんとえかねて  
 阿  
 10 95 06 としころ侍し年ころをへし阿  
 10 95 07 わか君 あかきみ保阿  
 10 95 07 ことに ことに保  
 10 95 08 願 大願保  
 10 95 08 あひ給 あひたまひ保  
 10 95 08 わか君 あか君阿  
 10 95 09 給はん 給らん 力は力微妙「保  
 10 95 09 みやしる 御やしる阿  
 10 95 09 はしめ はしめて阿  
 10 95 09 はたし申給へ はたし申たまへ保  
 10 95 10 なにことをかは いまはなにことをかは保 又  
 なに事をか阿  
 10 95 10 うたかひ侍らむこの うたかひ給はんまいて  
 かの阿  
 10 95 10 かなひ侍りぬればはるかに かなひなははる  
 かなる阿
- 
- 10 95 11 十万億の国 十まむおくのかたくに保 十万億  
 の国を阿  
 10 95 11 、「そみのそみといへと阿  
 10 95 12 なり侍りぬればなりなりはへりぬれば保 成  
 侍ぬ阿  
 10 95 13 侍らむ 奉らん阿  
 10 96 01 月日も 月日をも阿  
 10 96 01 さらに ナシ保  
 10 96 01 なしろしめしそ なたつねしろしめしそ  
 阿  
 10 96 01 そめをきける そめをきたる阿  
 10 96 02 藤衣にも ふちのころもにふも 保 藤の衣  
 阿  
 10 96 02 やつれさやつれ阿  
 10 96 02 給はん 給保  
 10 96 02 我身は わか宮みは保  
 10 96 02 へん化 へんく象阿  
 10 96 02 おほしなして おもほして阿  
 10 96 02 老法師のおいほうしめたノ上カラのヲ書ク」  
 保  
 10 96 03 そへても そへて阿  
 10 96 03 のちのよを 後の世の事阿  
 10 96 04 ねかひ侍る所にたにいたり侍なはねかひ給  
 ぶ所に阿  
 10 96 04 又たいめんは たいめん阿  
 10 96 04 さはの さはかりの保  
 10 96 05 あひみんとを あひみんと保 あひみん事を  
 阿  
 10 96 05 おほせさてかのやしるにおもほせとてかの
- 
- 10 96 05 たてあつめたる願ふみとも たてあつめける  
 願書とも保 たてあつめたりけるくはんすと  
 も阿  
 10 96 06 おほきなるちんのふはこにおほきなりける  
 ちんのはこに阿  
 10 96 06 ふむしこめて ふうしこめて阿  
 10 96 06 たまへり たりけるを阿  
 10 96 07 ことノへにもかゝす ことノへしからす  
 阿  
 10 96 07 この月の十四日 此月廿四日阿  
 10 96 07 草のいほり 草のいほりを阿  
 10 96 08 山に やま山に和いほりノ上カラやまヲ書キ、  
 サラニ傍記「保  
 10 96 08 いら侍りぬる まかりこもり侍る阿  
 10 96 08 くま 虎阿  
 10 96 09 思しやうなる御よをまちいて 思ふやうなる  
 世をまちつけ阿  
 10 96 09 所世阿  
 10 96 09 たいめんは ヲタヅめは保 たいめん阿  
 10 96 09 ありなむ 侍りなん阿  
 10 96 10 かの ナシ阿  
 10 96 10 大とこ 大とく保  
 10 96 11 かき給て かきて阿  
 10 96 11 たえたる たへなる阿  
 10 96 11 なにかしらも なにかしも阿  
 10 96 11 かの御をくりにふもとまては ぶもとまて御  
 をくりに阿  
 10 96 12 まては まで保

10 96 12 さぶらひしかさぶらひしかと保さぶらひしか  
 とも阿  
 10 96 12 二人一人阿  
 10 96 13 さぶらはせ給さぶらはせ給し阿  
 10 96 13 そむきそんき保  
 10 96 13 おりをかなしきおりはかなしき事の阿  
 10 96 13 とちめけちめ保阿  
 10 96 13 思給へしかとおもふたまへしかと保思給し  
 かと阿  
 10 96 14 よりふしなからふしなから阿  
 10 97 01 給し給阿  
 10 97 01 御こと御琴阿  
 10 97 01 とりよせ給て取よせて阿  
 10 97 01 かいしらへ給つゝかいしらへて保かひしら  
 へ給ひて阿  
 10 97 02 なんナシ保阿  
 10 97 02 みたつにみす行に保ふんすい御経なと  
 阿  
 10 97 02 施入し給しさらぬ物ともおほくはたてまつ  
 り給てそのゝこりをなん御弟子とも六十余人  
 なんせにうし給のこりの物は御てし六十人  
 阿  
 10 97 02 たてまつりたてまつらせ保  
 10 97 03 ほとにほとノノに阿  
 10 97 03 つけてつけつゝ保阿  
 10 97 03 處分し給てそつふし給て保そつふせにし  
 給ける阿  
 10 97 04 猶しのこり猶そのゝこり保なをそのあまり  
 阿

10 97 04 御れうとてをくりたてまつり御れうとて  
 をくり阿  
 10 97 05 かきこもりさるはるけきはるけきみねにか  
 きこもり鳥なともかけらぬたかき阿  
 10 97 06 かなしひかなしみ阿  
 10 97 06 人々人阿  
 10 97 06 なんなを保  
 10 97 06 侍るはへめる保阿  
 10 97 06 なたナシ保  
 10 97 06 くだりけるくだりたりける保  
 10 97 07 ふる人わか人阿  
 10 97 07 老法しになりておいほうしにて保  
 10 97 08 たのみ思阿  
 10 97 09 夜のまとひよのまとひ保世のまとひ  
 阿  
 10 97 10 思給へるおもふたまへる保思へる阿  
 10 97 10 御せうそこ御せうそく保せうそく阿  
 10 97 11 なんあるとあると阿  
 10 97 11 をもノしくおもノしく阿  
 10 97 11 もてなしておほろけならてはかよひもてな  
 しつゝおほろけならて出入かよひ阿  
 10 97 12 あひみ給たまふ保阿  
 10 97 12 かたきをあはれなる事なんときゝておほつか  
 なければなきをはれなる事なりとつちぎゝ  
 て阿  
 10 97 13 いとみしくいとみしう保いみしう  
 阿  
 10 97 13 かなしけなるけしきにてけしきかなしくて  
 阿

10 97 14 ふみを文阿  
 10 97 14 せきとめんかたそなかりけるいとせきとめ  
 かたき心そ有ける阿  
 10 97 14 せきとめんせきとめむ保  
 10 98 01 よの人よそなるひと保よその人阿  
 10 98 01 めとゝむましきめとむましき阿  
 10 98 01 ことのつしノノをつくノノと保ことつゝ  
 きを阿  
 10 98 01 まつむかししかたの事きしかたのことも  
 保しかたの事を阿  
 10 98 01 思いて思いてられ保思つゝけ阿  
 10 98 02 すきはてぬるにこそはとみ給にいみしくいふ  
 かひなし涙をえせきとめすすきてなんする  
 にこそいとみ給にもいとみしういふかたな  
 しなみたもせきとめす阿  
 10 98 02 すきはてぬるにすきはてぬるに保  
 10 98 02 いみしくいみしう保  
 10 98 03 御ゆめかたりをゆめかたりをば保夢かたり  
 を阿  
 10 98 03 行さきゆくさきの保いと行すゑ阿  
 10 98 03 たのもしくたのもしう阿  
 10 98 03 さはさらは保阿  
 10 98 04 我身をわか身は阿  
 10 98 04 思たゝよはれし思給へられし阿  
 10 98 05 心たかく心たかくも阿  
 10 98 06 ひさしくひさしう阿  
 10 98 06 御とく御事ゆへ阿  
 10 98 06 うれしくうれしう阿  
 10 98 06 をもたゝしきことをもたのもしき事も

阿

10 98 07 思侍り侍阿

10 98 07 思ひも思にも阿

10 98 08 侍けれおほえはへりけれ保

10 98 08 かすならぬかすならぬ保

10 98 08 かしこにナシ阿

10 98 09 よ人に世に阿

10 98 09 たかひたるたかひたりける保たくひなき

阿

10 98 09 あるありける阿

10 98 09 思ひはへしかとおもひはへりしかと保思侍

しかと阿

10 98 10 契とはちきりと保契には阿

10 98 10 思かけす思もかけて阿

10 98 11 かくナシ阿

10 98 12 たちがへりてはへる立かへり侍に阿

10 98 12 よるこふものからよるこふ物ながら阿

10 98 12 かつかたにはかつかたは保かた／＼に

阿

10 98 13 ことのうちそひて事をうちそへ阿

10 98 13 かくあひみすはかなくあひみぬ阿

書ク保

10 98 14 わかれぬるなんはなれ侍ぬるなん阿

10 98 14 うちおしく口おしつ阿

10 98 14 おほえはへるおほえはへる先出はニミセ

ケチカレ保侍る阿

10 98 14 時たに時たにも阿

10 99 01 心はえにより心さまにて阿

10 99 01 もてひかむるもてひかめたる阿

10 99 01 やうなりしをやうなかりしを保

10 99 02 をの／＼は又なく契をのかとちは又ちきり

かはし阿

10 99 02 ふかくふかう阿

10 99 02 こそナシ阿

10 99 03 かくてナシ保なく阿

10 99 04 いみしくいみしつ保阿

10 99 04 すくれんすくれ阿

10 99 04 おほえすやおもほえ侍らす阿

10 99 05 かひあるへきにもかひ有へうも阿

10 99 06 ありさま御ありさま阿

10 99 06 おほつかなくてやみなむおほつかなくてや

となん阿

10 99 06 うちおしけれいみしつ口おしけれ阿

10 99 06 よるつのよるつぬにヲのニ直ス保

10 99 07 御ためとこそ御ためこそ保

10 99 07 おほえおもほえ阿

10 99 07 給なはたまひ保ナシ阿

10 99 08 きえ給なはかひなくなんき／＼はて給なはい

ともかひならん阿

10 99 08 事ともをいひつ物語をしつ阿

10 99 09 おと／＼の君のおと／＼のきみ保阿

10 99 09 ありある阿

10 99 10 かくれたらむもかくれたらん阿

10 99 10 かる／＼しきかる／＼しかるへき保

10 99 10 へしナシ阿

10 99 10 なにはかりもなにはかり保

10 99 11 かくそひかくるひ阿

10 99 11 身をもみを保

10 99 11 もてなしにくかるへきもてなしにくき

阿

10 99 12 わたり給ぬ給阿

10 99 12 わか宮はいか／＼おはしますいかてかみたてま

つるへきとてまなきぬナシ補入符号ノミア

リ保

10 99 12 いかてかいか／＼してか阿

10 99 13 なきぬなく阿

10 99 13 女御の君もひめ宮も保姫君は阿

10 99 13 いとナシ阿

10 99 14 なむナシ保

10 99 14 おほしいてつ／＼おほしいてつ／＼きこえ給め

るぬんもこのついでに保阿ぬんも院にも

阿

10 99 14 世中世中也阿

10 99 14 なれとなれとも阿

11 00 01 そのナシ阿

11 00 01 給はなんと給は／＼なと阿

11 00 01 おほすおまほす阿

11 00 02 いてやいて阿

11 00 02 ためしなきためしすくなき保

11 00 02 すくせにこそ侍れとてすくせには侍なれと

阿

11 00 03 このふはこはここのふはこ保御文箱などは

阿

11 00 03 宮より宮をは阿

11 00 04 おほしたるをもほしたるも保おもほしたる

事も阿

11 00 04 なりナシ保  
 11 00 04 こと御こと保阿  
 11 00 05 おほさるむ思ほさるらん保阿  
 11 00 05 たてまつらむたてまつらむの保奉らんと  
 阿  
 11 00 06 御心つかひし賜御心まつつけさせ給阿  
 11 00 06 おほんいとま御いとま保阿  
 11 00 06 心やすからぬに心やすからぬを阿  
 11 00 07 あらまほしくあらんと阿  
 11 00 07 おほしたりおもほしたり阿  
 11 00 07 おそろしきことをし給へれはわりなきわざ  
 をさへし給つれば阿  
 11 00 08 いみしくいみじう阿  
 11 00 08 御さまさま保阿  
 11 00 09 おはするおはする保おもほす阿  
 11 00 09 こそはなごこそはと保阿  
 11 00 09 なとはは阿  
 11 00 10 給を給阿  
 11 00 10 かやうにかうやうに保  
 11 00 10 たてまつりナシ阿  
 11 00 10 給はむも給らん若ら力は力微妙保  
 11 00 10 あはれなるへき哀なるへい阿  
 11 00 11 たいのうへなどのたいの上なと阿  
 11 00 12 おまへ御まへ保  
 11 00 12 ふはこ御はこを阿  
 11 00 13 給給はんよ保阿  
 11 00 13 とりかくしてとりかへして阿  
 11 00 13 をきてをひて阿

11 00 13 さためかたければさためなければ阿  
 11 00 14 なに事をもなに事も阿  
 11 00 14 おほしおもほし阿  
 11 00 14 こなたこなたに保  
 11 00 14 はかなくはかなう阿  
 11 01 01 かならずしもかならず阿  
 11 01 01 御らむせらるへき身御らんすへき阿  
 11 01 01 侍らねはあらねは保  
 11 01 02 はへるはへらむ保  
 11 01 02 はかなきはかなひ阿  
 11 01 02 事をも事も阿  
 11 01 03 むつかしくむつかしう保阿  
 11 01 03 あやしきゆゝしき阿  
 11 01 03 御らんせよこらむせさせはへる保御らんせ  
 さするよ阿  
 11 01 03 願ふみは御願ふみ保御くはん阿  
 11 01 03 ちかきそはちかき阿  
 11 01 04 みつし御つし保  
 11 01 04 をかせ給てかならずさるへからむおりに御ら  
 むしてこのその阿  
 11 01 04 おりにをり保  
 11 01 04 うちの中の阿  
 11 01 05 せさせしらせ阿  
 11 01 06 をきつればをきては阿  
 11 01 06 よをそむき侍なん世の中をそむきなん  
 阿  
 11 01 06 おもふ給へ思給へ阿  
 11 01 07 おほえはへらす思給へられす阿  
 11 01 07 御こゝろ御心を保

11 01 07 させナシ阿  
 11 01 08 御けしきをみはへれは御心を見をき侍れば  
 阿  
 11 01 08 こよなくこよなう阿  
 11 01 09 御よにもあらなんとそ思はへる御よはひに  
 もあへなんとそ思をき侍阿  
 11 01 09 御身に御みに保  
 11 01 09 きこえさせんにつけてもきこえんも阿  
 11 01 10 きこえそめ侍にしきこえさせはへりにし  
 保聞えし阿  
 11 01 10 いとナシ阿  
 11 01 10 かうかく保  
 11 01 11 なんナシ阿  
 11 01 11 猶よのつねによのつねのことに阿  
 11 01 11 おもふ給へわたり侍つる思わたりは入りつ  
 る保思給へわたりつる阿  
 11 01 11 行ききゆくさきも阿  
 11 01 12 思なりにて思給へなりにて阿  
 11 01 12 侍りなど侍と阿  
 11 01 12 おほくきこえ給涙くみてきゝおほえ聞え給  
 へはなみたくみつゝ阿  
 11 01 12 かくかう阿  
 11 01 12 むつましかるへきむつましかるへきを  
 阿  
 11 01 13 おまへ御まへ保  
 11 01 13 うちとけぬうちとけ給はぬ阿  
 11 01 13 さまし給てさましたまひるにノ上カラしヲ  
 書クカレ保  
 11 01 13 したるさまなりし給へり阿

11 01 14 このかの阿  
 11 01 14 こはくこはく保こはくしく阿  
 11 01 14 にくけなるにけける阿  
 11 01 14 さまをさまなり保さまなと阿  
 11 01 14 みちのくにかみにてみちのくにかみなと  
 也保みちのくにかみの阿  
 11 02 01 五六枚五六まいに阿  
 11 02 01 かつにいとぶかくかつにはいとぶかく保い  
 とぶかくかつに阿  
 11 02 02 あはれと哀に阿  
 11 02 02 おほしておもほして阿  
 11 02 03 御そはめそはめいみしう阿  
 11 02 03 院はひめ宮の院ひめ君の阿  
 11 02 03 なかの中の阿  
 11 02 04 御きちやうをみ木丁を保みき丁阿  
 11 02 04 すこしナシ阿  
 11 02 05 とぎのまもやうゝゑみなとし給めかるれ  
 はよのまも阿  
 11 02 06 なりけりとなりけりと保  
 11 02 06 きこえ給へはの給へは阿  
 11 02 06 いらへもきこえいらへ阿  
 11 02 06 御方御かたは阿  
 11 02 06 わたしわたい阿  
 11 02 07 きこえ給へきこえ給つ保奉りつ阿  
 11 02 07 きこえ給いとあやしやあなたに申給いとあ  
 やしうあなたの阿  
 11 02 07 らつし奉りてつらつ奉りて阿  
 11 02 08 もてあつかひつゝあつかひ聞えつゝ阿  
 11 02 08 きぬもみなきぬを阿

11 02 09 なめるなめるは阿  
 11 02 09 かるしくかるしく保かるしく  
 阿  
 11 02 09 なとかくなくとかくは保なとかつねに阿  
 11 02 10 女に女にて阿  
 11 02 10 おはしまさむにおはしまさんにて保おはし  
 まさん阿  
 11 02 11 給はんこそよく侍らめまして給はん事こそ  
 よからめ阿  
 11 02 12 たはふれにてもたわふれにても保  
 11 02 13 さかしかりさかしらかり保  
 11 02 13 させナシ阿  
 11 02 13 きこえ給申給阿  
 11 02 13 うちわらひてうちわらひ給て阿  
 11 02 13 御なか御心保  
 11 03 01 をさなけれまつはおかしけれまことは  
 阿  
 11 03 01 はひかくれてつれなくいひおとし給めりかし  
 とつれなうはひかくれていひいたし給め  
 りしとて阿  
 11 03 02 御木丁をみはき(丁を保みき丁阿  
 11 03 02 よりかゝりてよりあて阿  
 11 03 03 心はつかしけなる心はつかしき阿  
 11 03 03 まとひかくさん又とりかくさん阿  
 11 03 03 あしければあしきやうなれば阿  
 11 03 04 なそのなにその阿  
 11 03 04 はこそ保阿  
 11 03 05 ふんしこめたるふしこめたる保をしこめた

らん阿  
 11 03 05 心ちこそすれふはここそおもほえたれ  
 阿  
 11 03 05 いまめかしくいまめかしう保阿  
 11 03 05 なりかへらせ給めるならせ給へる阿  
 11 03 06 御すさひ事御すさみこと保御すまひこと  
 阿  
 11 03 06 ともナシ保阿  
 11 03 06 とてと阿  
 11 03 07 給へれと給へれとも阿  
 11 03 07 物あはれなりけるものあはれける保物哀  
 なる阿  
 11 03 07 するければいとるきに阿  
 11 03 08 さま御さま阿  
 11 03 08 あかしのいはやあかしのうら阿  
 11 03 08 はへしはへりし保侍し阿  
 11 03 09 巻数かす阿  
 11 03 09 又ナシ保  
 11 03 09 またしき願などのまたしき御願などの保御  
 願などのまたしく阿  
 11 03 09 しらせたてまつるへきおりあらはしらせた  
 まふへきおりもあらは保しらせ給へ又さる  
 へきおりにも侍らんおりは阿  
 11 03 10 をくへくあはせ給へく阿  
 11 03 10 侍をなん阿  
 11 03 10 ついてなくてなにかはなにかつゐてなくは  
 阿  
 11 03 11 給に給保阿  
 11 03 11 あはれなるへき哀なるへい阿

11 03 11 ありさまそかしと ありさまにそかしとおほし  
 て保 有さまそかしとおもほし出て阿  
 11 03 12 すみ給にたらむ 心すみたまひにたらん保 す  
 みまさりにたらん阿  
 11 03 12 なかくてこころの なかくえそころの阿  
 11 03 12 としころの としころ保阿  
 11 03 12 つとむるつみもよなからむ つもりなん  
 阿  
 11 03 12 つみ つもり保  
 11 03 13 世の中 世間阿  
 11 03 13 よしあり よしある阿  
 11 03 13 かたノ人として かたの人々を阿  
 11 03 14 そみたる程の すみたるほどにも阿  
 11 03 14 かたこそあれいと かたにこそあれと阿  
 11 04 01 ふかく ふかう阿  
 11 04 01 ありさまかなひしりたちこの世はなれかほに  
 も 有さまそかしひしりたちて此世ははなれ  
 行にも阿  
 11 04 02 したの心 した心阿  
 11 04 02 あらぬ世に あらぬさま代イ(に保  
 11 04 03 すみにたる すみたり阿  
 11 04 03 まして まいて阿  
 11 04 03 なく なくて阿  
 11 04 03 思ひはなれにたらむをや 思はなれにたらん  
 を保 思はなれたらんをや阿  
 11 04 04 身ならばしのひていとあはまほしく身なら  
 ましかは今一たび見まほしく阿  
 11 04 05 侍し所をも 侍る所にも侍らて阿  
 11 04 05 山にとなんき侍ときゆればならは 山に

11 04 06 せうそこは せうそくは保 せうそこ阿  
 11 04 07 契 中の契阿  
 11 04 07 こそそふへけれ こそは侍れ阿  
 11 04 08 思しりしり保阿  
 11 04 09 みありさま 御有さま阿  
 11 04 09 ふかき まいてふかき阿  
 11 04 09 なからひはならひなれは阿  
 11 04 10 夢かたりも 夢かたりを阿  
 11 04 10 おほし おもほし阿  
 11 04 10 事もやと こともや保  
 11 04 10 思て ナシ保阿  
 11 04 10 いとあやしきほんしとかいふやつなるあと  
 にいふなるあとには阿  
 11 04 11 はへめれと 侍れと阿  
 11 04 11 ましり侍 ましりて侍らん阿  
 11 04 12 侍にしかと 侍にしかこと阿  
 11 04 12 のこり侍るものなりけれのこりはへりける  
 物なりけれ保のこりけれ阿  
 11 04 13 よく よう阿  
 11 04 13 給て 給とりたまひて保阿  
 11 04 13 猶ほれノしからすこそあるへけれてなとも  
 すへてなまほれノしからすもかいためる  
 手かな阿  
 11 04 14 たこのよぶる 此世にぶる阿  
 11 05 01 すくなかりけれすくな(かりけれ保  
 11 05 02 そのむくひにかく ナシ阿  
 11 05 03 すきは す保  
 11 05 03 なきなり なきなり保阿

11 05 03 などと保となん阿  
 11 05 03 人の保 ナシ阿  
 11 05 03 女子のかたにつけたれとかくていとつきなし  
 といふへきにはあらぬも 女かたにつけては  
 かくてけにつきなしなどはいふへくもあらぬ  
 を阿  
 11 05 03 つけたれと つけたれさてノ上カラたヲ書ク  
 保  
 11 05 04 そころのそころのノ上カラそヲ書ク  
 保  
 11 05 04 あらめなとと阿  
 11 05 05 おしのこひ給つゝをしこのひつゝ阿  
 11 05 05 めとゝめめとゝまり阿  
 11 05 05 あやしく あやしう阿  
 11 05 05 ひかノしくすゝるにすゝるにひかノし  
 き阿  
 11 05 06 ありある阿  
 11 05 06 ぶるまひをかりにても ぶるまひをかりそ  
 めにても阿  
 11 05 07 時 ナシ阿  
 11 05 07 思しりにしかとおほしりにしかと保阿お  
 ほし おもほし阿  
 11 05 09 かる かのかる阿  
 11 05 09 めをみめをみて阿  
 11 05 10 人ひとりのために 人のためひとつに阿  
 11 05 10 いかなる いかやうなる阿  
 11 05 10 心におこしけむ 心のうちひとつにたてあつ  
 めけん阿  
 11 05 11 心のうちに 心の中に阿

11 05 11これはこれに阿  
11 05 12いま又きこえしらせ侍らん いたまた聞えさせ

侍らぬ阿

11 05 12女御 女御のきみ保  
11 05 13御心はへ み心はへ阿

11 05 13おほしなすな おもほしなすな阿

11 05 14なか なり阿

11 05 14むつひ 契むつひ阿

11 06 01かけ かけつゝ阿

11 06 01ひと事 こと保

11 06 01あらず あらずかし阿

11 06 01まして まして阿

11 06 01このなと 猶このなと保 かくてこのなと

阿

11 06 02みる みるもはじめの 見る みるかのはじめの

阿

11 06 02ふかく いとぶく阿

11 06 03たとへ たとひ保阿

11 06 03うはへには うはへは保

11 06 03はくみ けれと へみ けれなと保に

くみ けれと阿

11 06 04あらんと あらむも保阿

11 06 04あやまりても あやまりて保 あやまちにても

阿

11 06 05さも ナシ阿

11 06 05ひきかへし ひきかへ阿

11 06 05かゝるには とかゝるには阿

11 06 06つみ えかましきにも 思なをの事もあるへしつ

み えかましきに 思なをるへし阿

11 06 06むかし のよの 昔の阿

11 06 07ふし へふし阿

11 06 07時には ときは保阿

11 06 07もてなす もてなほす保阿 もてなほすか

保

11 06 08ことに ことにごそ保

11 06 08かど へし へくせをつけと か へし へくせ

をみつ けそめ阿

11 06 08あい行なく あいなく保阿 あひなつ阿

11 06 09人を 人に阿

11 06 09心あるは 心もあるは保 心あらん人阿

11 06 09いと ナシ阿

11 06 09わさになむ わさになむれ へ上カラに 書

ク保

11 06 10あらねと 見ねと阿

11 06 10心 心はへ阿

11 06 10かゝる かゝるさま阿

11 06 10おもむき おもむき保

11 06 10みゆるに みるに保阿

11 06 10ゆへよし といひ へよし といひ へよし といひ

阿

11 06 11きはの ナシ阿

11 06 11心はせある へかめり 心はせあるひとある へ

かむめり保 心はせある人おほかめり阿

11 06 12なくも なぎにも阿

11 06 12とりたてて 我つしるみに 思ひ とりたててわか

心に阿

11 06 12まめ へし へく まめ へし へく

11 06 13思はんに 思はんにそ阿

11 06 14たいをの みなむ これをそ たひをのみそ

阿

11 06 14人といふ へかりける 人とはいふ へかめる

阿

11 06 14なむ ナシ保阿

11 07 01よしとて よしとても阿

11 07 01ひた へけて ひた へて へ保

11 07 01とはかりとはかり へて へ上カラは へ書ク

保

11 07 02こそ こそは阿

11 07 03御つしるみをも おなし 心にて 御つしるみも

おなし心に阿

11 07 04の 給 ナシ阿

11 07 04のたまはせねと さらぬさきにより保

11 07 04ありかたき ありかたき へ上カラき へ書ク

保

11 07 04みたてまつる まゝに あけくれのことくさ

に見奉るまゝには 明くれことくさになん

阿

11 07 05なと ナシ阿

11 07 05おほし おもほし阿

11 07 06かう かく保阿

11 07 06御らんし へし へらんし へし へアルカ保 御

らんせらる阿

11 07 06あらぬを あらぬおす へ上カラぬ へ書ク 保 侍

らぬを阿

11 07 06かすまへの 給はすれば かすまへさせ 給めれ

は阿

11 07 07さすかに きえぬは きえぬまは さすかに

阿  
 11 07 08 いとくるじつとまじくいとつとまじくく  
 るしく保いとまじつとくるじつ阿  
 11 07 08 思たまへらるゝをおもふたまへらるゝを  
 保思給へらるゝも阿  
 11 07 08 もてかくされもてなされ保  
 11 07 09 きこえ給へは聞え給阿  
 11 07 09 そのまねヲ削ッテのヲ書クカ保それ  
 也阿  
 11 07 09 心さしかは御心さしか阿  
 11 07 10 うちナシ阿  
 11 07 10 おほつかなきにおほつかなきを阿  
 11 07 11 とりもちてとりもち阿  
 11 07 11 などとも阿  
 11 07 12 なのめにナシ保  
 11 07 12 めやすくなれはいとなむおもひなくめやす  
 ければいとゝなん阿  
 11 07 13 ことにてことにつけても保事も阿  
 11 07 13 もの心えす物の心えす保阿  
 11 07 13 人はたちましらふにつけて人ははたましら  
 ぶにつけても阿  
 11 07 13 人のため人ぬのため保  
 11 07 13 からきことからきこと保阿  
 11 07 14 さなをし所なくさなおしところなふおし二  
 削訂カ保さしなをし所なくも阿  
 11 07 14 たれもものし給めれば心やすくなむとよく  
 物し給めれと心やすくなむ阿  
 11 08 01 こそこそは阿  
 11 08 01 などと阿

11 08 01 給ぬ給阿  
 11 08 02 かなかなと阿  
 11 08 03 宮の御方宮の御方は阿  
 11 08 04 めてたくてわたり給こともえなのめならさめ  
 るはこちたくてわたり給事はひとしからさ  
 めるは阿  
 11 08 04 かたしけなきかたしけない阿  
 11 08 05 なめりかしかな阿  
 11 08 05 いまひときはゝいまひときは保いまきそ  
 みと阿  
 11 08 05 心くるしくと心くるじつと保阿  
 11 08 06 いとゝ阿  
 11 08 06 おほえ給ひけるおほえける阿  
 11 08 06 やむことなきたにおほすさまにもあらさめる  
 よにましてたちまじるへきおほえにしあらね  
 はやんことなきかたにおもほすたにもおも  
 ほすさまにあらさめる世に立ましりぬるおほ  
 えにしあれは阿  
 11 08 08 ふし事阿  
 11 08 08 なしナシ保  
 11 08 08 山すみ山阿  
 11 08 08 思やる思やるに保  
 11 08 09 あはれにナシ阿  
 11 08 09 おほつかなきおほつかなきしノ上カラきヲ  
 書ク保  
 11 08 09 あま君もあま君は阿  
 11 08 09 たねまきてとたねまきていふ阿  
 11 08 10 ひとことを人ひとことを保  
 11 08 10 うちたのみてたのみて保阿

11 08 10 思やりつゝ思やりて阿  
 11 08 11 ひめ宮のひめ宮保  
 11 08 11 御ことを事阿  
 11 08 11 あらさりしかはあらさりしを阿  
 11 08 11 ちかくちかくて阿  
 11 08 11 いとゝ阿  
 11 08 12 たゝにもたゝには保たゝにしも阿  
 11 08 12 おほかた御かた阿  
 11 08 12 おりおりにことになれておりノ阿  
 11 08 13 御けはひ此御けはひ阿  
 11 08 13 ありさまありさまを保阿  
 11 08 13 わかくわか保わかやかに阿  
 11 08 14 うへのきしきはつはへの御けしきなどは  
 阿  
 11 08 14 いかめしくいかめじつ保阿  
 11 08 14 ためしにじつはかりもてかしつきためしに  
 もじつへくこそもてなしかしつき阿  
 11 09 01 給へれと給へと保  
 11 09 01 などともなとん保  
 11 09 02 おとなノしきおとなしき阿  
 11 09 03 いとナシ保  
 11 09 04 なに事もなにことをも保ナシ阿  
 11 09 04 心しつめたるは心のつちのあらはにしも心  
 しつめたるは心のつちのあらはにしかにも  
 保  
 11 09 04 心しつめたるは心もてしつめたる阿  
 11 09 05 身によに阿  
 11 09 05 心ちゆき心ゆく阿  
 11 09 06 けにとゝほりなかるへきにしうちましれ



11 09 13 ともかくもよりいてとかくもりいてしも  
 11 09 12 むらさきたいの上阿  
 11 09 12 大将の君 大将君阿  
 11 09 11 かやうの事をかやうなる事ともを阿  
 11 09 11 もてつけもてつれ阿  
 11 09 11 をしへをしへもてノ上カラをしラ書ク  
 保  
 11 09 10 させ ナシ阿  
 11 09 11 はかりをは はかりは保  
 11 09 11 よくよつ阿  
 11 09 10 いましめいたくも保 いたくもいましめとか  
 めつ阿  
 11 09 10 あらまほしからめ あらめまほしからめ保 あ  
 めれ阿  
 11 09 09 かのをまかせて かたとも阿  
 阿  
 11 09 09 さこそは さこそ保  
 11 09 08 わらはへ わらへ保  
 11 09 08 いとめにつかすみ給事とも 御めにつかす見  
 給ふ事も阿  
 11 09 09 よの中をおほしの給はぬおもほし忍ぶ  
 阿  
 11 09 07 なたらかなるを なたらかなる阿  
 11 09 07 心いれたる 心をいれる阿  
 11 09 06 ひかれつ ひかされつ阿  
 11 09 06 けはひ けはひ保  
 11 09 06 ほとほとほりなかるへきもうちましれ  
 と 保物のととほりなきもうちましれと  
 阿

11 09 13 みえきこえたる 見えす聞えたる阿  
 11 09 14 心うつくしう 心うつくしく保  
 11 09 14 人をもけたす身をもやむことなく心にくくナ  
 シ阿  
 11 09 14 けたす たすけけたす保  
 11 10 01 そへ給へる事とそへ給て阿  
 11 10 01 おもかけも をもかけ保  
 11 10 01 のみ ナシ阿  
 11 10 02 我御北のかた 猶わかきたのかた保 わか北の  
 かた阿  
 11 10 02 おほすかたこそふかけれ 思ふ方こそ阿  
 11 10 03 らう／＼しきなと らう／＼しきなとそ  
 阿  
 11 10 03 なりなるを阿  
 11 10 03 心ゆるひて 猶かくなを阿  
 11 10 04 おかしけ おかしき保阿  
 11 10 05 まして まいて阿  
 11 10 05 御ほどを思にもかきりなく心ことなる ナシ  
 阿  
 11 10 06 御けしきにしもあらず 御けしきもあかぬ  
 阿  
 11 10 06 かさりはかりに かかりはかり阿  
 11 10 06 こそとこそ保  
 11 10 07 みたてまつりしる みたてまつりしるに保  
 阿  
 11 10 08 ゆかしく ゆかしく保  
 11 10 08 給けり 給へり阿  
 11 10 08 衛門のかむの君 系もんの督君阿

11 10 08 院につねにまいりしたしく つねに阿  
 11 10 09 かしつき 御かしつき阿  
 11 10 10 くはしくくはしう保阿  
 11 10 10 みたてまつりをきて 見奉りをきける阿  
 11 10 10 御さため 御さためとも阿  
 11 10 10 ころをひより 比ほひはいとよく阿  
 11 10 11 院にもめさましとはおほしの給はせすと院  
 もてはなれ有ましくとの給はする事もなく  
 阿  
 11 10 12 心ちすれば 心ちすれ阿  
 11 10 12 えおもひはなれす 思はなれす阿  
 11 10 13 なともなと阿  
 11 10 01 なんとと阿  
 11 10 01 よ人も ナシ阿  
 11 10 01 さる物は さる物おもひは保さるめさましき  
 物阿  
 11 10 01 おもはせ せさせ保 おもはせて阿  
 11 10 02 御身 御けはひ阿  
 11 10 02 あたらさざめ あらならめ保  
 11 10 02 小侍従 しう阿  
 11 10 03 いひはけまして 世中さためなきをおととの  
 君もとよりほいありておほしをきてたるかた  
 にいひはけまして 世中もさためなければ  
 おととももとよりのほいおもほしをきたるさ  
 まにも阿  
 11 10 04 おもむき おもふきけりやよひはかりのそら  
 づいかなる保  
 11 10 05 やよひはかりの やよひはかりぬにノ上カラ

のヲ書ク「保」三月はかりに阿

11 11 05 そらそらの保

11 11 05 うらゝかなるうらゝかにのとかなる阿

11 11 05 六條院六条の院保

11 11 05 兵部卿宮兵部卿の宮保 大将君阿

11 11 05 衛門督衛門のかみ保

11 11 06 などナシ保

11 11 06 つれつれにつれノ阿

11 11 07 なかりけれなかりけれノ上カラかりヲ書

ク「保」

11 11 07 おほやけわたくしにことなしや おほやけわ

11 11 07 なにわきなにわきを保阿

11 11 07 してかはしてか阿

11 11 08 けさけさは阿

11 11 08 ものしつる物し給つる阿

11 11 08 さうノしきをさうノしきに阿

11 11 09 みるへかりけりみつへかりけり阿

11 11 09 わかうともゝわか人とも阿

11 11 10 ねたうねたく保阿

11 11 10 しぬるしぬらん阿

11 11 11 まりまりを阿

11 11 11 もてあそはしてあそはさせて阿

11 11 11 み給見給ける阿

11 11 11 みたれかはしき みたれかはしき保阿

11 11 12 かとノしきことノしき阿

11 11 12 御せうそこ御せうそく保

11 11 12 わかきむたちめく人々わかき君たちめく人

阿

11 11 13 まりもたせ給へりや まりはもたせたりや

阿

11 11 14 はへりつこなたへまかてんやとの給てしんで

んのひんかしおもて侍つるこなたにまかり

いてんやとてしんでんの南おもて阿

11 12 01 くしたてまつりてくして阿

11 12 01 給いにしころなれば給にしかは保給し比な

れは阿

11 12 01 こなたこなたは阿

11 12 02 などナシ阿

11 12 02 ゆきあひはれてよしあるゆきあひはなれて

よしある物の阿

11 12 02 かりのかゝり火の保

11 12 02 程をほとりを阿

11 12 02 たちいつ立出る阿

11 12 03 おほきおほいとのおほきおとゝの保

阿

11 12 03 兵衛佐兵衛のすけ保阿 兵衛のす(は)か

みノ上カラすヲ書キ、サラニ傍記「保

11 12 03 大夫の君なとすくしたるも 大夫君なとそく

したるを阿

11 12 04 人より人よりも保 こと人よりは阿

11 12 04 のみナシ保阿

11 12 04 くれかゝるに暮かゝるほとに阿

11 12 05 弁の君 かん君阿

11 12 05 弁官上達部阿

11 12 05 えおさめあへさめるを えおさめさんめるを

保阿「さんめるを さめるを阿」

11 12 06 かんたちめなりともわかきふつかさたち

は年わかきふつかさたちもおりたちてく

きやうは阿

11 12 07 かはかりのよはひにてはさはかりのよはひ

には阿

11 12 07 みすくすみすくす保みすくす事も阿

11 12 07 口惜く口おしう阿

11 12 07 おほえしおもほえし阿

11 12 07 さるはさるは保

11 12 08 いときやうノなりやこのきやうノなり

その阿

11 12 08 おり給ておりたちて阿

11 12 09 さまよひ給ふゆふは入さまよひたる夕かけ

阿

11 12 09 おさノさまよくけにをのノさまようい

阿

11 12 10 みたれことみたれ阿

11 12 10 こたちのこたち保

11 12 11 いろいろ色ノの阿

11 12 11 ひもときわたるひもときたる保阿

11 12 11 わつかなるめつらかなる阿

11 12 12 かくかくれ阿

11 12 12 けちめあるをいとみつゝけちめいと見えつ

ゝ阿

11 12 13 思ひかほなる思なそらふる阿

11 12 13 中に 中に保

11 12 13 衛門督衛門のかみ保

11 12 13 たちましりくはゝり阿

11 12 14 ならふならふへき保 立ならふへき阿

11 12 14 なまめきたるなまめいたる阿

11 12 さましたる ナシ阿  
 11 12 14 いたくして いたうして阿  
 11 13 01 おかしく をかしう保阿  
 11 13 02 人々 人ノノの保 ナシ阿  
 11 13 02 おとノも宮もすみの おとノすみのまの  
 阿  
 11 13 02 かつらにいてノ かつらんにて阿  
 11 13 03 ちある けつある阿  
 11 13 03 上らつもみだれて さまとまノみだれ阿  
 11 13 04 かつふり かつふり保  
 11 13 04 すこしくつろきたり 大将の君も御くらぬの程  
 思こそれいならぬみたりかはしかなとおほ  
 ゆれみるめは人よりけにわかしくおかしにて  
 さくらのなをしのやノなえたるにさしぬきの  
 すそつかた ナシ阿  
 11 13 04 思こそ おもふにこそ保  
 11 13 05 けに ナシ保  
 11 13 05 わかく わかつ保  
 11 13 06 さくらのなをしの さくらのなをし保  
 11 13 06 ふくみて うちぶくみて阿  
 11 13 07 給へり 給へる阿  
 11 13 07 かるノノしつも かるノノしくも保阿 かるノ  
 ノしくも阿  
 11 13 07 みえず 見えて阿  
 11 13 08 うちみあけて 見あけて阿  
 11 13 09 なかのしなの程に かみのまに阿  
 11 13 10 さくらはよきて かくらをわよきて阿  
 11 13 10 の給つノのたまふつ保の給ほと阿

11 13 10 宮の御まへのかたをしりめに しりめに宮の  
 御かたを阿  
 11 13 10 御まへをまへ保  
 11 13 11 いろノ色ノに阿  
 11 13 11 つまつまノ保 つまノに阿  
 11 13 12 おほゆ みゆ保阿  
 11 13 12 御木丁 御木丁保阿  
 11 13 12 ひきやりつノ人けちかくよつきてそみゆるに  
 からねこのいとちいさくおかしけなるをすこ  
 しおほきなるねこひきなしつノ人のけちか  
 くよつりよきてみゆるにいとおかしけなる  
 からねこのおほきなるかちいさきを阿  
 11 13 14 つまより つまよりにノ上カラヨ書クカ  
 保  
 11 13 14 はしりいつるにはしりいつ保阿  
 11 14 01 そよノとみしろきさまよふけはひとまきぬ  
 のをとまひはらノとさまよふほとのは  
 ひきぬのをとまひも阿  
 11 14 02 よく人にもなつかぬにやつないとなくよ  
 うも人なれぬにやあらんつななかつ阿  
 11 14 03 ものにひきかけまつはれにけるを ナシ  
 阿  
 11 14 03 まつはれにけるを まつはれて保  
 11 14 03 ひこしろふ ひきしろふ保 八こしノ上カラキ  
 シヲ書クカ保阿  
 11 14 03 みすのそはみすのはし阿  
 11 14 03 いとあらはに ナシ阿  
 11 14 04 ひきあけられたるをとみにひきなをす人もな  
 しひきあけられたり阿

11 14 04 はしらのもと はしらもと保 はしらのつら  
 阿  
 11 14 04 ありつるひとノも心あはたしけにてさ  
 はきつる人々ひきもつくるはて阿  
 11 14 05 けはひととなりけはひとと聞えたるに  
 阿  
 11 14 05 木丁のきはすこしいりたる みき丁のすこし  
 入ての阿  
 11 14 06 にしのにし保 ナシ阿  
 11 14 06 二のまのにけん阿  
 11 14 07 そはなれはまきれ所もなくはしなれは  
 阿  
 11 14 07 こつはいにやあらむこきつすきすきノにこ  
 きつちきのすきノの御そともこつはいにや  
 あらん阿  
 11 14 08 すきノにすきノ保  
 11 14 08 かさなりたる かさなりたるリノ上カラるヲ  
 書ク保 かさなれる阿  
 11 14 08 はなやかに ナシ阿  
 11 14 09 をりものノ ナシ阿  
 11 14 10 みゆるは 見えて阿  
 11 14 10 なひきて うちなひきて阿  
 11 14 10 いとうつくしけにて いたうつくしけにて  
 阿  
 11 14 11 七八寸 七八寸保  
 11 14 11 はかりそ はかり阿  
 11 14 11 御そのすそかちいとほそくさヤヤかにす  
 かたつきかみのかつり 給へる 御そにかくれ  
 阿

11 14 13 ゆふかけなれば ゆふかけなれば にノ上カラ  
 なヲ書クカ「保  
 11 14 13 心ちするも 心ちする 夫も」をノ上カラモヲ  
 書キ、サヲ二傍記「保  
 11 14 14 身をなぐるわか君たちの花のちるを 身をわ  
 か君たちも花のちるをは阿  
 11 14 14 わか君たち わかきんたち保  
 11 14 14 人々 人ノも保阿  
 11 15 01 あらはをふとも えみつけぬ あらはをふと  
 も見とかめぬ阿  
 11 15 01 なけは なくに阿  
 11 15 01 をもち ナシ阿  
 11 15 02 などとは保も阿  
 11 15 02 いと老らかにて おいらかにいと阿  
 11 15 02 わかく わかう保  
 11 15 02 大将 大将は阿  
 11 15 03 かたはらいたけれと かたわらいたけれとく  
 ノ上カラけヲ書ク「保 かたはらいたしとみつ  
 けて阿  
 11 15 03 中ノいとなかノ保 ナシ阿  
 11 15 03 かるノしければ かるノしければ阿  
 11 15 03 たノ ナシ阿  
 11 15 04 給へるにそ 給へるにうつそ うハコノ誤与カ「  
 保 給にそ阿  
 11 15 04 やをらひきいり給 ひきなをしつる阿  
 11 15 04 我心ち わか心阿  
 11 15 04 心ちし給へと 心ちすれと阿  
 11 15 05 ゆるしつれば 心にもあらず うちゆるしつる  
 は中ノなるに阿

11 15 05 まして まいて阿  
 11 15 05 心をしめたる衛門の督は 心にふかくしめた  
 るかんの君阿  
 11 15 06 ふとつと保阿  
 11 15 06 はかりにかは はかりかは阿  
 11 15 06 中になかに保  
 11 15 07 よりも 阿  
 11 15 07 まきるへくも まきるへき御さまにも阿  
 11 15 07 御けはひ 御けひ阿  
 11 15 08 おほゆ おもほゆ阿  
 11 15 08 めととめしやと 大将はめととめしはやと大  
 將阿  
 11 15 08 いとおしくいとおしつ阿  
 11 15 09 おほざる おもほざる阿  
 11 15 09 わりなき心ちのなくさめ 中ノなる心なく  
 さめ阿  
 11 15 10 らうたけにうちなくも なつかしく思ひよそへ  
 らるゝ なつかしくうちなくうたく思まか  
 へらるゝ阿  
 11 15 11 御覽しおこせて 御らんしやりて阿  
 11 15 11 かるノしや かるノしや保 かるノしか  
 めり阿  
 11 15 12 給へれば たまへは保阿  
 11 15 12 みなそなたに まいり給ぬ 宮もみなをり給て 御  
 物かたりし給 宮もみなおり給ぬ みなそなた  
 にまいりて阿  
 11 15 13 殿上人 上達部阿  
 11 15 13 わさとなくつは いもちみなし わさとなきつ  
 はいもちい阿

11 15 14 かうしやうの かうしやうの「保  
 11 15 14 物ともさまノには このふたとともにとりま  
 せつゝあるを わかき人々そほれとりくひさる  
 へきから物はかりして 御かはらけまいる物  
 はかりして 御かはらけまいるはこのふたに  
 ませたるなどを わか人ともはとりくひそほる  
 阿  
 11 15 14 はこのふたと 保はこのふた保  
 11 16 02 衛門督 衛門のかみ保阿  
 11 16 02 入符号ノニアリ「保  
 11 16 02 いたくいたう阿  
 11 16 03 大将は ナシ阿  
 11 16 03 すきかけ思いつることや すきまに思出る事  
 もや阿  
 11 16 03 思給いと おもふ給いと 保 大将は思よりいと  
 おしく阿  
 11 16 04 ありさま 御ありさま保阿  
 11 16 04 かつはかるノしと かつはかるノしと  
 保 かるノしと かつは阿  
 11 16 04 おもふらん おもふらん保  
 11 16 05 あるましかめる物を あるましかめり阿  
 11 16 06 やつには やつに阿  
 11 16 06 思あはせて 思あはせらる阿  
 11 16 07 おほからす おもほえず阿  
 11 16 07 らうたきやうなれと らうたけれと阿  
 11 16 07 うしろめたきやうなりやと ナシ保 うしろめ  
 たいわさなりやと阿  
 11 16 08 思おとさる 思ぶ阿

11 16 08 さいしやうの君はさい將ゑもんか(み)のき  
     みは保さいしやうは阿  
 11 16 08 つみをもつみも保阿  
 11 16 08 おさノナシ保  
 11 16 09 ひまよりひまに阿  
 11 16 09 ほのかにもそれとほのかにそれよと保ほの  
     かなれと阿  
 11 16 09 みたてまつりつるにもみたてまつりつるに  
     保み奉りつるも阿  
 11 16 10 おほゆおもほゆ保阿  
 11 16 10 むかしものかたりむかし物かたりなと  
     阿  
 11 16 11 たちならひてさしならへて阿  
 11 16 12 中にまりなんえをよはすまりにはえたちな  
     らはす阿  
 11 16 12 中になかに保  
 11 16 12 ことはつたへあるましけれとつたへは有ま  
     しき事なれと阿  
 11 16 13 猶ナシ阿  
 11 16 13 こよなかりけりこよなかりけりと保ことな  
     りけり阿  
 11 16 13 かしこつかしこく保阿  
 11 16 14 うちほへえみてうちほをゑみて保ほへゑみ  
     て阿  
 11 16 14 侍らんにのちの世のため侍らん後の世のつ  
     たへも阿  
 11 17 01 はへりぬへけれ侍りけれ阿  
 11 17 01 いかてかいかて阿  
 11 17 02 ことなるけちめをはことならんけちめを

    阿  
 11 17 02 などになとも阿  
 11 17 03 こそこそは阿  
 11 17 03 けうはけふは保  
 11 17 03 御さまさま阿  
 11 17 04 いかはかりのいかはかりならん保  
 11 17 04 事にかことにかは保人かは阿  
 11 17 04 心をうつす人は心うつす女阿  
 11 17 05 つけてかつけてかは保  
 11 17 05 みゆるしたまふはかりは思ゆるし給はかり  
     に阿  
 11 17 06 いととと保阿  
 11 17 07 思しらるればしらるれば阿  
 11 17 07 むねのみむねの保  
 11 17 07 まかりてまかて保阿  
 11 17 07 給ぬ給阿  
 11 17 07 大将の君大将阿  
 11 17 07 ひとつ車ひとつ御くるま保阿  
 11 17 07 みちのほと物かたりし給ナシ阿  
 11 17 08 このころかゝる比阿  
 11 17 08 この院にまいりてこゝにまいりてこそ  
     阿  
 11 17 08 へきなりけりへかりけれ阿  
 11 17 09 いとまのひままちつけていとま日まちつけ  
     て保いとまのひまに阿  
 11 17 09 おりさかり阿  
 11 17 09 すくさすすくさす阿  
 11 17 10 の給つるをの給へるは阿  
 11 17 10 春春を阿

11 17 10 月の中にこゆみ月のうちにこゆみ保こゆ入  
     き阿  
 11 17 10 ちきる契りつゝ阿  
 11 17 11 をのゝわかるゝみちのほとものかたりした  
     まふてナシ保  
 11 17 11 みちのほとものかたり道の御物語阿  
 11 17 11 したまふてし給て阿  
 11 17 11 御事の御こと保  
 11 17 12 このたいにのみもせさせかのたいに物し  
     阿  
 11 17 12 給なめりなかの給なめり中の阿  
 11 17 12 おほんおほえ御おほえ保阿  
 11 17 12 ことなるなめりかし猶ことなるなめりな  
     保  
 11 17 13 おほすらんおもほすらん阿  
 11 17 13 たてまつり給へるにたてまつる給へるお削  
     訂力保給へるに阿  
 11 17 14 くしくむし保くたし阿  
 11 18 01 いかてかさはいかてかさは保  
 11 18 01 おほしたて給へるむつひのけちめはかりにこ  
     そおさなくより見おほし給へるむつひのふ  
     かきけちめこそ阿  
 11 18 02 あへかめれ有へかめれ阿  
 11 18 03 給へるものをと給へると阿  
 11 18 03 かたり給へるたまへは保かたり給へと  
     阿  
 11 18 03 いてあなかま給へいてあなかまたまへ貼  
     紙保いて阿  
 11 18 03 きゝてもきゝて保阿

11 18 04 いとノおしけなるいとおしけなる阿  
 11 18 04 あなる待なる阿  
 11 18 05 わさなりやわさかなりや保  
 11 18 06 春の鳥の春のとり阿  
 11 18 07 こころ心は入阿  
 11 18 07 あやしとあやしう阿  
 11 18 07 いてあなナシ阿  
 11 18 09 ねくらさたむるねくらさためぬ保  
 11 18 10 ひたおもむきにひたおもふきに保  
 11 18 10 のみやはといらへてわつらはしければこと  
     にナシ補入符号ノミアリ保  
 11 18 10 のみナシ阿  
 11 18 10 いはせすなりぬこと事にいひまきはしてを  
     のノわかれぬいらへすなりぬ阿  
 11 18 11 わかれぬあかれぬ保  
 11 18 11 ひんかしのたいにひとりすみにてそひんか  
     しのたいにそひとりすみにて阿  
 11 18 12 としころ年月は阿  
 11 18 13 我身わか阿  
 11 18 14 などかなと阿  
 11 18 14 かなはさらむとのみかなはさるらんと  
     阿  
 11 18 14 心おこりを心おこり保心をこりをのみ  
     阿  
 11 18 14 くいいたくくつしいたく阿  
 11 19 01 ほのかなるほのかなるノ上カラかヲ書ク  
     保ほのかならん阿  
 11 19 01 御ありさま御あたり阿  
 11 19 02 きはのナシ阿

11 19 02 かりそめにもたはやすきものいみかたかへ  
     のうつろひもかるノしきにをのつから  
     りそめのたはやすきうつろひもしわりなき物  
     いみかたかへのほのかなるつぎにつけて  
     なとしつゝとかく思たはかり阿  
 11 19 03 かるノしきにかるノしきに保  
 11 19 03 ともかくもとかく保ナシ阿  
 11 19 04 あれなと思やるあれと思ひよらん阿  
 11 19 06 いふせければ小侍従かりいふせくのみおも  
     ほえければ侍従に阿  
 11 19 06 やり給ふやりたまひふ保  
 11 19 06 一日ひとつは阿  
 11 19 06 みかきのはらみかきか原阿  
 11 19 07 わけいりてわけいり保阿  
 11 19 07 侍しに侍し阿  
 11 19 07 みおとし給けん見おとい給けん阿  
 11 19 08 けふをけふは保阿  
 11 19 08 なんと阿  
 11 19 08 かきてかきノて保  
 11 19 09 しけれともしつれとも阿  
 11 19 09 とあれとナシ保  
 11 19 10 一日ひとつ阿  
 11 19 10 しらぬはしらぬは保しらて阿  
 11 19 10 思ふナシ保思ひやり阿  
 11 19 10 おまへおまへもノ上カラまヲ書ク保御前  
     阿  
 11 19 11 程なればおりなりければ阿  
 11 19 11 かのふみをこのふみを保ナシ阿  
 11 19 11 かくかう阿

11 19 11 のみナシ阿  
 11 19 12 侍れ侍れぬ物にことゝひものしたまふ  
     保  
 11 19 12 み給へあまる心見給あまるおり阿  
 11 19 13 しりかたくしりかたき阿  
 11 19 13 なむとなど保阿  
 11 19 13 うちわらひて打わらひ阿  
 11 19 14 ふみひろけたるをふみはひろけたる阿  
 11 20 01 いひたるある阿  
 11 20 01 あさましかりあさましかりみずし保  
 11 20 01 つまをつま保阿  
 11 20 01 おほしあはせらるゝにおもほしあはするに  
     阿  
 11 20 02 ことについてことに大将にみえ給ないはけな  
     き物のつめてノには大将君に見え給は  
     いとけなき阿  
 11 20 02 ついてことについてことに保  
 11 20 03 やうおり阿  
 11 20 04 いましめいましめ保  
 11 20 04 おほしいつるにおほしいつるに保  
 11 20 04 大将の大将阿  
 11 20 04 事の事なん阿  
 11 20 05 あはめあははめ保  
 11 20 05 事ナシ阿  
 11 20 05 おほさておもほさて阿  
 11 20 06 おほんさしらへ御さしらへ保御さしらへ  
     阿  
 11 20 06 すさましくすさまし保すさましくて  
     阿

11 11  
 20 20  
 07 07  
 こと こと  
 も も  
 こと こと  
 には には  
 た 保  
 保 にも  
 にも 阿

---

11 11  
 20 20  
 08 08  
 め め  
 さ さま  
 ま し  
 し つ  
 め め  
 さ ま  
 ま し  
 く 保  
 保 阿

---

11 11  
 20 20  
 09 09  
 は は  
 し し  
 り り  
 か か  
 き き  
 て て  
 か か  
 き き  
 て て 阿